

令和7年度

主要施策成果説明書

唐 津 市

目 次

I	ま え が き	1
II	決 算 の 概 要	1
III	一 般 会 計	4
1	議 会 費	6
2	総 務 費	7
3	民 生 費	26
4	衛 生 費	47
5	労 働 費	62
6	農 林 水 産 業 費	63
7	商 工 費	81
8	土 木 費	96
9	消 防 費	110
10	教 育 費	119
11	災 害 復 旧 費	136
12	公 債 費	136
IV	特 別 会 計	137
1	国 民 健 康 保 険	137
2	後 期 高 齢 者 医 療	140
3	介 護 保 険	142
4	国 民 宿 舎	144
5	有 線 テ レ ビ 事 業	145

I ま え が き

この説明書は、地方自治法第233条第3項の規定により令和7年度の決算を議会の認定に付するに当たり、同条第5項の規定により令和7年度における主要な施策の成果を説明するものである。

II 決 算 の 概 要

令和7年度の決算状況は、別表の「会計別決算の状況」に示すとおり、一般会計においては、歳入総額 90,761,527 千円、歳出総額 88,439,167 千円で、歳入歳出差引額 2,322,360 千円の黒字決算となった。また、特別会計においては、各会計とも歳入歳出同額又は黒字決算となった。

令和7年度は、唐津の持つ潜在力「からつ力」を進化させ、『市民一人ひとりの幸せに寄り添う唐津』を実現するための事業を実施した。

まず、こどもたちの未来に寄り添う事業として、唐津市立の小中学校に通う児童、生徒の給食費の無償化と、給食1食当たりの単価の引き上げを行い、子育て世帯の負担を軽減するとともに、栄養バランスの取れた安全・安心な給食を提供し、こどもたちの健全な成長を支援した。このほか、障がい児支援施設における療育用備品の整備に対する支援、松浦河畔公園や鳴神公園の再整備を行い、学びと遊びの環境づくりを推進した。

次に市民生活に寄り添う事業として、交通事業者が従業員の第二種運転免許の取得費用を負担する取組みを支援し、地域公共交通の確保と市民の生活環境の維持に努めた。また、市内を運行するタクシーにおいて、配車アプリの導入を促進し、市民の利便性の向上とあわせて、観光客の受入環境の整備を図った。このほか、離島住民の通院助成制度の拡充、老朽危険空き家の除却の推進、自治会が管理している水路の整備、補修に対する補助制度の創設など、市民生活を支える取組みを推進した。

農林水産業の振興に関する事業として、長引く燃油価格の高騰により経営が圧迫されている施設園芸農業者や漁業者、飼料価格高騰の影響を受けている畜産農家に対して、支援金を支給し、経営の継続を支援した。また、新たな担い手の育成や、園芸農業の所得向上へ向けた設備投資及び漁業経営の複合化などの経営強化への支援を行うなど、引き続き一次産業の基盤強化を図った。

商工業の振興に関する事業として、唐津DXイノベーションセンターを拠点とした、スタートアップコミュニティを形成し、新たな価値の企業、未来のけん引企業の発掘と育成を図った。また、アーティストを起用したシティプロモーションや唐津産品の魅力発信を行い、新たな唐津ファンの拡大を進めるとともに、唐津産品の販路拡大や、関係人口、交流人口の増加を図った。さらに、ふるさと寄附金では、5年連続で50億円以上を受け入れ、多くの唐津ファンを獲得し、市の産品のPR及び地域経済の活性化につながった。

観光業の振興に関する事業として、囲碁のタイトル戦やコスプレイベントを活用したプロモーション、観光カードとアニメを活用した周遊キャンペーンを行い、知名度向上と本市への集客を図った。また、訪日ツアーの造成を目的とした海外旅行会社等の招聘や、宿泊予約サイトでの旅行者向け電子クーポンの発行などにより、本市への宿泊を促進した。

最後に新市誕生20周年記念事業として、記念イルミネーションの設置や鏡山展望台の特別ライトアップ、記念花火の打ち上げ等を行うとともに、佐賀牛などの特産品を使った特別な学校給食の提供、「出張おもちゃ美術館 in からつ」や「唐津焼」の歴史をたどる企画展を開催し、「唐津はひとつ」という思いを新たにし、未来への発展につながる新たな一体感を醸成した。

このほか、令和5年から令和7年にかけての豪雨等により被災した農地・農業用施設、林業施設及び土木施設等の復旧事業を引き続き行い、災害からの早期復旧に努めた。

会 計 別 決 算 の 状 況

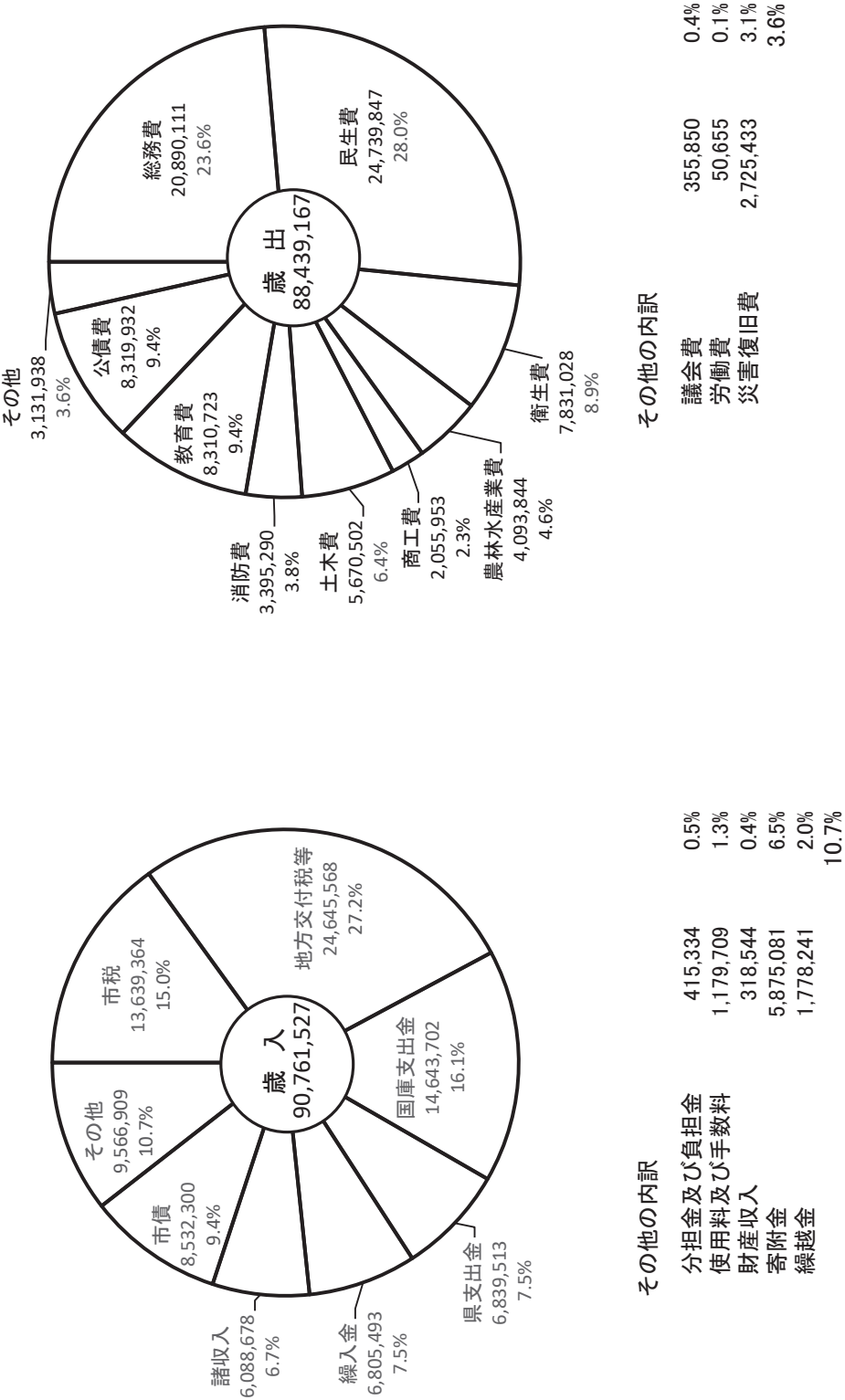
(単位 千円)

会 計 別 区 分	歳 入 総 額 A	歳 出 総 額 B	歳 差 (A - B) C	入 歳 出 額 (A - B) C	翌 年 度 へ 繰 越 す べ き 財 源				実 質 収 支 (C - G)
					継 続 費 通 次 繰 越 額 D	繰 越 額 E	事 故 繰 越 額 F	計 (D + E + F) G	
一 般 会 計	90,761,527	88,439,167	2,322,360			483,447	337,956	821,403	1,500,957
特 別 会 計									
国 民 健 康 保 険	14,874,035	14,607,491	266,544			627		627	265,917
後 期 高 齢 者 医 療	2,201,349	2,191,497	9,853			901		901	8,952
介 護 保 険	13,971,755	13,775,879	195,876						195,876
国 民 宿 舎	10,801	10,801							
有 線 テ レ ビ 事 業	599,341	599,341							
計	31,657,281	31,185,009	472,273			1,528		1,528	470,745
合 計	122,418,809	119,624,176	2,794,633			484,975	337,956	822,931	1,971,702

(備考) 一般会計の実質収支額1,500,957千円のうち、地方自治法第233条の2の規定による基金繰入額800,000千円、剰余金700,957千円
端数整理のため一致しない部分がある。

令和7年度歳入歳出決算額構成比図表（一般会計）

(単位 千円)



(備考)端数整理のため一致しない部分がある。

Ⅲ 一 般 会 計

一般会計の款別決算額と予算額との比較は、次のとおりである。

款 別 決 算 額 比 較 表 (単位 千円、%)

歳 入				歳 出					
款	令和7年度 予算額 (A)	令和7年度 決算額 (B)	対予算比 $\frac{(B)}{(A)}$	決 算 構 成 比	款	令和7年度 予算額 (C)	令和7年度 決算額 (D)	対予算比 $\frac{(D)}{(C)}$	決 算 構 成 比
1 市 税	13,565,341	13,639,364	100.5	15.0	1 議 会 費	360,188	355,850	98.8	0.4
2 地 方 譲 与 税	599,801	594,322	99.1	0.7	2 総 務 費	29,600,859	20,890,111	70.6	23.6
3 利 子 割 交 付 金	3,994	21,671	542.6	0.0	3 民 生 費	25,821,108	24,739,847	95.8	28.0
4 配 当 割 交 付 金	49,479	70,252	142.0	0.1	4 衛 生 費	8,059,101	7,831,028	97.2	8.9
5 株式等譲渡所得割交付金	44,177	108,470	245.5	0.1	5 労 働 費	50,655	50,655	100.0	0.1
6 法 人 事 業 税 交 付 金	234,263	229,873	98.1	0.3	6 農 林 水 産 業 費	5,173,708	4,093,844	79.1	4.6
7 地 方 消 費 税 交 付 金	3,041,147	3,247,436	106.8	3.6	7 商 工 費	3,405,288	2,055,953	60.4	2.3
8 ゴルフ場利用税交付金	36,868	35,255	95.6	0.0	8 土 木 費	6,890,073	5,670,502	82.3	6.4
9 環 境 性 能 割 交 付 金	70,575	53,181	75.4	0.1	9 消 防 費	3,562,112	3,395,290	95.3	3.8
10 地 方 特 例 交 付 金	98,987	104,792	105.9	0.1	10 教 育 費	9,153,232	8,310,723	90.8	9.4
11 地 方 交 付 税	20,024,236	20,166,397	100.7	22.2	11 災 害 復 旧 費	6,734,841	2,725,433	40.5	3.1
12 交通安全対策特別交付金	23,500	13,919	59.2	0.0	12 公 債 費	8,321,741	8,319,932	100.0	9.4
13 分担金及び負担金	475,371	415,334	87.4	0.5	13 予 備 費	89,298	0	0.0	0.0
14 使用料及び手数料	1,198,302	1,179,709	98.4	1.3					
15 国 庫 支 出 金	21,090,175	14,643,702	69.4	16.1					
16 県 支 出 金	7,797,802	6,839,513	87.7	7.5					
17 財 産 収 入	322,618	318,544	98.7	0.4					
18 寄 附 金	6,008,927	5,875,081	97.8	6.5					
19 繰 入 金	9,194,164	6,805,493	74.0	7.5					
20 繰 越 金	1,778,241	1,778,241	100.0	2.0					
21 諸 収 入	6,018,437	6,088,678	101.2	6.7					
22 市 債 償	15,545,800	8,532,300	54.9	9.4					
歳 入 合 計	107,222,205	90,761,527	84.6	100.0	歳 出 合 計	107,222,205	88,439,167	82.5	100.0

(備考) 端数整理のため一致しない部分がある。

市 税 の 前 年 度 と の 比 較

(単位 千円、%)

区 分 税 目			令 和 6 年 度			令 和 7 年 度			収納率 の前年 との差	調定額 の対前 年度比 C/A	収入額 の対前 年度比 D/B
			調 定 額 A	収 入 額 B	収 納 率 B/A	調 定 額 C	収 入 額 D	収 納 率 D/C			
市 民 税	個人市民税	現年	4,466,672	4,423,712	99.04%	5,138,022	5,086,522	99.00%	△ 0.04	115.03	114.98
		滞納	116,187	45,263	38.96%	106,224	38,717	36.45%	△ 2.51	91.43	85.54
		計	4,582,859	4,468,975	97.52%	5,244,246	5,125,239	97.73%	0.21	114.43	114.68
	法人市民税	現年	710,211	708,493	99.76%	651,877	650,530	99.79%	0.03	91.79	91.82
		滞納	4,070	1,030	25.31%	3,926	1,076	27.41%	2.10	96.46	104.47
		計	714,281	709,523	99.33%	655,803	651,606	99.36%	0.03	91.81	91.84
		現年	5,176,883	5,132,205	99.14%	5,789,899	5,737,052	99.09%	△ 0.05	111.84	111.79
		滞納	120,257	46,293	38.50%	110,150	39,793	36.13%	△ 2.37	91.60	85.96
		計	5,297,140	5,178,498	97.76%	5,900,049	5,776,845	97.91%	0.15	111.38	111.55
固 定 資 産 税	固定資産税	現年	6,158,185	6,095,926	98.99%	6,300,181	6,235,314	98.97%	△ 0.02	102.31	102.29
		滞納	168,411	35,473	21.06%	171,776	30,921	18.00%	△ 3.06	102.00	87.17
		計	6,326,596	6,131,399	96.91%	6,471,957	6,266,235	96.82%	△ 0.09	102.30	102.20
	交 付 金	現年	92,695	92,695	100.00%	88,388	88,388	100.00%	0.00	95.35	95.35
		現年	6,250,880	6,188,621	99.00%	6,388,569	6,323,702	98.98%	△ 0.02	102.20	102.18
		滞納	168,411	35,473	21.06%	171,776	30,921	18.00%	△ 3.06	102.00	87.17
		計	6,419,291	6,224,094	96.96%	6,560,345	6,354,623	96.86%	△ 0.10	102.20	102.10
軽 自 動 車 税	種別割	現年	475,077	469,142	98.75%	481,012	475,644	98.88%	0.13	101.25	101.39
		滞納	20,411	5,699	27.92%	17,729	4,214	23.77%	△ 4.15	86.86	73.94
	環境性能割	現年	33,973	33,973	100.00%	39,660	39,660	100.00%	0.00	116.74	116.74
		計	529,461	508,814	96.10%	538,401	519,518	96.49%	0.39	101.69	102.10
市 た ば こ 税		現年	984,549	984,549	100.00%	964,991	964,991	100.00%	0.00	98.01	98.01
入 湯 税		現年	23,301	23,301	100.00%	23,387	23,387	100.00%	0.00	100.37	100.37
		滞納	0	0	-	0	0	-	-	-	-
		計	23,301	23,301	100.00%	23,387	23,387	100.00%	0.00	100.37	100.37
市 税 合 計		現年	12,944,663	12,831,791	99.13%	13,687,518	13,564,436	99.10%	△ 0.03	105.74	105.71
		滞納	309,079	87,465	28.30%	299,655	74,928	25.00%	△ 3.30	96.95	85.67
		計	13,253,742	12,919,256	97.48%	13,987,173	13,639,364	97.51%	0.03	105.53	105.57

(備考) 端数整理のため一致しない部分がある。

一般会計及び特別会計の令和7年度の主要な施策は、次のとおりである。

1 議 会 費

議会事務費では、地方自治法第138条第2項の規定に基づく、唐津市議会事務局の設置に伴う所要経費の執行をはじめ、本会議及び委員会会議録作成のほか、本会議録をインターネットにより広く市民に公開した。

また、インターネットを活用して本会議、決算及び予算等特別委員会のライブ中継等を行い、市民に対してより身近で開かれた議会の実現、議会の活性化に取り組んだ。

唐津市議会だより発行費では、開かれた議会、市民にわかりやすい議会を目指し、市議会活動を市民に周知、報告するため、議員で構成する編集委員会による唐津市議会だより定例号を4回発行した。

また、議会だよりの点字版を発行することでより多くの市民に議会情報を提供した。

(款) 議会費 (項) 議会費 (目) 議会費

議会事務局

事業名	議会事務費						執行率（％）	
予算額 （円）	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	76.5
	22, 808, 000	0	△ 3, 500, 000	0	19, 308, 000	17, 441, 928	対予算現額	90.3
目 的	地方自治法第138条第2項の規定に基づく唐津市議会事務局の設置及び議会運営等の所要業務の執行を行うもの。							
事業内容 及び実績	定例会及び委員会等の会議録の作成						7, 364, 707円	
	インターネット議事録検索システムの賃貸借及びデータ更新						1, 565, 806円	
	インターネットでの議会映像のライブ配信						1, 254, 000円	
	その他事務費						7, 257, 415円	
成果等 及び 達成度	活発な議員活動の支援や円滑な議会運営を行うことができた。本会議、委員会の会議録作成やインターネットを活用したライブ中継等、市民に対してより身近で開かれた議会の実現、議会の活性化を進めることができた。							

(款) 議会費 (項) 議会費 (目) 議会費

議会事務局

事業名	唐津市議会だより発行費						執行率（％）	
予算額 （円）	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	97.4
	4,037,000	0	0	0	4,037,000	3,932,376	対予算現額	97.4
目 的	開かれた議会、市民にわかりやすい議会を目指し、市議会活動を市民に周知・報告するため、議員で構成する編集委員会により、唐津市議会だより定例号及び点字版を発行するもの。							
事業内容 及び実績	唐津市議会だより定例号の発行		定例号年4回	計198,150部	3,748,996円			
	唐津市議会だより点字版の発行		年4回	計40部	183,380円			
成果等 及び 達成度	唐津市議会だよりの全戸配布や公共施設への配布に加え、視覚障がい者に配慮した点字版を発行したことで、多くの市民に対して市議会活動の周知・報告を行うことができた。また、紙面にイラストや写真を増やすことで市民が親近感を持ち、読みやすい議会だよりになるよう努めた。							

2 総 務 費

(1) 総務管理費

一般管理費の人材育成費では、人的資源である職員の能力を引き出すために、人材育成基本方針に基づき、職員の基本能力の養成や能力開発、職員に広く共通する行政課題の解決、職能別の職務遂行、専門性を持った人材の育成など、職員の能力及び資質の向上に資する実践的研修を実施した。

契約管理事務費では、建設工事等について電子入札を行い、競争性及び公正性の確保を図った。

相知市民センター改修整備費では、別館へ庁舎機能を移転し、令和7年7月28日に供用を開始した。また、庁舎機能移転後の本館について、建物の解体に向けた各種調査並びに解体等の設計を実施した。

広報費では、障がいの有無に関わらず市民に市政への関心と理解を深めてもらうため、市報からつと点字市報を発行した。

ホームページ等管理費では、市民生活に密着した最新の情報を適時発信するため、ホームページやLINEの管理・運営を行った。

財政管理費では、統一的な基準により令和6年度財務書類を作成し、公表した。

会計管理費では、適正で迅速な会計業務を行うことに努め、行政運営の円滑化を図った。

財産管理費では、市有財産の適正な維持管理や処分及び庁用車の効率的かつ安全な運行を図った。

情報化基盤光ケーブル推進事業補助金（繰越明許分）では、補助金の対象であるQ T n e t ・ぴーぶる共同事業体が行う光ケーブル等施設整備が令和7年6月に完了し、高速インターネット環境の実現と有線テレビの民設民営化が達成された。

市民会館建設費の新唐津市民会館（仮称）整備Ⅱ期事業費（継続費2年度分）では、改築工事を令和6年度から継続して実施し、これに関連する工事監理業務のほか、光幹線移設工事等を実施した。また、曳山展示場内で投影する映像コンテンツについて九州大学と研究を行ったほか、西側エリアの整備に向けた設計業務や測量、地質調査を実施した。

新唐津市民会館（仮称）整備Ⅲ期事業費（継続費初年度分）では、土地を購入したことにより市民会館の駐車場用地及び本体工事の工事ヤードの確保が可能となり、本体工事をより円滑に進めることができた。

定額減税調整給付金事業費及び同事務費では、賃金上昇が物価高に追いついていない住民の負担を緩和するため実施された定額減税において、令和6年分所得税及び定額減税の実績額が確定したのちに本来給付すべき所要額と当初給付額との間で差額が生じた方に対して差額分の給付金を支給した。

(2) 徴税費

課税客体の適正な把握と公平な課税に努め、滞納整理においては、滞納処分を効率化するために滞納者の職業別一括管理を行い、収納率向上に努めた。

また、国税とのデータ連携システムやe L T A X（地方税ポータルシステム）を活用し、申告書や給与支払報告書等収受について電子データ化を推進することにより、課税事務の効率化を図ったほか、地方公共団体情報システムの標準化に向けて滞納管理システムの改修を行った。

固定資産業務においては、令和9基準年度固定資産評価替え（土地）に向けて、市内全域の道路状況を確認し、路線価の要因情報を取得するとともに、地目認定を行った。

(3) 戸籍住民基本台帳費

戸籍法、住民基本台帳法等に基づき、戸籍届出、住民異動届、印鑑登録、各種証明書発行及びマイナンバーカード関連業務を適正に執行し、窓口事務の円滑化と迅速化を図り、市民サービスの向上に努めた。

令和3年施行の「地方公共団体情報システムの標準化に関する法律」に基づき、戸籍情報システム及び戸籍附票システムを国の標準仕様に準拠させ、データをクラウド化したことにより、運用効率の向上、制度改正への迅速な対応及び住民サービスの安定提供を実現した。

戸籍法改正に伴う氏名の振り仮名記載に対応するため、唐津市に本籍を有する者への通知書の発送を行うとともに、戸籍情報システムにおける振り仮名の一括登録処理機能を整備した。

(4) 選挙費

参議院議員通常選挙（令和7年7月20日）、衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査（令和8年2月8日）を執行した。また、各種選挙制度の周知及び明るい選挙推進運動の浸透を図るため、啓発活動に努めた。

(5) 企画費

からつ力向上推進費では、各種団体等が抱える課題の把握や意見交換を行う唐津創生会議を開催するとともに、若手職員の資質向上を図る未来づくり研究会を実施したほか、企業版ふるさと納税の取組みを推進した。

新エネルギー導入推進費では、新エネコーディネーターを活用しながら市内事業者を対象とした連続講座「GX人財育成アカデミー」を実施し、事業者の機運醸成と行動変容につなげることができ、また、次の段階として市民を対象とした取組みへの知見が得られた。

唐津市再生可能エネルギー基本計画評価委員会では、基本計画の取組評価へ向けた手法等を検討した。

脱炭素化推進エリア創出事業費では、港湾エリアをエネルギー構造高度化と脱炭素化にモデル的に取り組む拠点（モデルエリア）として設定し、エリア内において積極的に取り組む事業者と連携して、ポテンシャル調査や課題整理等を行い、先進事例を創出するための取組プランの素案を取りまとめた。

移住定住促進事業費では、本市への移住を促進するため、移住コンシェルジュによる移住相談への対応を行うとともに、移住フェア等への参加や、移住促進に向けた情報発信を行った。また、将来のUターンと定住を促すため、若者（中高生等）への定住意識醸成の取組みとして、中学校で移住者からみた唐津の魅力などの講演会を実施するとともに、高校の探究学習のテーマとしてUターン促進策や住み続けたくなるまちづくりに関する研究を提案し、あわせて助言・指導を行った。

出会い創出事業費では、結婚を希望する男女の出会い支援として、出会い応援イベントを開催し出会いの場を創出するとともに、県が運営する「さが出会いサポートセンター」への新規登録料補助を行った。

女・男（ひと・ひと）輝き事業費では、男女の固定的な役割分担意識の解消と男女共同参画社会の実現を目指して、各種意識啓発セミナーやパネル展の開催、市民団体が主催するフォーラム事業に対し補助を行ったほか、女性社員を対象としたキャリアアップセミナーなどの講座を実施し、女性活躍の推進を図った。

友好姉妹都市交流費では、友好姉妹都市との催事や交流事業における相互招請・訪問を通じて継続的な友好交流を推進した。また、韓国西歸浦市で初開催された青少年グローバル共感キャンプに本市の中学生が参加したほか、日中韓友好姉妹都市囲碁交流大会の開催支援など、市民の交流活動を支援した。

ふるさと寄附金推進費では、寄附金の増加及び関連する業務の円滑化を図るため、新日本プロレスとのコラボ事業によるショート動画等の制作及びPRをはじめ、ホームページ上で寄附金活用事業の紹介を行ったほか、市内事業者から返礼品を調達したことにより、地域経済の活性化につながった。

また、寄附者との継続的なつながりを構築するため、ポータルサイト主催のイベントに出展し、市の製品のPRや返礼品の魅力を発信した。

(6) 地域振興費

生活路線バス等運行対策事業費では、オンデマンドタクシーの利用区域を拡充するための支援を行うなど、地域交通の利便性向上を図った。

タクシー事業者の配車アプリ導入に要する経費に対する補助を行うことで、利用者の利便性向上を図った。

自治会やまちづくり団体等に対し、地域づくりのための活動や施設の整備を支援するため、「がんばる地域応援補助金」により 87 団体、「コミュニティ事業助成金」により 2 団体への補助を行った。

ふるさと集落活性化事業費では、集落支援員 2 名と地域おこし協力隊 2 名を配置し、地域の課題解決に向けた事業展開のための側面的なサポートを行った。

地域づくり人材活用事業補助金では、過疎地域等においてマルチワーカーの派遣を行う特定地域づくり事業協同組合に対して補助を行い、人口減少地域における労働力の需要と供給のミスマッチ解消を図った。

相知宿通り賑わいづくり支援事業費では、相知くんちの巡行路内の電柱の嵩上げを実施し、高さ 10 m の山笠巡行ができる環境が整い、相知宿通りの賑わいづくりに寄与した。

また、離島振興に関しては、七つの島（高島、神集島、向島、加唐島、松島、馬渡島、小川島）の活性化のため、各島で行う島づくり事業に対する補助を行うとともに、島外の児童生徒 16 名を受け入れた離島留学事業を支援した。

(7) 統計調査費

統計法に基づき、基幹統計である国勢調査などを実施した。

事業名	相知市民センター改修整備費						執行率 (%)	
予算額 (円)	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	81.5
	48,582,000	0	△ 5,263,000	0	43,319,000	39,601,468	対予算現額	91.4
目 的	相知市民センター庁舎機能の別館への移転及び本館の解体設計等を行うもの。							
事業内容及び実績	備品購入費 9,592,418円 什器等移転ほか 4,136,000円 本館解体設計 2,740,100円 敷地水路等整備工事設計 12,843,600円 周辺家屋影響調査 5,231,600円 本館アスベスト含有分析調査ほか 5,057,750円							
成果等及び達成度	改修工事が終わった別館への相知市民センター庁舎機能移転のため、備品購入、什器等の移転などを実施し、令和7年7月28日に供用を開始した。 また、庁舎機能移転後の本館について、建物解体に向けたアスベスト含有分析調査、周辺家屋影響調査並びに解体設計、庁舎敷地の水路等整備工事設計を実施した。							

事業名	定額減税調整給付金給付事業費						執行率 (%)	
	〃 給付事務費						対6月補正後予算額	90.9
	会計年度任用職員給与費 (定額減税調整給付金給付分)						対予算現額	90.9
予算額 (円)	当初予算額	6月及び12月補正予算額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対6月補正後予算額	76.3
	0	497,310,000	0	0	497,310,000	451,850,000	対予算現額	76.3
	0	25,414,000	0	0	25,414,000	19,391,382	対6月及び12月補正後予算額	46.5
	0	1,772,000	0	0	1,772,000	823,152	対予算現額	46.5
目 的	令和6年分所得税及び定額減税の実績額等が確定した結果、本来給付すべき所要額が令和6年度に支給した当初調整給付額を上回ったものに対し、当初給付額との差額を支給するもの。							
事業内容及び実績	給付対象者 令和6年分所得税及び定額減税の実績額が確定したのちに、本来給付すべき所要額と当初給付額との間で差額が生じた者 支給額算定方法 本来給付すべき所要額と当初給付金の差額で、1万円単位に切り上げた額 給付実績 支援納税義務者数 14,495人 (扶養親族等を含む総支援者数 23,113人) 支給総額 451,850,000円 給付事務費内訳 事務センター運営費 12,696,000円 郵便料、振込手数料 5,252,936円 消耗品費ほか 1,442,446円							
成果等及び達成度	令和6年度に支給した当初給付金に差額が生じた者に支給することで、給付措置の公平性を図り、物価高騰による住民の負担を軽減することができた。							

事業名	情報化基盤光ケーブル推進事業補助金（繰越明許分）						執行率（％）	
予算額 （円）	繰越予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対繰越予算額	100.0
	150,474,000	—	—	—	150,474,000	150,474,000		
目 的	高速インターネット環境の実現と有線テレビ事業の民設民営化へ向け、民間が行う光ケーブル等整備に補助し、情報通信基盤の強化、充実を推進するもの。							
事業内容及び実績	整備内容 光ケーブル施設整備（線路設備及び分岐装置） 整備地区 市内全域 事業主体 Q T n e t ・ ぴーぷる共同事業体 補 助 率 10/10							
成果等及び達成度	令和4年度の浜玉、相知、鎮西、呼子地区の整備から始まり、令和5年度は厳木、北波多、肥前、七山地区の整備、令和6年度は旧唐津地区の光ケーブルの整備が開始され、説明会及び移行申込受付が実施された。令和6年度において、事業主体が活用する国庫補助金に関する変更手続及び想定外の光ファイバ網の整備に関するルートの再調査やそれらに関する用地交渉が必要となり、事業の一部を令和7年度に繰り越し、令和7年6月30日をもって事業は完了した。 また、事業主体において、国庫補助事業を一部活用することにより、当該市補助金の軽減を図った。 債務負担行為限度額 6,400,000千円（令和3年度から令和6年度まで） 市補助金総額 6,178,150千円（債務負担行為に対する補助金支給額の割合 96.5%） （令和4年度1,433,395千円、令和5年度1,369,912千円、令和6年度3,224,369千円、令和7年度150,474千円） 事業者負担額 6,477千円 国庫補助金額 450,493千円（令和7年度は国庫補助金なし）							

事業名	新唐津市民会館（仮称）整備Ⅱ期事業費（継続費２年度分）、同（通次繰越分）						執行率（％）																					
予算額 （円）	当初予算額	12月補正予算額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対12月補正後 予算額	20.0																				
	9,888,563,000	312,558,000	0	0	10,201,121,000	2,036,003,543	対予算現額	20.0																				
	繰越予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対繰越予算額	100.0																				
	1,150,507,977	—	—	—	1,150,507,977	1,150,206,959																						
目 的	多くの市民や来訪者が集い、広く唐津の魅力を発信する文化交流拠点施設として、市民会館及び曳山展示場を一体的に整備するもの。																											
事業内容及び実績	事業年度 令和6年度から令和7年度まで（継続費設定） 総事業費（継続費設定額） 11,894,474千円 令和7年度実施事業（継続費２年度分及び通次繰越分） <table><tr><td>改築建築工事</td><td>2,526,800,000円</td><td>改築電気設備工事</td><td>545,600,000円</td></tr><tr><td>工事監理業務</td><td>43,190,000円</td><td>光幹線移設工事</td><td>33,330,000円</td></tr><tr><td>九州大学受託研究業務</td><td>15,000,000円</td><td>西側広場設計等委託業務</td><td>16,933,400円</td></tr><tr><td>給水管引込変更工事</td><td>1,672,000円</td><td>電柱移転補償</td><td>539,205円</td></tr><tr><td>事務費</td><td>3,145,897円</td><td></td><td></td></tr></table>								改築建築工事	2,526,800,000円	改築電気設備工事	545,600,000円	工事監理業務	43,190,000円	光幹線移設工事	33,330,000円	九州大学受託研究業務	15,000,000円	西側広場設計等委託業務	16,933,400円	給水管引込変更工事	1,672,000円	電柱移転補償	539,205円	事務費	3,145,897円		
改築建築工事	2,526,800,000円	改築電気設備工事	545,600,000円																									
工事監理業務	43,190,000円	光幹線移設工事	33,330,000円																									
九州大学受託研究業務	15,000,000円	西側広場設計等委託業務	16,933,400円																									
給水管引込変更工事	1,672,000円	電柱移転補償	539,205円																									
事務費	3,145,897円																											
成果等及び達成度	新唐津市民会館（仮称）の改築工事を令和6年度から継続して実施し、これに関連する工事監理業務のほか、光幹線移設工事、工事エリア内の支障電柱の移転補償、給水管引込変更工事を実施した。 また、曳山展示場内で投影する映像コンテンツについて九州大学と研究を行ったほか、西側エリアの整備に向けた設計業務や測量、地質調査を実施した。 改築工事及び関連業務について、予期せぬ地下埋設物の撤去や法改正に伴う電気機器、空調機器の新基準対応等に不測の日数を要し、年度内完了が困難となったため、8,147,282,800円を令和8年度へ繰り越した。																											

事業名	新唐津市民会館（仮称）整備Ⅲ期事業費（継続費初年度分）						執行率（％）	
予算額 （円）	当初予算額	12月補正予算額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対12月補正後 予算額	66.4
	0	192,594,000	0	0	192,594,000	127,939,483	対予算現額	66.4
目 的	新唐津市民会館（仮称）整備に伴う外構工事及び備品導入等を実施するもの。							
事業内容及び実績	事業年度 令和7年度から令和9年度まで（継続費設定） 総事業費（継続費設定額） 1,390,320千円 令和7年度実施事業（継続費初年度分） 公有財産購入費 127,883,889円 事務費 55,594円							
成果等及び達成度	土地を購入したことにより市民会館の駐車場用地及び本体工事の工事ヤードの確保が可能となり本体工事をより円滑に進めることができた。							

事業名	戸籍住民基本台帳事務費							執行率（％）	
予算額 （円）	当初予算額	6月及び9月 補正予算額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対6月及び9月 補正後予算額	86.9	
	128,015,000	10,247,000	△ 6,180,000	0	132,082,000	120,103,829	対予算現額	90.9	
目 的	戸籍及び住民基本台帳に関する証明書の発行並びに各種届出の受付、マイナンバーカード及び電子証明書の交付、印鑑登録、自動車臨時運行許可並びに在留カード等に関する事務を適正かつ円滑に実施し、住民サービスの向上を図るもの。								
事業内容 及び実績	届出の受付件数、証明発行件数の実績（単位 件）								
			本庁	市民センター	移動市役所	郵便局	コンビニ	オンライン	合計
	戸籍届	R6	5,057	1,176	—	—	—	—	6,233
		R7	4,932	1,022					5,954
	住 民 異動届	R6	9,768	2,654	—	—	—	489	12,911
		R7	9,916	2,567				604	13,087
	証明書	R6	79,720	27,765	20	1,253	29,220	448	138,426
		R7	75,353	25,262	20	1,024	31,642	321	133,622
	マイナンバーカードの申請数、交付数等								
			申請数 （件）		交付数 （枚）		保有 枚数率	（参考） 交付率	電子証明書 交付数 （件）
		うち施設等	うち個人訪問	うち郵送受取					
R6		8,852	296	578	7,853	1,900	80.84%	90.06%	18,821
R7		14,505	150	138	14,416	1,516	84.11%	103.97%	34,529
※（保有枚数率）死亡や転出などを除いた実態に近い指標（交付率）延べ枚数で算出したもの。									
成果等 及び 達成度	戸籍及び住民基本台帳に関する各種届出の受理、住民異動処理並びに各種証明書の交付を関係法令に基づき適正かつ迅速に実施し、証明書発行のオンライン化を含めたデジタル化を推進するとともに、コンビニ交付サービスの運用により戸籍証明書を除く各種証明書の交付手数料を窓口交付より50円低く設定し、住民の利便性向上を図ることで、前年度利用率が21.1％から23.7％に上昇した。								
	また、マイナンバーカードの交付・更新等を通じてオンライン申請の拡充及びマイナポータルの周知を行い、手続の利便性向上を図った結果、マイナンバーカードの保有枚数率は80.84％から84.11％に上昇した。情報基盤の整備においては、戸籍情報システム及び戸籍附票システムの標準化・クラウド化を実施し、運用の効率化及び住民サービスの安定化を図ったほか、戸籍法改正に伴う氏名の振り仮名記載への対応として、通知及びシステム改修を行い、事務の円滑な執行に努めた。								
	なお、住民票等への旧氏の振り仮名記載に対応するためのシステム改修を実施するため、5,260,000円を令和8年度に繰り越した。								

事業名	からつ力向上推進費						執行率 (%)	
予算額 (円)	当初予算額	6月補正予算額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対6月補正後 予算額	43.7
	0	2,754,000	0	0	2,754,000	1,204,871	対予算現額	43.7
目 的	からつ力向上のため、団体等が抱える課題の把握や意見交換を行う唐津創生会議を開催するとともに、若手職員の資質向上を図る未来づくり研究会を実施するほか、企業版ふるさと納税の取組みを推進するもの。							
事業内容及び実績	唐津創生会議の開催 3,780円 第1回 農業関係(9名)、第2回 企業・雇用関係(7名)、第3回 高齢者関係(10名) 唐津市未来づくり研究会の開催 465,631円 参加職員 10名、研究テーマ 4テーマ、グループワークによる研究活動・先進地視察等の実施 企業版ふるさと納税の取組み 735,460円 寄附額に応じた成功報酬型委託料 698,500円 (寄附13件、寄附額3,300,000円) 周知の取組みに係る経費 (印刷製本費) 36,960円							
成果等及び達成度	唐津創生会議では、分野ごとの関係団体・企業等を集めた会議を3回開催し、各分野における課題を把握するとともに、今後の施策検討に資する意見交換を行った。 未来づくり研究会では、職員が自ら設定した4つのテーマについて研究活動に取り組み、グループワークや先進地視察等を通じて課題の整理や検討を深めるなど、研究報告に向けた活動を着実に進めた。 企業版ふるさと納税の取組みでは、新たにマッチング支援事業者を広く公募し、3社と委託契約を締結した。取組み全体で、合計24件、9,784,208円の寄附 (前年比 +7件、△8,822,928円) につながった。							

事業名	新エネルギー導入推進費						執行率 (%)	
予算額 (円)	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	82.6
	3,028,000	0	0	0	3,028,000	2,500,256	対予算現額	82.6
目 的	再生可能エネルギーの積極的な導入やエネルギーの合理的な使用を推進し、地域産業の振興を図るとともに、クリーンエネルギーによる脱炭素社会づくりを目指すもの。							
事業内容及び実績	GX人材育成アカデミー講師謝金 82,700円 新エネコーディネーター等謝金 518,060円 唐津市再生可能エネルギー基本計画評価委員会の開催 54,720円 レンズ風車の維持管理 921,144円 その他事務費 923,632円							
成果等及び達成度	GX人材育成アカデミーや新エネコーディネーターを活用し「唐津GX推進プラットフォーム」の構成員をはじめ市内事業者の意識醸成によって脱炭素社会実現に向けた行動意欲の喚起につながり、具体的な取組みの知見も得ることができた。 新設した唐津市再生可能エネルギー基本計画評価委員会では、基本計画の取組評価へ向けた手法等を検討した。							

事業名	脱炭素化推進エリア創出事業費						執行率 (%)	
予算額 (円)	当初予算額	6月補正予算額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対6月補正後 予算額	80.0
	0	13,999,000	△ 2,541,000	0	11,458,000	11,199,220	対予算現額	97.7
目 的	積極的な事業者と連携し、脱炭素化推進モデルエリアを市内に創出することで、再生可能エネルギーの導入と脱炭素化の加速化を図るとともに、地域の産業力強化を目指すもの。							
事業内容及び実績	脱炭素化推進モデルエリア検討調査業務 11,000,000円 その他事務費 199,220円							
成果等及び達成度	地域の産業力強化のため、エネルギー構造高度化と脱炭素化にモデル的に取り組む拠点として唐津港妙見地区を設定し、エネルギー利用状況や再エネポテンシャル等の調査から課題等を整理し、先進事例創出や他エリアへの横展開も視野に入れた取組プランの素案を取りまとめることができた。							

事業名	DX推進事業費						執行率 (%)	
予算額 (円)	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	49.6
	14,286,000	0	△ 6,790,000	0	7,496,000	7,083,560	対予算現額	94.5
目 的	市民の利便性向上や庁内事務の効率化を図るため、DXを推進するもの。							
事業内容及び実績	電子錠の追加導入（公民館、学校開放施設） 6,207,960円 業務効率化アプリ作成ツールの導入 506,000円 電子契約・電子通知システムの導入 369,600円							
成果等及び達成度	公共施設予約システムと連携する電子錠を22箇所追加導入し、施設利用時の鍵の受渡しを非対面化することで、利用者の利便性向上を図るとともに、鍵の貸出し及び返却に係る施設管理者の負担を軽減した。 業務効率化アプリ作成ツールの導入では、職員を対象とした操作研修を実施し、紙やExcelを中心とした業務のデジタル化及び職員自らが業務改善に取り組むための環境を整備した。 さらに、電子契約・電子通知システムを導入し、契約及び通知事務をオンライン化することで、印刷、郵送等に係る経費及び事務負担の軽減並びに手続の迅速化につなげた。							

事業名	移住定住促進事業費						執行率 (%)	
予算額 (円)	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	41.4
	35,198,000	0	△ 10,439,000	△ 1,200,000	23,559,000	14,577,983	対予算現額	61.9
目 的	人口減少対策の一環として、移住支援金の交付、移住コンシェルジュによる相談対応、情報発信などにより、移住促進を図るもの。また、若者の定住につなげる地元愛の醸成を図るもの。							
事業内容及び実績	移住促進事業 移住コンシェルジュの設置（新規相談件数214件／実移住者43世帯86人） 6,664,948円 移住情報の発信（移住フェア等への参加負担金、旅費等） 560,500円 唐津市地方創生移住支援事業補助金（東京圏対象）1件 2,000,000円 唐津暮らしスタート支援事業補助金（東京圏以外※R6終了経過措置分）3件 2,200,000円 未来につなぐ唐津移住支援事業補助金（東京圏以外※R7から）3件 3,000,000円 定住促進事業 中高生等を対象とした定住意識醸成（シビックプライドの醸成） 33,260円 その他事務費 119,275円							
成果等及び達成度	移住フェアへの参加、オンライン移住相談会の実施、移住希望者向けウェブサイトの運営等により、移住希望者への情報発信を行った。新規移住相談件数はR5 207件、R6 221件、R7 214件、移住者数はR5 49世帯95人、R6 52世帯100人、R7 43世帯86人と概ね横ばいで推移しているが、コロナ禍前のH30実績（相談67件、移住7世帯13人）を大きく上回っている。 また、移住者等による中学生向け講演や高校での探究学習支援を通じ、市への愛着を高め、将来の定住・Uターンにつなげるシビックプライド醸成にも取り組んだ。講演後アンケートでは、約87%の生徒から「唐津に対する見方・印象が良い方向に変わった」との回答が得られた。							

事業名	出会い創出事業費						執行率 (%)	
予算額 (円)	当初予算額	6月補正予算額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対6月補正後 予算額	74.2
	329,000	1,135,000	0	0	1,464,000	1,086,660	対予算現額	74.2
目 的	人口減少対策の一環として、結婚を希望する男女の出会いを応援するもの。							
事業内容及び実績	婚活アドバイザー企画・監修出会い応援イベント 参加者48人 連絡先交換マッチング11組 コーヒー恋活イベント 参加者18人 連絡先交換マッチング 5組 アロマブレンド恋活イベント 参加者23人 連絡先交換マッチング 5組 さが出会いサポートセンター新規登録料補助（7月～） 17件 82,500円							
成果等及び達成度	著名な婚活アドバイザーによる出会い応援イベントのほか、加部島の景観や唐津コスメといった地域資源を活用した体験交流イベントを実施し定員を超える応募があった。連絡先交換マッチングにつながるような交流ができ、参加者の満足度も非常に高い結果となった。より結婚を希望する独身男女に向け、県の結婚相談所「さが出会いサポートセンター」への新規登録料補助を行った。唐津市の登録者数45人のうち、新規登録は28人（R6 20人）、成婚者は3人（成婚後配偶者含め唐津在住6人）。市のお出会い創出事業周知のため、さが出会いサポートセンター登録料補助や市主催の出会いイベント等を、SNS（LINE、Instagram）で広告配信し、20～30歳代へ向けて効率的にアプローチした。							

事業名	女・男（ひと・ひと）輝き事業費						執行率（％）	
予算額 （円）	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	73.3
	1,889,000	0	0	0	1,889,000	1,385,282	対予算現額	73.3
目 的	男女共同参画社会の実現のため、啓発や支援を行い、理解促進と課題解決を図るもの。 また、性別にかかわらず、誰もが働きやすい環境づくりのため、女性活躍推進事業に取り組むもの。							
事業内容及び実績	意識啓発セミナー等の開催 実施回数12回 参加者延べ579人 1,070,145円 女性のためのデジタル活用講座、男女共同参画推進映画上映会、相談窓口紹介カードの作成等 男女共同参画推進フォーラム事業補助金 実施回数1回 参加者64人 173,915円 お出かけ講座志援隊事業 実施回数3回 参加者203人 32,400円 男女共同参画推進協議会の開催 実施回数1回 委員15人 56,550円 その他事務費 52,272円							
成果等及び達成度	意識啓発セミナーや市民グループによる出前講座、普通科高校の総合的な探究の時間における若年層への啓発などを実施し、男女の固定的な役割分担意識の解消と、男女共同参画の理解促進に努めたことにより一定の成果は認められるが、効果は限定的であり、地域全体に波及する取組みが必要である。 唐津市男女共同参画基本計画（第5次）における目標値（令和11年度）及び達成度 公的審議会等委員に占める女性の割合 目標値50%に対し、令和7年度40.5% 達成度81% ワーク・ライフ・バランスが取れていると感じている人の割合 目標値40%に対し、令和7年度38.5% 達成度96%							

事業名	友好姉妹都市交流費						執行率（％）	
予算額 （円）	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	70.3
	5,435,000	0	△ 950,000	0	4,485,000	3,818,825	対予算現額	85.1
目 的	友好姉妹都市との交流による国際親善の推進、相互発展、多文化共生の地域づくりを担う力となる青少年等の人材育成を図るもの。							
事業内容及び実績	友好姉妹都市との催事や交流事業 訪問7回、受入8回（囲碁交流大会は2都市のため2回受入として計上） 第16回済州国際青少年フォーラム 韓国済州特別自治道教育庁主催 高校生3名、引率1名 165,400円 第1回青少年グローバル共感キャンプ 韓国西歸浦市主催 中学生5名、引率2名 395,407円 第3回荅北町長杯ジュニアサッカー大会 市内のサッカーチーム小学生14名、指導者1名 332,130円 第24回日中韓友好姉妹都市囲碁交流大会（唐津大会）中国揚州市、韓国麗水市選手等41名 1,890,748円 その他友好姉妹都市訪問、受入ほか 1,035,140円							
成果等及び達成度	友好姉妹都市との催事や交流事業における相互招請・訪問を通じて、継続的な友好交流を推進するとともに、新たな青少年交流事業を実施し、交流の裾野の拡大を図った。 青少年国際交流活動報告会では、済州国際青少年フォーラムや青少年グローバル共感キャンプの参加者による成果発表を行い、多文化理解や国際感覚の醸成など事業効果を広く共有することができた。 これらの取組みを通じて、友好姉妹都市との信頼関係のさらなる深化が図られるとともに、市民の国際理解を深め、多文化共生の地域づくりの推進につなげることができた。							

事業名	ふるさと寄附金推進費						執行率 (%)	
予算額 (円)	当初予算額	3月補正予算額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対3月補正後 予算額	106.7
	2,738,677,000	246,331,000	0	274,527,743	3,259,535,743	3,184,494,034	対予算現額	97.7
目 的	市の産品のPRと地域経済の活性化を図るとともに、ふるさと寄附金の取組みを推進するもの。							
事業内容及び実績	寄附金の募集に要した費用 2,926,038,183円 返礼品の調達に要した費用 1,444,166,713円 返礼品の送付に要した費用 485,072,048円 広報に要した費用 31,870,392円 寄附金の決済に要した費用 50,661,879円 ポータルサイト運営等に要した費用 914,267,151円 その他対象外経費（広告費等の一部） 258,455,851円 令和7年度寄附件数 380,112件							
成果等及び達成度	ふるさと寄附金を5,863,362,703円（前年度比5.3%増）受け入れ、ふるさと寄附金推進費3,184,494,034円及び会計年度任用職員給与費11,931,375円を差し引いた2,666,937,294円を、基金利子35,495,312円とあわせてふるさと寄附金基金へ積み立てた。 市内事業者から返礼品を調達したことにより市の産品PR及び地域経済の活性化に寄与するとともに、寄附件数が前年度比9.2%増加し、ふるさと寄附金を通して関係人口の増加に結び付いた。							

事業名	離島航路運航対策事業費						執行率（％）	
予算額 （円）	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	87.1
	343, 591, 000	0	△ 44, 489, 000	0	299, 102, 000	299, 101, 473	対予算現額	100.0
目 的	離島航路を確保し、離島住民の生活安定に資するため、離島航路の運航経費の補助等を行うもの。							
事業内容及び実績	離島航路補助金							
	区分	航路	航路事業者	補助金額		利用者数		
	国庫	神集島航路	唐津汽船(株)	50, 267, 395円		59, 760人		
		加唐島航路	(有)加唐島汽船	29, 097, 936円		32, 733人		
		馬渡島航路	(有)郵正丸	35, 607, 420円		34, 593人		
		小川島航路	川口汽船(有)	11, 448, 050円		54, 784人		
	県単	高島航路	佐賀玄海漁業協同組合	58, 131, 351円		111, 548人		
		向島航路	(株)向島汽船	45, 147, 644円		7, 968人		
		松島航路	(株)新栄	50, 987, 677円		5, 373人		
	合 計			280, 687, 473円		306, 759人		
	補助対象期間 国庫 令和5年10月1日～令和6年9月30日、県単 令和6年10月1日～令和7年9月30日							
向島航路（本土側）浮桟橋チェーン更新工事 9, 130, 000円								
馬渡島航路（本土側）浮桟橋チェーン更新工事 9, 284, 000円								
成果等 及び 達成度	補助を行うことで、就航率（補助対象期間の運航計画に対する運航実績の割合）は96％となり、確実な運航を維持した。 利用者数は、306, 759人（R6年 317, 803人）と前年より11, 044人減少（△3％）しており、これは夏場の猛暑により、釣り客など島外の利用者が少なかったことによるものであった。							

事業名	生活路線バス等運行対策事業費						執行率 (%)	
予算額 (円)	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	99.9
	219,687,000	0	0	0	219,687,000	219,575,000	対予算現額	99.9
目 的	地域公共交通を確保し地域住民の生活安定に資するため、生活路線バス等の運行経費の補助等を行うもの。							
事業内容及び実績	生活路線バス等運行費補助金 203,660,000円 補助対象路線 42路線 延べ輸送人員 678,670人 (令和6年10月～令和7年9月) オンデマンドシステム導入補助金 15,915,000円 デマンドタクシーの予約から配車までの運行一連のシステム導入に対する補助 対象地区 鏡、大良・旭が丘、浜玉、厳木、相知、北波多、肥前、七山							
成果等及び達成度	路線バス等の運行確保と利便性向上を図るため、新たに鏡、大良・旭が丘、北波多でオンデマンドタクシーの運行を開始したことで、住民の生活安定に寄与することができた。 利用者数は、678,670人 (R6年 778,521人) と前年より99,851人減少 (△12.8%) しており、スクールバスの運行により、小中学生の利用が減少したことが主な要因となっている。引き続き利用者が少ない状況であり、運転手不足の問題も含め、路線の再編等の運行の効率化が必要である。							

事業名	バス・タクシー運転手緊急確保事業補助金						執行率 (%)	
予算額 (円)	当初予算額	6月補正予算額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対6月補正後 予算額	0.8
	0	7,088,000	△ 6,097,000	0	991,000	54,000	対予算現額	5.4
目 的	生活路線バス等の持続的な運行を図るため、交通事業者が行う従業員の第二種運転免許取得の支援に対し補助を行うもの。							
事業内容及び実績	バス・タクシー運転手緊急確保事業補助金 54,000円 普通二種免許取得者分 1名 対 象 者 市内に事業所又は営業所がある生活路線バス運行事業者及びタクシー事業者 対象経費 第二種運転免許取得費用 補 助 率 1/3 (40歳未満及び移住者分は1/2)							
成果等及び達成度	補助を行うことで、交通事業者の人材確保を支援するとともに、免許取得に係る従業員の経済的負担軽減にも寄与することができた。 市内の交通事業者では、令和7年度にバス運転手を2名、タクシー運転手を13名採用されているが、第二種運転免許を所持している中途採用が主だったため、補助対象の人数は1名のみとなった。また、7月からの事業開始となり期間が短く、事業の周知が十分でなかったことから、交通事業者と共に情報発信に努め、より効果的な採用活動につなげる必要がある。							

事業名	タクシー事業者配車アプリ導入支援補助金						執行率 (%)	
予算額 (円)	当初予算額	6月補正予算額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対6月補正後 予算額	47.1
	0	6,136,000	△ 3,245,000	0	2,891,000	2,891,000	対予算現額	100.0
目 的	利用者の利便性向上を図るため、タクシー事業者の配車アプリ導入に要する経費に対し補助を行うもの。							
事業内容及び実績	配車アプリ導入補助金 2,891,000円 導入台数(事業者数) 49台(3事業者) 対 象 者 市内に事業所又は営業所があるタクシー事業者 対象経費 配車アプリ導入費用 補 助 率 1/2(限度額 1台当たり59,000円)							
成果等及び達成度	補助を行うことでタクシー事業者の配車アプリ導入が進み、令和8年1月からサービス提供が開始されたことによって、利用者と待機タクシーのマッチングが容易になり、運行の効率化が図られた。また、観光客など市外からの来訪者も利用しやすい環境となった。							

事業名	からつ島づくり事業費						執行率 (%)	
予算額 (円)	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	100.0
	11,000,000	0	0	0	11,000,000	11,000,000	対予算現額	100.0
目 的	離島住民の参画と創意工夫による離島地域の自立的発展を促進するため、離島の振興、活性化及び活力維持を図る目的で離島住民等が組織する島づくり実行委員会等に対し、補助金による支援を行うもの。							
事業内容及び実績	各団体の取組み 11,000,000円 高 島 有害鳥獣対策事業、環境美化事業ほか5事業 1,357,000円 神集島 有害鳥獣対策事業、環境美化事業ほか3事業 1,467,000円 向 島 環境美化事業 552,000円 加唐島 有害鳥獣対策事業、国際交流事業、生活の安定事業 2,111,000円 松 島 有害鳥獣対策事業、環境美化事業、特産品開発事業 1,277,000円 馬渡島 環境美化事業、有害鳥獣対策事業、島民交流事業 1,842,000円 小川島 地域交流事業、有害鳥獣対策事業ほか2事業 2,184,000円 からつ七つの島活性化協議会 七つの島活性化事業 210,000円							
成果等及び達成度	島づくり事業への支援により、全ての離島で島民がそれぞれの課題解決や島の特性を活かした取組みの連携が図られ、島の活性化につながった。							

事業名	離島留学事業補助金						執行率（％）																													
予算額 （円）	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	55.3																												
	24,343,000	0	△ 9,000,000	0	15,343,000	13,467,770	対予算現額	87.8																												
目 的	離島地域の振興及び離島の小中学校の活性化を図るため、高島、加唐島、馬渡島、小川島で実施される離島留学の支援を行うもの。																																			
事業内容及び実績	からつ七つの島活性化協議会が実施した離島留学の取組み 留学生家族の負担軽減補助など 離島留学寮（高島）の運営 離島留学に関する広報活動 現地見学会の開催、面接会の実施 家族留学に使用する空き家の修繕 補助額 13,467,770円 3,730,230円 7,382,780円 2,135,953円 122,611円 96,196円																																			
成果等及び達成度	島外から16人（前年度から2人増）の児童・生徒を離島留学に呼び込むことができ、学校の活性化及び地域の活性化を図ることにつながった。 <table><tr><td></td><td>高島(寮)</td><td>加唐島(家族)</td><td>馬渡島(家族)</td><td>小川島(家族)</td><td>合計</td></tr><tr><td rowspan="2">R7年度</td><td>児童のみ</td><td>2家族</td><td>2家族</td><td>2家族</td><td>6家族</td></tr><tr><td>4人</td><td>3人</td><td>4人</td><td>5人</td><td>16人</td></tr><tr><td rowspan="2">R6年度</td><td>児童のみ</td><td>2家族</td><td>1家族</td><td>2家族</td><td>5家族</td></tr><tr><td>4人</td><td>4人</td><td>2人</td><td>4人</td><td>14人</td></tr></table>									高島(寮)	加唐島(家族)	馬渡島(家族)	小川島(家族)	合計	R7年度	児童のみ	2家族	2家族	2家族	6家族	4人	3人	4人	5人	16人	R6年度	児童のみ	2家族	1家族	2家族	5家族	4人	4人	2人	4人	14人
	高島(寮)	加唐島(家族)	馬渡島(家族)	小川島(家族)	合計																															
R7年度	児童のみ	2家族	2家族	2家族	6家族																															
	4人	3人	4人	5人	16人																															
R6年度	児童のみ	2家族	1家族	2家族	5家族																															
	4人	4人	2人	4人	14人																															

事業名	スマートアイランド推進事業費						執行率 (%)	
予算額 (円)	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	47.4
	2,246,000	0	0	0	2,246,000	1,065,250	対予算現額	47.4
目 的	離島の暮らしを便利で豊かなものにするICTを活用した事業に取り組み、島民主体による持続可能な「島づくり」を推進するもの。							
事業内容及び実績	佐賀県スマートアイランド推進事業への負担金 1,065,250円 事業主体 佐賀県 協力団体 神集島ドローン隊、(株)まいづる百貨店、九電ドローンサービス(株)、唐津市 実施内容 (株)まいづる百貨店の社員2名を神集島ドローン隊の本土側パイロットとして育成 本土(湊浜漁港)と離島(神集島漁港)間でのデモフライトの実施 神集島の紹介動画の作成と作成した動画のイベント等での上映の実施							
成果等及び達成度	(株)まいづる百貨店の協力を得て、これまで課題となっていた、本土側のドローン機体の離発着を担当する本土在住のパイロットの確保が実現し、課題解決につながった。 神集島ドローン隊が撮影し、自ら編集をした神集島の紹介動画を東京で開催されたアイランダー2025で放映を行い、神集島の魅力を伝えるとともに認知度向上を図ることができた。							

事業名	ふるさと集落活性化事業費						執行率（％）	
	会計年度任用職員給与費（ふるさと集落活性化事業分）						対当初予算額	80.7
予算額 （円）	当初予算額	12月補正予算額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対予算現額	93.4
	8,501,000	0	△ 1,000,000	△ 155,050	7,345,950	6,858,778	対12月補正後 予算額	103.1
	16,861,000	869,000	0	553,671	18,283,671	18,283,671	対予算現額	100.0
目 的	地域住民の主体的な集落維持活動を支援するため、集落支援員を配置するとともに、地域外の人材を活用した定住及び定着による地域力の維持・強化を図るため、地域おこし協力隊の配置等を行うもの。							
事業内容 及び実績	集落支援員報酬等						9,384,927円	
	集落支援員（まちづくり支援） 2名 地域まちづくり会議等の活動サポート							
	地域おこし協力隊員報酬等						8,898,744円	
	地域おこし協力隊伴走支援に係る業務						653,400円	
	地域おこし協力隊募集支援に係る業務						3,998,500円	
	地域おこし協力隊 2名 離島を島民だけでなく市民全体で考えサポートするためのプラットフォーム づくり							
その他事務費						2,206,878円		
成果等 及び 達成度	集落支援員による地域まちづくり会議等の活動サポートをはじめ、地域おこし協力隊の活動を通じた地域支援を行うことにより、地域活性化の下支えを行った。 また、こどもの居場所支援及び呼子朝市の活性化に寄与するため、新たに配置する地域おこし協力隊を2名募集し、令和8年度からの導入に向けた事前準備を行った。							

事業名	地域交流イベント活動促進費						執行率（％）	
予算額 （円）	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	84.0
	24,000,000	0	△ 3,750,000	0	20,250,000	20,150,000	対予算現額	99.5
目 的	市民センターごとに実施される地域イベントに対し支援を行うことにより、地域住民の活動意欲を高め、地域の担い手育成を図るもの。							
事業内容 及び実績	浜玉	浜玉町花火大会、サニーフェスティバル					2,350,000円	
	厳木	厳木町納涼花火大会、風のふるさと教室					2,900,000円	
	相知	相知町にぎわいフェスタwith相知くんち					3,000,000円	
	北波多	北波多子ども夏まつり、北波多ふれあいフェスタ、唐津焼の里ウォーク					3,000,000円	
	肥前	肥前いろは祭					2,900,000円	
	鎮西	中止						
	呼子	呼子町イカまつり、水光呼子港まつり					3,000,000円	
	七山	七山夏まつり、七山産業まつり					3,000,000円	
成果等 及び 達成度	地域で自発的に取り組まれるイベントの開催に寄与するとともに、地域内外の住民が交流するイベントの実施を支援することができた。							

事業名	がんばる地域応援補助金						執行率（％）				
予算額 （円）	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	76.7			
	20,000,000	0	0	0	20,000,000	15,337,000	対予算現額	76.7			
目 的	地域の市民活動を育てていくとともに、地域が連携・協働して取り組む課題解決を支援することで、地域力の向上と将来にわたり持続可能な地域の形成を図るもの。										
事業内容及び実績	がんばる地域応援事業補助金										
	地域の活性化を図るソフト事業										
	通常分		65団体（大規模6件、小規模11件、チャレンジ48件）				6,192,000円				
	地域まちづくり会議分		16団体				8,487,000円				
	地域連携を図るハード事業		6団体				658,000円				
	（単位 千円）										
	区分	唐津	浜玉	厳木	相知	北波多	肥前	鎮西	呼子	七山	計
	ソフト事業	4,853 (44団体)	280 (5団体)	50 (1団体)	261 (3団体)	50 (1団体)	350 (4団体)	248 (5団体)	50 (1団体)	50 (1団体)	6,192 (65団体)
	ソフト事業 (まちづくり会議)	4,646 (11団体)	500 (1団体)	211 (1団体)	1,822 (1団体)	387 (1団体)	0	0	0	921 (1団体)	8,487 (16団体)
	ハード事業	338 (3団体)	48 (1団体)	0	0	49 (1団体)	223 (1団体)	0	0	0	658 (6団体)
計	9,837 (58団体)	828 (7団体)	261 (2団体)	2,083 (4団体)	486 (3団体)	573 (5団体)	248 (5団体)	50 (1団体)	971 (2団体)	15,337 (87団体)	
成果等及び達成度	各地域の活性化につながる取組みを支援することにより、魅力あるまちづくりの推進に寄与することができた。また、地域まちづくり会議においても活発な活動が行われた一方で、現行の補助制度の性質上、一部の活動内容に制約が生じている状況を踏まえ、弾力的な支援となるよう制度の見直しが必要である。										

事業名	相知宿通り賑わいづくり支援事業費、同（繰越明許分）						執行率（％）	
予算額 （円）	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	41.4
	65,743,000	0	0	0	65,743,000	27,225,219	対予算現額	41.4
	繰越予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対繰越予算額	64.9
	64,704,000	—	—	—	64,704,000	41,989,986		
目 的	地域の伝統文化を守り、育て、魅力ある地域づくりを推進するとともに、地域力の向上を図るため、相知宿通りの賑わいづくりを支援するもの。							
事業内容及び実績	「相知くんち」巡行路内の電柱の嵩上げ等 事業内容（現年度分） 施工区間（4工区） L＝640m ケーブルテレビ横断線解消工事 5,720,000円 配電線路移設等補償補填 21,505,219円 事業内容（繰越明許分） 施工区間（3工区） L＝520m ケーブルテレビ横断線解消工事 5,775,000円 配電線路移設等補償補填 36,214,986円							
成果等及び達成度	相知くんちの巡行路内の電柱の嵩上げが完了したことにより、高さ10mの山笠巡行が可能となり、相知宿通りの賑わいづくりに寄与することができた。							

事業名	新市誕生20周年記念ひかりで祝う新市の輝き事業費						執行率（％）	
予算額 （円）	当初予算額	9月補正予算額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対9月補正後予算額	81.4
	0	18,724,000	0	△ 508,711	18,215,289	15,244,323	対予算現額	83.7
目 的	ひかりの演出を通じて、新市誕生20周年を祝うとともに、さらなる一体感の醸成を図るもの。							
事業内容及び実績	記念LEDイルミネーション設置 9,576,723円 鏡山展望台ライトアップ 1,430,000円 記念花火の打ち上げ 4,237,600円							
成果等及び達成度	鏡山展望台のほか、市内7箇所の公共施設のライトアップ及び記念LEDイルミネーションの設置をはじめ、記念花火の打ち上げを行い「唐津はひとつ」という一体感の醸成を図った。 また、事業の実施にあたり、団体などで実施されているイルミネーション事業との連携を図ることで、記念事業としての面的な賑わいの創出につなげることができた。							

3 民 生 費

(1) 社会福祉費

福祉施策では、地域福祉活動事業の円滑かつ適正な運用を図るため、唐津市社会福祉協議会や唐津市民生・児童委員連絡協議会に対し補助を実施し、福祉のまちづくりを推進したほか、災害り災者に対し見舞金を支給し、生活再建に寄与した。

生活保護に至る前の段階にある生活困窮者に対し、唐津市生活自立支援センターにおいて自立相談支援事業及び住居確保給付金の支給や家計改善支援事業、就労準備支援事業を実施し、困窮状態からの早期脱却を促し、経済的・社会的自立につなげた。

唐津市福祉・就労支援コーナーにおいて、市とハローワークが連携し、生活保護受給者及び母子・父子家庭等に対して就労支援を実施し、対象者の就労意欲の向上や就職の実現、自立の促進につなげた。

社会福祉施設の安全な施設運営のため、必要な補修工事を行ったほか、老朽化に伴い使用しなくなった旧障害者福祉会館の解体工事等を行った。

障がい者の自立と社会参加を促進するため、障害者総合支援法に基づいて各種サービス（介護給付・訓練等給付・自立支援医療等）の支給決定等を行い、個々のニーズに応じた適切な支援につなげた。また、就労支援を実施したほか、地域の相談支援体制の強化に努めた。さらに障がい児福祉の向上を目指し、こどもの特性に応じて環境整備を行った施設に補助金を交付した。

障がい者支援センターでは、デイサービス事業等を実施し、障がい者の社会参加や地域生活の促進を図った。

高齢者福祉施策では、地区敬老会行事奨励事業、老人クラブ団体運営事業等を実施し、高齢者が元気に活躍できる環境づくりを推進したほか、高齢者が安心安全な在宅生活を送れるよう、高齢者日常生活支援事業、一人暮らし高齢者に対する緊急通報装置貸与事業等を実施した。また、はり、きゅう等施術費助成事業においては、助成額を上げ、より受療しやすい環境を整え、市民の健康増進に寄与した。

介護人材不足への対策として、新たに介護サービス事業所等に就職する者又は復職する者に対し就職支援金を交付することで、人材の確保と質の高い介護サービスの提供に努めた。

老朽化した高齢者ふれあい会館本館棟の空調機器を更新するとともに、各高齢者福祉施設を適切に管理運営し、利用者の利便性と安全性を確保した。

人権・同和対策として、同和問題をはじめとするあらゆる人権問題の解消を図るために、同和問題講演会及び人権フォーラムの開催や人権の花運動を実施し、市民に対して人権啓発の推進に努めた。

人権ふれあいセンターにおいては、地域住民の社会的、経済的、文化的改善向上を図り、地域社会における福祉の向上や人権啓発の近隣住民交流の拠点となる開かれたコミュニティセンターとして、生活上の各種相談事業や、人権課題の解決に向けた福祉・文化・教育等の事業活動を実施した。

また、老朽化が著しい人権ふれあいセンター北波多の長寿命化改修工事の実施設計を行った。

市民相談事業では、弁護士による無料法律相談を実施し、多様化する市民の諸問題解決を支援した。また、消費生活センターの相談員が消費者トラブルへの助言や情報提供を行い、被害防止と市民生活の安定に努めた。

(2) 児童福祉費

児童が心身ともに健やかに育成されるように諸施策の推進を図った。

子育て支援を包括的に行う拠点として、唐津市子育て支援センターにおいて、子育てに関する情報の提供や相談業務、子育て緊急サポートセンター事業、病後児保育事業、地域子育て支援拠点事業及び子ども・子育て交流フロアの運営を引き続き行ったほか、新生児を対象に「からつつ子応援ギフト」を配付するとともに、各種支援事業の周知を図ることにより、物心両面からの応援事業を実施した。

唐津市保健センターにおいては、全ての妊婦・子育て家庭に対し、給付金を支給することで、経済的・精神的負担の軽減を図り、安心して出産・子育てができる環境を整備した。また、妊娠届出時などの給付金申請時に面談を実施することで、母子や子育て家庭の問題点を把握して相談支援体制を充実させ、関係機関とも連携を図りながら、効果的に妊娠期から切れ目のない支援を行った。

児童虐待や不登校などの家庭児童相談及び要保護児童等の早期発見、適切な保護並びに支援に努めたほか、こどもの居場所等を支援するコーディネート事業を実施し、こどもたちが健やかに成長できる環境づくりに取り組んだ。

保育施策として、保護者の就労形態の多様化や核家族化の進行に伴い変化する保育ニーズに対応するため、延長保育事業、一時預かり事業、地域子育て支援拠点事業等の特別保育事業を実施したほか、市独自施策として多子世帯の保育料軽減を図り、子育て世帯の経済的負担を軽減した。

離島における保育事業の円滑化と適正化を図るため、運営に係る補助を行い離島の保育事業を維持した。

加えて、待機児童を解消するため、就職（復職）準備金等を支給した保育所等に対して補助することにより保育士等の人材確保に努めた。

こどもを安心して育てることができる環境を整備するため、環境改善につながる改築工事及び防犯対策強化のための防犯カメラ等の設置を行った保育所等に対し、整備費用の一部を補助した。

保育士の業務負担を軽減するため、保育業務支援システム等を導入する施設に費用の一部を補助した。

放課後児童クラブでは、保護者が労働等により昼間家庭にいない小学生に対し、適切な遊びや生活の場を提供し、児童の健全育成を図るとともに、保護者への子育て支援を行った。

公立及び私立の保育所等において、全てのこどもの育ちを支援するため、保護者の就労等の要件を問わず保育所等を一定時間利用できる「こども誰でも通園支援事業」を実施した。

こどもを持つ世帯の経済的負担を軽減するため、高校生年代までのこどもを対象に子どもの医療費助成を現物給付により行ったほか、ひとり親家庭等医療費助成では医療費の自己負担分に対する助成を行った。

次世代の社会を担うこども一人一人の成長を社会全体で応援する観点から、高校生年代までのこどもを対象に児童手当を支給し、子育て家庭に対する生活安心の確保を図った。

また、ひとり親家庭等の生活安定と自立促進を図るため、高校生年代までのこどもを養育するひとり親家庭等を対象に児童扶養手当を支給した。

さらに、物価高の影響が長期化する中、その影響を強く受けている子育て世帯を支援するため、物価高対応子育て応援手当を支給し、生活支援を行った。

物価高騰の影響を受ける保育所等の給食の食材費を補助するため、保育所等物価高騰対策支援金を支給し、子育て世代の負担軽減及び給食の質・量の維持を図った。

(3) 生活保護費

生活に困っている全ての人に対し、健康で文化的な生活水準を維持し最低限度の生活を保障するため、生活保護事業を実施した。生活保護の適正実施を図り、保護世帯の自立助長に努めた。

事業名	人権ふれあいセンター北波多長寿命化改修事業費						執行率 (%)	
予算額 (円)	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	91.7
	6,289,000	0	0	0	6,289,000	5,764,000	対予算現額	91.7
目 的	建築後46年が経過し、老朽化が著しい人権ふれあいセンター北波多の長寿命化改修工事を行うもの。							
事業内容及び実績	実施設計業務 5,764,000円							
成果等及び達成度	実施設計業務を行うことで、令和8年度からの長寿命化改修工事に向けて事業の進捗を図ることができた。							

事業名	生活困窮者自立支援事業費						執行率 (%)	
予算額 (円)	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	96.4
	43,082,000	0	0	0	43,082,000	41,536,232	対予算現額	96.4
目 的	生活保護に至る前の段階にある生活困窮者について、包括的かつ継続的な相談支援等を実施し、困窮状態からの早期脱却を促し、経済的・社会的自立につなげるもの。							
事業内容及び実績	生活困窮者自立支援事業 40,345,632円 自立相談支援事業 相談内容に応じ包括的な体制で、関係機関と連絡調整し支援を実施 家計改善支援事業 家計の問題点を把握し、滞納整理などに対し必要な助言等を実施 就労準備支援事業 一般就労に従事する準備として基礎能力の形成の支援を一貫して提供 新規相談者数 192人 延べ相談件数 4,940件 就職決定者数34人 住居確保給付金事業 1,190,600円 離職等で困窮状態にある人に対し給付金を支給し、住居の確保と自立を図った。 住居確保給付金受給者 家賃補助9人 転居費用補助0人							
成果等及び達成度	生活困窮者に対し、ハローワークと連携し就労支援を実施したことで、就労相談者数に対する就職決定率は第3次総合計画における目標値40%に対し約28%（前年度約25%）となった。住居確保給付金事業では、新規決定から再支給までの長期に渡って支援を行ったことで住居と就労機会の確保につなげた。							

事業名	令和6年度住民税非課税世帯に対する支援給付金給付事業費（繰越明許分）						執行率（％）	
	〃 給付事務費（繰越明許分）						対繰越予算額	24.4
予算額 （円）	繰越予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額		
	24,870,000	—	—	—	24,870,000	6,080,000		
	18,518,000	—	—	—	18,518,000	12,605,609		
目 的	原油価格・物価高騰による負担増を踏まえ、影響が特に大きい低所得世帯に対し、給付金を支給し、生活支援を行うもの。							
事業内容及び実績	給付金の申請期限が令和7年5月31日まで（こども加算は令和7年7月31日まで）となっており、令和6年度内に事業が完了しなかったもの。 給付対象世帯（支給額） ①令和6年度分の住民税均等割が非課税である世帯（1世帯当たり3万円） ②①のうち18歳以下の児童がいる世帯（児童1人当たり2万円） 給付数 ①180世帯 ②34人 給付事務費内訳 事務センター運営費 9,022,025円、振込手数料 1,557,875円 消耗品費 962,211円、使用料及び賃借料ほか 1,063,498円 総給付数 ①13,179世帯 ②1,749人 ※対象世帯に対する支給率98.6%							
成果等及び達成度	令和6年度に引き続き非課税世帯（うち子育て世帯には加算）に対し給付金を支給することで、生活支援を行うことができた。							

事業名	会計年度任用職員給与費（障害者就労支援事業分）						執行率（％）	
予算額 （円）	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	48.7
	2,990,000	0	0	0	2,990,000	1,455,869	対予算現額	48.7
目 的	障がい者を期限付きで会計年度任用職員（事務補助）として雇用することにより、障がい者本人が就労に対する自信を持てるように経験を積み、将来の一般就労につながるよう実施するもの。							
事業内容及び実績	障がい者2名を会計年度任用職員（事務補助）として雇用							
	雇用期間			雇用人数	勤務条件			
	令和7年 4月 1日～令和7年 9月26日			1名	6.0時間×5日/週			
	令和7年10月 6日～令和7年12月31日							
	令和7年10月 6日～令和8年 3月31日			1名				
就労経験や事務職経験が少ない障がい者に対して、一般就労に関する一定の知識と経験を付与し、就労に向けたステップアップの機会を提供した。2名を雇用したが一般就労につなげることができなかった。今後も、ハローワークとの連携をより一層図りながら事業を推進していきたい。執行率が低かった理由としては、応募がなかったことで、4月から9月下旬までの間が1名雇用であったことなどが挙げられる。								

事業名	重度心身障害者医療費助成費						執行率 (%)	
予算額 (円)	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	97.1
	190,219,000	0	0	△ 4,621,109	185,597,891	184,624,952	対予算現額	99.5
目 的	障がい者の保健の向上と福祉の増進を図るため、重度心身障がい者に対し医療費の一部を助成するもの。							
事業内容及び実績	実施内容 医療を受けた月の翌月から起算して1年以内の医療保険適用分の医療費の助成申請を受け、自己負担（月額500円）や高額療養費等を控除した金額を助成 実 績 助成件数 48,476件 対象者数 身体障害者手帳1級か2級の者 1,923人 療育手帳Aの者 239人（療育A同等の者5人含む） 精神障害者保健福祉手帳1級の者 38人 身体障害者手帳3級かつ知能指数が50以下の者 1人 合 計 2,201人							
成果等及び達成度	前年度実績と比較して、助成件数は830件減少（1.7%減）、助成金額は3,950,116円減少（2.1%減）となった。対象者が年々減少していることに比例し、助成件数・金額ともに減少しているが、引き続き障がい者の経済的負担を軽減し、安心して医療を受けられる体制を継続していく。							

事業名	心身障害者日常生活用具給付費						執行率（％）	
予算額 （円）	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	109.6
	31,231,000	0	0	3,011,182	34,242,182	34,242,182	対予算現額	100.0
目 的	在宅の障がい者や障がい児、難病患者等の日常生活がより円滑に行われるために、障がい者等に対して日常生活用具を給付するもの。							
事業内容及び実績	実施内容 障がい者等が日常生活を送るうえで必要な用具を障がいの種別や程度に応じて給付 （世帯の課税状況により自己負担あり）							
	実 績							
		種目	件数	金額				
		排泄管理支援用具（ストマ用装具等）	3,091件	30,213,323円				
		自立生活支援用具（入浴補助用具等）	16件	822,453円				
		情報意思疎通支援用具（拡大読書器等）	19件	1,105,330円				
		在宅療養等支援用具（吸引器等）	18件	760,690円				
		介護訓練支援用具（特殊寝台等）、住宅改修費	11件	1,340,386円				
	合 計	3,155件	34,242,182円					
成果等 及び 達成度	前年度実績と比較して、件数が101件増加（3.3％増加）、金額が1,483,178円増加（4.5％増加）しており、在宅の障がい者等に引き続き日常生活用具を給付したことで、日常生活がより円滑に行われ、介護者の負担軽減にもつながった。							

事業名	障害者成年後見制度利用支援事業費						執行率 (%)	
予算額 (円)	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	139.7
	2,191,000	0	0	870,342	3,061,342	3,061,342	対予算現額	100.0
目 的	成年後見制度の利用が有効と認められる知的障がい者又は精神障がい者に対し、成年後見制度の利用を支援することにより、障がい者の権利擁護を図るもの。							
事業内容及び実績	唐津市成年後見サポートセンターの運営 相談等件数/委託料 令和7年度 相談件数69件のうち障がい者支援課分25件/1,516,202円 令和6年度 相談件数134件のうち障がい者支援課分44件/1,446,300円 成年後見人等報酬の助成（全部又は一部） 件数/報酬助成額 令和7年度 7件/1,537,000円 令和6年度 5件/678,000円 後見開始等の申立 令和7年度 1件 令和6年度 1件 事務費 8,140円							
成果等及び達成度	前年度実績と比較して、唐津市成年後見サポートセンターの相談等件数が19件減少（43%減少）したが、成年後見人等報酬の助成は2件増加（40%増加）しており、成年後見制度を必要とする人に対し、適切に利用できる環境維持に努め、本人の意向や価値観を尊重した日常生活が営めるよう支援した。							

事業名	障害者基幹相談支援事業費						執行率 (%)	
予算額 (円)	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	100.1
	32,670,000	0	0	16,780	32,686,780	32,686,780	対予算現額	100.0
目 的	北部地域障がい者相談支援センターを委託し運営することで、障がい者やその家族に対して、障がい福祉サービスの利用支援等を行うとともに、困難事例への対応や相談支援事業者への助言・指導等を担い、地域の相談支援体制の強化を図るもの。							
事業内容及び実績	実施内容 令和6年度に北部地域障がい者相談支援センターを設置。地域の障がい福祉に関する相談及び支援の中核的な役割を担い、他機関と連携して地域に住む障がいがある方のサポートを行った。 実 績 19,799件 個別相談件数（福祉サービスの利用、障がいや病状の理解などに関する相談） 7,832件 地域支援等件数（社会資源の活用、相談支援体制の強化、人材育成などに関する支援） 11,967件							
成果等及び達成度	個別相談件数は令和6年度の6,648件から令和7年度7,832件と1,184件（17.8%）増加。また、地域支援等件数は、令和6年度の7,809件から令和7年度11,967件と4,158件（53.2%）増加した。北部地域障がい者相談支援センターを設置したことにより、専門的な相談支援が可能となり、地域の相談支援体制の強化につながった。							

事業名	手話言語等環境整備事業費						執行率（％）	
予算額 （円）	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	100.9
	9,105,000	0	0	80,364	9,185,364	9,185,364	対予算現額	100.0
目 的	聴覚障がい者（児）の社会生活等におけるコミュニケーションが円滑に行えるよう支援を行うもの。							
事業内容及び実績	手話通訳設置事業	窓口等対応467件、聴覚障がい者宅訪問64件					7,225,854円	
	手話普及、啓発活動事業	手話 学校訪問17校（36クラス）、市職員研修2回 ※ろう講師と手話通訳者を派遣し講義を行う。 要約筆記 学校訪問16校（29クラス）、0社（病院・企業等）					314,180円	
	手話通訳者派遣事業	16回					95,250円	
	意思疎通支援者派遣事業	手話8人（71回）、要約筆記2人（0回）					305,140円	
	奉仕員養成事業	手話教室（47回）34名、要約筆記教室（15回） 4名					721,620円	
	事務費						523,320円	
成果等及び達成度	令和元年12月に唐津市手話言語の普及及び聴覚障害児・者のコミュニケーション手段の利用を促進する条例を制定して以降、企業及び学校を対象に手話講座を開催している。令和7年度は、手話の普及、啓発活動として、市内の小中学校17校を訪問したほか、市職員向けの研修を2回開催することができた。 また、要約筆記講座においても、市内の小中学校16校を訪問して要約筆記の講座を行い、普及、啓発に努めた。手話教室の受講者数は令和6年度27名から令和7年度は34名と増加しており、障がい者とのコミュニケーションを円滑にし、障がい者の自立及び社会参加の促進を図った。							

事業名	障害福祉サービス費						執行率（％）	
予算額 （円）	当初予算額	3月補正予算額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対3月補正後 予算額	99.9
	4, 218, 422, 000	303, 449, 000	0	0	4, 521, 871, 000	4, 516, 483, 733	対予算現額	99.9
目 的	障害者総合支援法に基づき、障がい者が自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう障がい福祉サービスに係る給付を行い、障がい者福祉の増進を図るもの。							
事業内容及び実績	障害福祉サービス事業別実績							
	事 業 名	R7人員	R7実績（円）	R6人員	R6実績（円）	前年度比実績（％）		
	居宅介護	115	88, 943, 005	122	81, 955, 593	108. 5		
	重度訪問介護	3	42, 921, 966	4	78, 189, 959	54. 9		
	行動援護	5	2, 210, 649	4	1, 346, 200	164. 2		
	同行援護	12	4, 678, 631	13	4, 509, 772	103. 7		
	生活介護	321	818, 589, 066	318	777, 509, 659	105. 3		
	療養介護	52	188, 742, 660	50	182, 467, 747	103. 4		
	短期入所	64	68, 224, 206	56	65, 155, 277	104. 7		
	施設入所支援	194	360, 811, 686	194	349, 600, 528	103. 2		
	計画相談支援	275	65, 754, 115	241	56, 929, 720	115. 5		
	共同生活援助	232	461, 586, 299	222	419, 504, 274	110. 0		
	宿泊型自立訓練	0	0	0	0	-		
	自立生活援助	1	132, 460	1	192, 620	68. 8		
	自立訓練（機能訓練）	1	1, 465, 723	1	148, 883	984. 5		
	自立訓練（生活訓練）	4	8, 528, 600	2	5, 487, 499	155. 4		
	就労移行支援	7	12, 502, 024	5	9, 625, 772	129. 9		
	就労継続支援（A型）	163	357, 623, 827	135	271, 362, 440	131. 8		
	就労継続支援（B型）	494	899, 488, 061	469	816, 160, 815	110. 2		
	就労定着支援	1	162, 762	1	604, 035	26. 9		
	地域移行支援	1	748, 490	1	248, 590	301. 1		
	高額障害福祉サービス費	15	1, 258, 439	14	1, 136, 420	110. 7		
	障害児相談支援	183	48, 055, 030	142	38, 496, 000	124. 8		
	児童発達支援	238	294, 341, 575	215	248, 692, 591	118. 4		
	放課後等デイサービス	620	730, 429, 130	557	643, 174, 377	113. 6		
	保育所等訪問支援	34	11, 050, 054	10	3, 053, 385	361. 9		
	療養介護医療費	50	42, 255, 805	48	40, 583, 665	104. 1		
	やむを得ない措置費 （放課後等デイサービス等）	4	5, 979, 470	4	5, 624, 060	106. 3		
	合 計	3, 089	4, 516, 483, 733	2, 829	4, 101, 759, 881	110. 1		
成果等 及び 達成度	障がい者（児）の支援、更生や訓練等の障害福祉サービス費等を給付し、心身機能の維持・障がいの軽減を図ることにより、自立した生活や社会参加の促進につなげた。障がい福祉サービスを利用するための環境整備が進んだことで、利用者がニーズに応じたサービスを選択できる体制が整ってきており、前年度比10.1％の事業費増となった。また、第3次唐津市総合計画前期基本計画に掲げる、障がいのある人が就労支援事業所等から一般就労へ移行した数は、令和7年度目標値30人に対し実績14人となり、目標を下回った。							

事業名	障がい児支援施設応援補助金						執行率（％）	
予算額 （円）	当初予算額	6月補正予算額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対6月補正後 予算額	100.4
	0	3,800,000		15,288	3,815,288	3,815,288	対予算現額	100.0
目 的	障がい児の健やかな育成を支援するため、市内の障がい児支援施設の備品購入に対し補助するもの。							
事業内容及び実績	実施内容 療育を目的とした備品の購入に対し、10万円を限度として補助（補助率 10/10）							
	実 績	施設種別			件数	金額		
		児童発達支援			7件	679,450円		
		児童発達支援（重心）			5件	490,917円		
		放課後等デイサービス			20件	1,959,696円		
		放課後等デイサービス（重心）			5件	497,187円		
		児童発達支援（センター）			1件	92,800円		
		医療型障害児入所施設			1件	95,238円		
		合 計			39件	3,815,288円		
成果等 及び 達成度	市内の障がい児支援施設が、療育に必要な備品を購入する際の費用の一部に充ててもらうため、10万円を限度として、39施設に対し補助金を交付した。こどもの特性に応じた環境の整備、事業所の費用負担の軽減及び障がい児福祉の向上につなげる支援を行うことができた。							

事業名	はり、きゅう等施術費助成事業費						執行率（％）	
予算額 （円）	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	58.9
	28,324,000	0	△ 4,000,000	0	24,324,000	16,691,490	対予算現額	68.6
目 的	はり、きゅう及びマッサージ施術費の一部を助成することにより、市民の福祉の増進及び健康の保持増進を図るもの。							
事業内容 及び実績	対象者	20歳以上の人で、市県民税課税所得額が145万円未満の人						
	実施内容	対象者1人につき、年度内60回を限度に施術費2,000円以上の施術1回当たり1,000円を助成 （令和7年度から助成額を900円/回から1,000円/回に引き上げ）						
	助成額実績	交付申請者数	交付枚数	使用枚数	実績額			
		1,956	93,595	16,366	16,366,000			
	事務費	325,490円						
成果等 及び 達成度	はり、きゅう及びマッサージ施術費の助成額を引き上げたことにより、より受療しやすい環境を整え、市民の健康増進に寄与した。特に、高齢者に対しては、施術により腰痛等の慢性的な痛みを緩和することで、運動機能が維持され、介護予防につなげることができた。							

事業名	運転免許証自主返納者支援事業費						執行率（％）	
予算額 （円）	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	89.1
	9,838,000	0	0	0	9,838,000	8,764,120	対予算現額	89.1
目 的	高齢者の交通事故を防止するため、運転免許証の自主返納者に対し、返納後の日常生活を支援することで運転免許証の自主的な返納を促すもの。							
事業内容及び実績	対象者	運転免許証を自主的に返納した65歳以上の高齢者						
	実施内容	タクシー利用券（3割引）又は交通系ICカード（9,500円分）の交付 運転経歴証明書発行手数料（1,150円又は1,100円）の助成						
	実績			タクシー利用券	交通系ICカード			
	申請者数			795 人	370 人			
	うち新規申請者数			209 人	146 人			
	利用枚数（回数）			8,238 枚	6,736 回			
	助成金額（利用金額）			4,189,070 円	3,700,000 円			
		運転経歴証明書発行手数料助成人数 353人						
	参考	市内運転免許証返納者数 令和7年度 488人（令和6年度 566人）						
	成果等及び達成度	令和7年度の市内における高齢者の運転免許証返納者数は、488人で前年度よりも78人減少した。県内全体においても減少傾向であるが、本事業の広報を一層強化するとともに、支援制度の有効性を改めて周知することで、免許返納を促し、高齢者の交通事故防止に努めたい。						

事業名	介護職員等応援事業費						執行率（％）	
予算額 （円）	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	65.0
	10,000,000	0	0	0	10,000,000	6,500,000	対予算現額	65.0
目 的	新たに介護サービス事業所等に就職する者又は復職する者に対し就職支援金を交付することで、介護人材の不足を解消し、安定した介護サービスの提供を確保するもの。							
事業内容及び実績	対象者	市内介護サービス事業所などに介護職員等として新規就職する者又は復職（介護サービス事業所等を離職し2年以上経過）する者						
	実施内容	就職支援金の交付 常勤 15万円（有資格者は5万円加算） 非常勤 10万円						
	実績	交付件数 38件（常勤有資格者18件、常勤無資格者18件、非常勤2件）						
成果等及び達成度	介護職員等就職支援金を交付することで38人（新卒者1人、他職種からの転職者25人、市外施設からの転職者2人、外国人10人）の介護人材を確保することができた。また、交付者のうち18人が介護に関する資格を有しており、有資格者の確保により、質の高い介護サービスの提供が期待される。							

事業名	ひれふりランド長寿命化改修事業費						執行率 (%)	
予算額 (円)	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	97.4
	20,089,000	0	0	△ 531,000	19,558,000	19,558,000	対予算現額	100.0
目 的	建築後30年が経過したひれふりランドの長寿命化改修工事を行うもの。							
事業内容及び実績	実施設計業務 15,378,000円 外構工事設計業務 4,180,000円							
成果等及び達成度	実施設計業務を行うことで、令和8年度から9年度にかけて行う長寿命化改修工事に向けて事業の進捗を図ることができた。							

事業名	子ども・子育て支援事業費						執行率（％）	
予算額 （円）	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	99.7
	37,382,000	0	0	0	37,382,000	37,278,300	対予算現額	99.7
目 的	唐津市子育て支援センターにおいて、子育てに関する情報提供や専門員による相談・援助、緊急時のこどもの預かりなどを包括的に実施し、安心して子育てができるサポート環境を整え、子育て家庭への支援機能強化を図るもの。							
事業内容及び実績	子育て利用者支援事業		子育て支援に関する情報提供や相談対応、関係機関との連絡調整		7,716,000円	相談件数 2,272 件 前年度比 576 件増		
	地域子育て支援拠点事業		親子交流の場の開設及び子育てについての相談、援助、情報提供		12,348,000円	利用者数 8,760 人 前年度比 1,759 人増		
	病後児保育事業		病気回復期の児童の保育		7,742,000円	利用者数 141 人 前年度比 33 人増		
	子育て緊急サポートセンター事業		会員同士の託児や送迎の相互援助活動		8,860,000円	利用者数 1,308 人		
	子育てサポート事業		子育て緊急サポートセンター事業のサポーターへの支援		612,300円	前年度比 148 人増		
成果等及び達成度	各種事業を実施し、子育て中の保護者が抱える不安を取り除き、安心して子育てができる環境づくりに寄与した。 また、地域子育て支援拠点事業では、開所日を週3日から5日へ拡充し、多様な交流の場を提供したことで、利用者数が前年度比約25%増加し、こどもの健やかな育ちを支える体制を強化することができた。							

事業名	保育所等整備事業補助金						執行率（％）																																				
予算額 （円）	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	96.0																																			
	178,201,000	0	0	0	178,201,000	171,078,000	対予算現額	96.0																																			
目 的	老朽化した保育施設の改築等に対し補助することで、園児の安全性確保及び保育環境の改善を図るもの。																																										
事業内容及び実績	<table><tr><td>施設名</td><td>整備区分</td><td>整備内容</td><td>総事業費</td><td>補助金</td></tr><tr><td>かがみおひさまこども園</td><td>創設</td><td>認定こども園を開設するため既存建物を改修</td><td>21,418,320</td><td>15,078,000</td></tr><tr><td>かがみこども園</td><td>大規模修繕</td><td>老朽化に伴う園舎全体の改修</td><td>123,310,000</td><td>74,281,000</td></tr><tr><td>昭和幼稚園・なかよし保育園</td><td>大規模修繕</td><td>老朽化に伴う保育室・遊戯室の床の改修等</td><td>81,372,500</td><td>60,571,000</td></tr><tr><td>親和保育園</td><td>大規模修繕</td><td>屋根、外壁の改修等</td><td>12,100,000</td><td>8,865,000</td></tr><tr><td>平原保育園</td><td>災害復旧</td><td>令和5年7月豪雨により被災した保育施設の移転に伴う旧園舎の解体</td><td>14,740,000</td><td>12,283,000</td></tr><tr><td colspan="3">合 計</td><td>252,940,820</td><td>171,078,000</td></tr></table>								施設名	整備区分	整備内容	総事業費	補助金	かがみおひさまこども園	創設	認定こども園を開設するため既存建物を改修	21,418,320	15,078,000	かがみこども園	大規模修繕	老朽化に伴う園舎全体の改修	123,310,000	74,281,000	昭和幼稚園・なかよし保育園	大規模修繕	老朽化に伴う保育室・遊戯室の床の改修等	81,372,500	60,571,000	親和保育園	大規模修繕	屋根、外壁の改修等	12,100,000	8,865,000	平原保育園	災害復旧	令和5年7月豪雨により被災した保育施設の移転に伴う旧園舎の解体	14,740,000	12,283,000	合 計			252,940,820	171,078,000
	施設名	整備区分	整備内容	総事業費	補助金																																						
	かがみおひさまこども園	創設	認定こども園を開設するため既存建物を改修	21,418,320	15,078,000																																						
	かがみこども園	大規模修繕	老朽化に伴う園舎全体の改修	123,310,000	74,281,000																																						
	昭和幼稚園・なかよし保育園	大規模修繕	老朽化に伴う保育室・遊戯室の床の改修等	81,372,500	60,571,000																																						
	親和保育園	大規模修繕	屋根、外壁の改修等	12,100,000	8,865,000																																						
	平原保育園	災害復旧	令和5年7月豪雨により被災した保育施設の移転に伴う旧園舎の解体	14,740,000	12,283,000																																						
	合 計			252,940,820	171,078,000																																						
※就学前教育・保育施設整備事業交付金（整備区分 創設 国2/3 市1/12 事業者1/4）																																											
（整備区分 大規模修繕 国1/2 市1/4 事業者1/4）																																											
※平原保育園旧園舎解体に対する補助（市単独事業）（市5/6 事業者1/6）																																											
成果等 及び 達成度	大規模修繕工事等を行った保育所等に対し整備費用の一部を補助することで、こどもを安心して育てることができる環境づくりに寄与した。 このほか、令和5年7月豪雨により被災した平原保育園旧園舎の解体費を補助することで、園の負担を軽減するとともに、安全かつ充実した施設として環境整備を行い、保育事業を継続することに寄与した。																																										

事業名	保育業務支援システム等導入補助金						執行率 (%)	
予算額 (円)	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	57.7
	5,135,000	0	△ 1,877,000	0	3,258,000	2,965,000	対予算現額	91.0
目 的	保育士の業務負担軽減を図り、保育士等が働きやすい環境を整備するもの。							
事業内容及び実績	業務のICT化等を行うためのシステム導入 825,000円 (1施設) (保育に関する計画・記録、園児の登降園管理、保護者との連絡及びキャッシュレス決済に関する機能) 睡眠中の事故防止対策機器購入 110,000円 (1施設) 保育室内の記録用カメラ導入 2,030,000円 (2施設)							
成果等及び達成度	保育業務支援システム等を導入する施設を支援することで、保育士の業務負担を軽減することができた。 しかしながら、システム等を導入したいと考えていたが、長期的経費や現場で働く保育士の理解を得ることができないなどの理由で導入に至らなかった施設があった。							

事業名	子どもの医療費助成費						執行率 (%)	
予算額 (円)	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	95.5
	479,367,000	0	0	0	479,367,000	457,589,131	対予算現額	95.5
目 的	子育て世帯の経済的負担軽減、こどもの保健の向上と福祉の増進を図るため、医療費を助成するもの。							
事業内容及び実績	対象者 18歳年度末までのこども [対象者数 (R7年度末) 18,158人] 助成の範囲 入院 1診療明細当たり上限1,000円を控除した額 入院外 1診療明細当たり上限500円×2回受診までの負担額を控除した額 ※0歳から就学前までの調剤費は全額助成 助成件数 236,327件 (入院 1,304件、通院 234,984件、未熟児医療等 39件) 扶助費 444,725,442円 (入院 59,968,632円 通院 383,883,780円 未熟児医療等 873,030円) 審査支払手数料 12,863,689円							
成果等及び達成度	18歳年度末 (高校生年代) までのこどもを対象に、医療費の一部を助成することにより、子育て世帯の経済的負担を軽減し、安心してこどもを産み育てることができる環境を整備した。 扶助費、審査支払手数料を合わせた助成額は、令和6年度の対象者が4月から6月までは拡充前の中学生までだったこともあり、前年度比約2.8%の増加となった。							

事業名	放課後児童健全育成事業等対策費						執行率（％）	
予算額 （円）	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	96.0
	714,761,000	0	△ 18,681,000	0	696,080,000	685,937,869	対予算現額	98.5
目 的	保護者が労働等により昼間家庭にいない小学生に対し、適切な遊び及び生活の場を提供し、児童の健全育成を図るとともに、保護者への子育て支援を行うもの。							
事業内容 及び実績	公設民営 631,622,869円							
	事業委託先 社会福祉法人唐津市社会福祉協議会							
	実施校区 24校区（48クラブ）							
	開所日 月曜日から土曜日まで（国民の祝日、お盆、年末年始を除く）							
	開所時間 学校の授業がある日 授業終了後から午後7時まで							
	学校の授業がない日 午前7時30分から午後7時まで							
	入所要件 保護者が労働等により昼間家庭にいない小学生							
	保護者負担金							
	児童1人当たり 月額4,000円（8月のみ月額5,000円）							
	令和7年度放課後児童クラブ登録児童数 1,791人（年間平均）							
	厳木放課後児童クラブ専用施設賃貸借契約（令和6年3月から令和11年3月まで）							
	令和7年度分支出 11,616,000円							
	民設民営 54,315,000円							
	補助対象者 一般社団法人キラキラヒカル、一般社団法人かがみこどもプラザ							
株式会社地球のこども舎、特定非営利活動法人博心館								
事業内容 民設民営の放課後児童クラブに対し、補助を行うもの								
（運営費補助）（単位 円）								
		総事業費	市補助金	補助金内訳			事業主	
				国	県	市		
キラキラヒカル（長松、鏡山）		26,285,442	20,851,000	6,950,000	6,950,000	6,951,000	5,434,442	
かがみこどもプラザ（鏡山）		11,249,845	10,126,000	3,375,000	3,375,000	3,376,000	1,123,845	
地球のこども舎（浜崎）		16,536,030	10,786,000	3,595,000	3,595,000	3,596,000	5,750,030	
博心館（大志、長松、外町、成和）		17,965,167	12,552,000	4,184,000	4,184,000	4,184,000	5,413,167	
成果等 及び 達成度	児童の健全育成を図り、保護者への子育て支援を行うことができた。							
	公設民営施設の運営に加え、民設民営施設の運営を支援することができた。							
	R7.5.1時点の待機児童数は、鏡山校区 41人（R6 34人、前年度比20.6％増）、浜崎校区 37人（R6 14人、前年度比164.3％増）、成和校区 1人（R6 13人、前年度比92.3％減）合計79人であったが、R8.3.1時点の待機児童数は、26人（長松校区 2人、浜崎校区 24人）に減少した。							

事業名	離島保育所運営事業補助金						執行率（％）	
予算額 （円）	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	55.2
	26,756,000	0	0	0	26,756,000	14,777,734	対予算現額	55.2
目 的	離島における保育事業の円滑化及び適正化を図るため、運営費の一部を補助するもの。							
事業内容 及び実績	対象施設 馬渡島保育園（馬渡島） 馬渡島保育園運営事業 11,169,350円							
	小川島保育園（小川島） 小川島保育園運営事業 3,608,384円							
	施設名	4歳児以上	3歳児	1～2歳児	0歳児	計		
	馬渡島保育園	0人	2人	0人	0人	2人		
	小川島保育園	3人	1人	0人	0人	4人		
	※入所児童数（令和7年4月時点）							
成果等 及び 達成度	地域型保育給付費以外に市から運営に係る補助を行うことにより、離島の保育事業を維持することができた。							

事業名	保育士応援事業費						執行率 (%)	
予算額 (円)	当初予算額	3月補正予算額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対3月補正後予算額	90.5
	46,146,000	2,403,000	0	0	48,549,000	43,953,000	対予算現額	90.5
目 的	保育所等における保育士不足の解消を図るため、業務負担及び費用負担の軽減並びに復職の不安解消などにより保育士等を支援し、保育人材のさらなる確保を目指すもの。							
事業内容及び実績	保育士宿舍借上げ支援 1,126,000円 (3人) 保育支援者雇用支援 8,916,000円 (11人) 保育補助者雇用支援 30,511,000円 (22人) 保育士就職準備金給付支援 (常勤) 3,400,000円 (17人)							
成果等及び達成度	令和7年度は保育所等全体で保育士82人の求人があり、61人の採用となった。 保育士の負担軽減を図るため、保育士をサポートする保育支援者・補助者を活用する施設が増えた。 R6 支援者14人 (7施設) 補助者17人 (10施設)、R7 支援者11人 (7施設) 補助者22人 (11施設) 新規保育人材の確保を図るため、就職準備金を活用して採用した常勤の人数は減少したが、施設全体の採用人数は増加した。 R5 25人、R6 24人、R7 17人 (就職準備金を活用した人数) R5 45人、R6 59人、R7 61人 (施設全体の採用人数) 国定義の待機児童ゼロを維持し、潜在的待機児童は前年度比約19%減 (R6 93人、R7 75人) となった。							

事業名	からつの赤ちゃん応援事業費						執行率 (%)	
予算額 (円)	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	100.0
	8,499,000	0	0	0	8,499,000	8,496,092	対予算現額	100.0
目 的	これからの未来を担うこどもたちの誕生のお祝いと健やかな成長を応援するため、「からつつ子応援ギフト」を贈るとともに、本市の子育て支援事業に関する周知を図るもの。							
事業内容 及び実績	対象者 令和7年4月1日以降に生まれ、出生届または転入届により本市の住民基本台帳に登録された乳児及び保護者 実施内容 唐津市子育て支援センターまたは2か月児相談会場での「からつつ子応援ギフト」の配付及び配付時における保護者との面談 ギフト内容 トートバッグ、リュックサック、スタイ、おしりふき、子どもノート、液体ミルク等 配付数 675人 事業費内訳 委託料（ギフト作製及び配付、面談等） 8,283,568円 誕生お祝いカード作成費等 35,368円、液体ミルク購入費 177,156円							
成果等 及び 達成度	当該ギフトの配付を契機に子育て支援事業について情報提供を行い、適切な支援につないだ。配付率は事業開始年度（R3）に約88%であったが、次年度以降は90%以上を維持している。（R7 約97%） また、本市の子育て支援の周知及び支援事業の活用に向けて「相談しやすい」環境づくりに努めた結果、子育て支援センターにおける利用者支援事業の相談件数は、前年度比約34%の増加となった。（R7 2,272件）							

事業名	こどもの居場所等支援コーディネート事業費						執行率 (%)	
予算額 (円)	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	99.8
	4,072,000	0	0	0	4,072,000	4,065,600	対予算現額	99.8
目 的	こどもを地域で育てる地域支援体制の確立に向け、こどもの居場所等の持続的運営を図るため、こどもの居場所等を支援するコーディネート事業を実施するもの。							
事業内容 及び実績	対象者 こどもの居場所等を運営する団体又は個人 実施内容 こどもの居場所等と支援者とのマッチング、各種相談支援 支援実績 支援とのマッチング 273件、相談支援 延べ283件 事業費 委託料（こどもの居場所等支援コーディネート事業） 4,065,600円							
成果等 及び 達成度	こどもの居場所等の持続的運営を図るため、コーディネーターを配置し、物資等の支援者とのマッチングやアウトリーチでの相談支援を行った。（支援とのマッチング R6 155件、R7 273件／相談支援 R6 延べ173件、R7 延べ283件） 今後は、こどもの居場所等のより安定した運営を目指すべく、SNS等を活用した情報発信によって居場所等の普及啓発を強化し、地域の関心を高めることで、新たな支援者や活動の担い手の確保を図る。							

事業名	妊婦支援給付事業費						執行率 (%)	
予算額 (円)	当初予算額	12月補正予算額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対12月補正後 予算額	99.2
	66,934,000	9,300,000	0	0	76,234,000	75,609,495	対予算現額	99.2
目 的	妊婦のための支援給付を行うことで、妊婦や子育て家庭の経済的・精神的負担を軽減し、安心して出産・子育てができる環境を整備するもの。							
事業内容及び実績	給付金 妊婦支援給付金(1回目) 5万円 × 712人(給付認定申請し認定された妊婦) 35,600,000円 妊婦支援給付金(2回目) 5万円 × 683人(妊娠した胎児の数) 34,150,000円 ※妊婦支援給付金については流産、死産等も支給対象に含む 子育て応援給付金 5万円 × 109人(旧制度支給対象者) 5,450,000円 ※旧制度支給対象者 令和7年3月末までに出生し、面談及び給付申請した児童の養育者 事務費ほか 409,495円 【参考】 伴走型相談支援 給付金申請時の面談で状況確認を行い、必要な場合は相談支援へつなげる。 ① 妊娠届出(母子健康手帳交付)時の面談者数 592人 ② 2か月児相談時等の面談者数 683人							
成果等 及び 達成度	妊婦支援給付金等の支給により妊婦等の経済的負担軽減を図った。また、給付金申請時の面談を通じて、妊婦との接点を確保し、支援ニーズの把握や必要なサービスへつなぎ、妊娠期からの切れ目ない支援体制の推進に寄与した。							

事業名	物価高対応子育て応援手当支給事業費						執行率 (%)	
	〃 支給事務費						対12月補正後 予算額	97.8
	会計年度任用職員給与費 (物価高対応子育て応援手当分)						対予算現額	97.8
予算額 (円)	当初予算額	12月補正予算額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対12月補正後 予算額	55.3
	0	370,000,000	0	0	370,000,000	361,960,000	対予算現額	55.3
	0	8,787,000	0	0	8,787,000	4,859,994	対12月補正後 予算額	90.0
	0	1,216,000	0	0	1,216,000	1,094,007	対予算現額	90.0
目 的	物価高の影響が長期化する中、その影響を強く受けている子育て世帯に対し、物価高対応子育て応援手当を支給するもの。							
事業内容及び実績	対象者及び支給額 令和7年9月30日時点で唐津市に住所を有し、児童手当の受給資格がある者 (令和8年3月31日までに生まれた児童を含む。) 児童1人当たり20,000円 支給実績 支給児童 18,098人 支給額 361,960,000円 支給事務費内訳 郵便料・振込手数料 1,975,201円、システム改修 1,848,000円 消耗品ほか 1,036,793円 会計年度任用職員給与費 1,094,007円							
成果等 及び 達成度	物価高の影響を強く受ける子育て世帯の生活支援を行うことができた。当初想定人数に対し、97.8%にあたる18,098人への支給を3月末までに完了し、多くの対象世帯に対して、迅速な支援を行った。令和8年3月末までに生まれた児童を支給対象としているため、支給事業費8,040,000円、支給事務費3,925,000円、会計年度任用職員給与費121,000円を令和8年度に繰り越した。							

事業名	教育・保育施設給付費						執行率（％）	
予算額 （円）	当初予算額	3月補正予算額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対3月補正後 予算額	96.6
	5,682,867,000	150,081,000	0	0	5,832,948,000	5,635,815,419	対予算現額	96.6
目 的	市内に居住する児童が保育所等を利用した際に、保育所等に対して国が定める公定価格に基づき給付するもの。							
事業内容 及び実績	施設数、児童数及び給付額				※児童数は年間延べ人数			
	施設の類型	施 設 数	児 童 数	給 付 額				
	保育所	42施設	26,541人	3,353,367,870円				
	認定こども園	28施設	19,473人	2,097,224,806円				
	幼稚園	1施設	1,252人	87,643,493円				
	地域型保育事業	8施設	468人	97,579,250円	※利用児童数 3,858人			
	合 計	79施設	47,734人	5,635,815,419円	(R7.4.1現在)			
成果等 及び 達成度	保育所等の運営費用（人件費、管理費及び事業費等）として給付したことにより、安心して子育てができる環境を整備することができた。また、市独自の保育料軽減策として、国基準より低い料金設定（差額65,792,860円）、多子世帯の軽減範囲の拡充（差額94,954,950円、対象児童数延べ3,669人）を実施し、子育て世帯の負担を軽減できた。							

事業名	子育てのための施設等利用給付事業費						執行率（％）	
予算額 （円）	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	87.7
	7,232,000	0	0	0	7,232,000	6,345,220	対予算現額	87.7
目 的	令和元年10月から開始された「幼児教育・保育無償化」に伴い、申請に基づき保育の必要性があると認定を受けたこどもに対し、幼稚園の預かり保育などのサービスを利用した際にかかる利用料を無料（限度額あり）にすることで、子育て世帯の経済的負担軽減を図るもの。							
事業内容 及び実績	給付認定こども 134人（令和8年3月31日）							
	※児童数は年間延べ人数							
	事業内容		施設数	児童数	給付額			
	認可外保育施設		3施設	20人	704,000円			
	預かり保育事業		9施設	1,395人	5,595,970円			
	一時預かり事業		3施設	5人	34,000円			
	子育て援助支援活動事業		1施設	14人	11,250円			
	合 計		16施設	1,434人	6,345,220円			
成果等 及び 達成度	各種保育サービス利用料の無償化により、こどもの健やかな成長を支援し、子育て世帯の経済的負担を軽減し、安心して子育てができる環境づくりに寄与した。							

事業名	特別保育事業費						執行率 (%)	
予算額 (円)	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	89.1
	268,089,000	0	0	0	268,089,000	238,767,820	対予算現額	89.1
目 的	少子化、核家族化の進行に対応し、就労と育児の両立支援を総合的に推進するため、地域の多様な保育ニーズに柔軟に応える特別保育事業を実施し、児童福祉の増進を図るもの。							
事業内容及び実績	実施施設数及び実績額 前年度比 延長保育事業（唐房保育園ほか29施設） 27,059,518円 (+4,879,691円) 一時預かり事業（町田保育園ほか14施設） 35,171,720円 (+9,471,126円) 地域子育て支援拠点事業（町田保育園ほか15施設） 102,249,806円 (△25,894,023円) 病児保育事業（北波多第二保育園ほか3施設） 16,801,807円 (△111,571円) 特別支援保育事業（和多田保育園ほか24施設） 52,194,969円 (+6,424,139円) 医療的ケア児保育支援事業（くりのみ保育園） 5,290,000円 (0円)							
成果等及び達成度	延長保育、一時預かり、病児保育等を実施する施設を支援し、保護者の就労形態や家庭状況、こどもの心身の状況等に応じた多様な保育ニーズに対応することで、子育て世帯の経済的及び精神的負担の軽減に寄与した。 また、医療的ケア児の受入れに必要な看護師等の配置を支援することにより、令和6年度から受け入れている医療的ケア児1人について、令和7年度も継続して保育を提供することができた。							

事業名	こども誰でも通園支援事業費						執行率 (%)	
予算額 (円)	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	21.1
	5,100,000	0	0	0	5,100,000	1,075,870	対予算現額	21.1
目 的	全てのこどもの育ちを応援し、こどもの良質な成育環境を整備するとともに、全ての子育て家庭に対して多様な働き方やライフスタイルに関わらない形での支援を強化するため、月一定時間までの利用可能枠の中で、就労要件を問わず時間単位で利用できる「こども誰でも通園制度」を実施するもの。							
事業内容及び実績	実施施設数 私立保育所等 10施設（うち、R7.4月開始 5施設、R7.7月開始 5施設） ※公立保育所 2施設については、公立保育所運営費において実施 利用決定こども数 19人（0歳6か月～満3歳未満のこどもが対象） 利用した総時間数 1,046時間							
成果等及び達成度	本事業の実施により、全ての子育て家庭に対する支援が可能となり、子育ての孤立化を未然に防ぐ機能を果たした。また、保育所等に在籍していないこどもの成長にも寄与し、親がこどもに対する新たな発見をするなど、幅広い効果が得られた。							

事業名	保育所等物価高騰対策支援金						執行率 (%)	
予算額 (円)	当初予算額	6月補正予算額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対6月補正後 予算額	51.0
	0	84,304,000	△ 32,309,000	0	51,995,000	43,005,000	対予算現額	82.7
目 的	物価高騰の影響を受ける保育所等の給食の食材費を補助することにより、子育て世代の負担軽減及び給食の質や量を維持するもの。							
事業内容及び実績	保育所等給食費支援事業補助金 43,005,000円 (41施設)							
成果等及び達成度	保護者及び保育所等の負担を軽減し、給食の質や量を維持することができた。 交付施設 41施設 (児童数3,377人)							

事業名	扶助費						執行率（％）	
予算額 （円）	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	86.6
	2, 203, 528, 000	0	0	0	2, 203, 528, 000	1, 909, 145, 882	対予算現額	86.6
目 的	生活保護法に基づき、生活に困窮する全ての国民に対し、その困窮の程度に応じて必要な保護を行い、最低限度の生活を保障するとともに、自立の助長を図るもの。							
事業内容及び実績	扶助費の支出状況（世帯、人員は年間延べ数）							
	区 分	世 帯	人 員	金 額				
	生活扶助費	10, 786世帯	12, 230人	425, 469, 973円				
	住宅扶助費	9, 189世帯	10, 297人	238, 921, 630円				
	教育扶助費	144世帯	223人	2, 390, 246円				
	介護扶助費	3, 466世帯	3, 525人	61, 036, 494円				
	医療扶助費	11, 042世帯	12, 183人	1, 155, 380, 230円				
	出産扶助費	0世帯	0人	0円				
	生業扶助費	83世帯	86人	1, 705, 277円				
	葬祭扶助費	13世帯	13人	2, 356, 946円				
	保護施設事務費	103世帯	103人	21, 521, 750円				
	就労自立給付金	6世帯	6人	263, 336円				
	進学・就職準備給付金	1世帯	1人	100, 000円				
	合 計	34, 833世帯	38, 667人	1, 909, 145, 882円				
	前年度比	△1, 969世帯	△2, 750人	△114, 696, 122円				
成果等 及び 達成度	生活保護法に基づき適正に保護を実施し、あわせて、ハローワーク等の関係機関との連携を図り、就労による収入増や、障害年金等の社会資源の活用により、自立の助長を図った。							

4 衛 生 費

(1) 保健衛生費

市民の健康の保持増進のため、保健予防対策事業として、健康づくり推進事業、健康増進事業、健康診査、各種がん検診事業、精神保健事業等を実施した。さらに、健康教育、健康相談、要指導者等の訪問指導を積極的に行い、医療費適正化に向けた重症化予防に努めた。

母子保健事業として、妊婦に対しては、妊婦健康診査受診票の交付による健診や健康相談を実施し、妊婦の健康管理を図った。

産婦に対しては、産婦健康診査受診票の交付を新たに行い、産婦の健康保持・増進及び異常の早期発見・治療を図った。また、産後ケア事業では、市内産婦人科医院におけるケアに加え、助産師等による訪問型ケアを実施し、出産後の孤立化を防ぎ、産後の身体的・心理的不安の緩和につなげた。

乳幼児に対しては、医療機関での個別健診や集団健診、相談事業を行い、子育て支援、発達支援に努めた。また、育児支援が特に必要な家庭に対して、保健師等が居宅を訪問し、継続的に指導、助言等を行った。

そのほか、むし歯予防のための強化策として、幼児に対するフッ化物塗布やフッ化物洗口等を行うとともに、妊婦へ妊婦歯科健診受診票を交付し、妊娠期の歯科保健の向上を図った。

がん患者の社会生活への支援や経済的負担の軽減を図るため、医療用ウィッグと乳房補正具を購入した者に対し、助成金を交付した。また、不妊治療が保険適用外となる年齢で、妊娠を希望する夫婦に対し、経済的負担を軽減して治療を受けやすくするための助成を行った。

予防接種費では、県内広域での接種体制により、市民の利便性の向上を図り、疾病の発症予防及びまん延防止のため予防接種事業を推進した。子宮頸がんワクチン（HPVワクチン）については、キャッチアップ接種経過措置最終年にあたり、対象者への個別勧奨通知の再送や市民公開講座の開催を通じて接種の重要性の周知を行った。また、高齢者に対する带状疱疹予防接種の定期接種化に伴い、50歳から64歳までの者を対象とする任意接種費用の助成と併せて実施し、発症及び重症化の予防を図った。

地域医療対策については、唐津休日急患センターと唐津休日歯科診療所の運営により、北部保健医療圏における休日等の一次救急医療の確保に寄与した。

また、離島診療所の管理運営を行うとともに、島民が本土の医療機関へ通院する際に要する船賃助成の対象診療科目を拡充し、疾病の早期発見及び早期治療並びに健康増進に寄与した。

環境衛生対策として、快適な環境づくりのため啓発活動による環境衛生思想の普及に努めるとともに、環境保全の推進を図った。また、犬による人畜等への被害防止のため、狂犬病予防の集合注射を実施するとともに、飼い犬の苦情処理、指導啓発を行ったほか、飼い主のいない猫への不妊去勢手術に対し補助を実施することにより、繁殖を抑制し、糞尿や鳴き声による影響を軽減させ、地域の良好な生活環境に寄与した。

脱炭素社会の実現に向けては、市民が太陽光発電システム、蓄電池、電気自動車及び電動生ごみ処理機などを購入する費用に対する補助や、団体などが行う先進的な取組みの活動費に対する補助を実施したほか、ブルーカーボンクレジットの創出に向け、行動計画案の策定を行った。

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、物価高騰の影響を受けている家庭等の負担軽減を図るため、飲用井戸水利用者支援補助、簡易水道等支援補助及びし尿汲み取り等手数料補助を実施した。

空き家対策として、市民から情報提供のあった空家等について、所有者等を調査し、空家等の適正管理を促すとともに、空家等の利活用を推進した。また、老朽危険空家等の除却補助金の要件を見直し、除却を促進することで、安全・安心な住環境の保全に寄与した。

火葬場については、太平山斎苑をはじめ、浜玉斎場さくら苑、相知厳木斎場、肥前斎場、呼子町霊葬場の円滑な運営に努めた。また、墓地公園の適正な管理運営を行った。

公害対策としては、自動車騒音の常時監視、河川及び事業所の水質検査、騒音・振動測定、苦情処理等に努めた。

(2) 清掃費

し尿対策としては、唐津中部衛生処理センター、唐津北部衛生処理センター、し尿中継槽等の適正な管理運営を行った。また、肥前町のし尿中継施設更新工事（繰越事業）が完了し、し尿及び浄化槽汚泥の衛生的な処理を行った。

廃棄物対策として、循環型社会の実現を目指し、まちを美しくする運動により資源物回収の推進に努め、ごみの減量・分別に対する啓発と環境美化保全等に努めた。

廃棄物等の不法投棄防止活動の推進については、不法投棄防止活動協力団体等と連携を取りながらパトロールを実施し、快適な環境づくりに努めた。また、ごみ集積所用容器購入費等補助事業を実施することにより、ごみ収集の効率性を高め、廃棄物の適正処理及び鳥獣等によるごみ散乱防止など環境美化に努めた。

指定容器（ごみ袋）については、排出量の低減及び分別の推進を図るとともに、市民への配布及び手数料の収納事務を指定容器取扱店に委託し、市民の利便性の向上を図った。

容器包装リサイクル法により策定した唐津市分別収集計画に基づき、ペットボトル、缶、びん類等の分別収集を実施したほか、民間の業者及び清掃センターで中間処理を行い、再商品化に努めた。

新ごみ処理施設の整備については、施設整備に係る基本的な方針を定める施設整備基本計画や環境影響評価等を継続実施したほか、他施設の情報収集を行うため、先進地視察を実施した。

清掃センターにおいては、安全な運転管理と一般廃棄物の適正処理に努めるとともに、センター内の最終処分場が埋立てできないため、焼却固化灰等を他の最終処分場へ搬出するなど、施設の機能保全に努めた。

最終処分場の適正化については、水質モニタリングによる周辺環境への影響等の把握を行ったほか、令和3年度に定めた最終処分場適正化の基本方針に基づき、最終処分場内浸出水の適正な管理に努めた。

「もったいないセンター」においては、自転車や家具を再生し市民に無償で譲渡することにより、小学生の環境教育及び不用品の有効活用などリサイクル意識の向上に寄与した。

事業名	母子保健事業費						執行率 (%)	
予算額 (円)	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	90.9
	92,470,000	0	0	△ 981,950	91,488,050	84,083,647	対予算現額	91.9
目 的	母子の健康保持及び増進を図るため、健康診査や保健指導を実施するとともに子育て支援を行うもの。							
事業内容 及び実績	健康診査 妊婦一般健診（届出妊娠週数に応じ、受診票を1人当たり最大14枚交付）							延べ7,890人
	産婦一般健診（産後2週間及び1か月で使用する受診票を1人当たり2枚交付）							延べ1,135人
事業内容 及び実績	乳児一般健診（1歳未満の乳児に対し、受診票を1人当たり2枚交付）							延べ1,056人
	1歳6か月児健診（集団健診／受診率98.3%）							654人
事業内容 及び実績	3歳児健診（集団健診／受診率97.4%）							780人
	健康相談 妊産婦・乳幼児相談（延べ内訳 妊産婦2,430人、乳幼児4,828人、その他837人）							延べ8,095人
事業内容 及び実績	発達相談会（支援希望者のみ／延べ内訳 言語聴覚等相談会（幼児）52人、							延べ193人
	発達支援等相談会（幼児）94人、5歳児相談会（年中児）47人）							
事業内容 及び実績	母子電話相談（メール等を含む）							延べ3,018人
	新生児聴覚検査費用助成（市民税非課税世帯対象）							1人
事業内容 及び実績	訪問指導 妊婦等訪問活動（うち、乳児家庭全戸訪問対象者611人、養育支援訪問 延べ45人）							延べ1,645人
	母子保健推進員事業（市内各地域で推進員が母子保健事業活動を行うもの）							48人
成果等 及び 達成度	各種健診や相談事業により、妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援体制を維持し、疾病や発達上の課題の早期発見・支援につなげることができた。3歳児健診受診率は、97.4%と前年度比0.4%の減少となったが、今後もより安心して出産や子育てができる環境づくりの整備を包括的に行っていく必要がある。							

事業名	産後ケア事業費						執行率（％）	
	会計年度任用職員給与費（産後ケア事業分）						対12月補正後 予算額	120.3
予算額 （円）	当初予算額	12月補正予算額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対予算現額	100.0
	3,879,000	949,000	0	981,950	5,809,950	5,809,950	対12月補正後 予算額	99.3
	3,877,000	157,000	0	0	4,034,000	4,005,541	対予算現額	99.3
目 的	出産後の支援を必要とする母子に対し、心身のケアや育児のサポートを提供し、母親の孤立化、産後うつ及び児童虐待の予防を図るもの。							
事業内容及び実績	利用実績、利用料等							
	事業の種類	世帯課税状況等	利用実績		利用料		備 考	
			計 （うち多胎児）	内訳 （うち多胎児）	一般	多胎児加算 （1人につき）		
	宿泊型	市民税課税世帯	198件 （2件）	190件 （2件）	2,500円	1,000円	実施場所 久保田レディースクリニック産婦 人科・麻酔科 たなべクリニック産科婦人科	
		生活保護世帯、 市民税非課税世帯又は母子家庭		8件 （0件）	無料	無料		
	日帰り型	市民税課税世帯	77件 （2件）	76件 （2件）	1,000円	500円		
		生活保護世帯、 市民税非課税世帯又は母子家庭		1件 （0件）	無料	無料		
	訪問型	全世帯	76件	76件	無料		助産師等による訪問指導	
	成果等 及び 達成度	出産や育児で疲れた産婦の心身のケアや育児指導を行ったことで、母子の健康保持や育児不安の軽減につながった。令和6年度の事業開始以降、利用ニーズは非常に高く、宿泊型と日帰り型の初回利用時のアンケートでは、「とても満足」または「満足」と回答した人の割合は99.1%と高かった。						

事業名	健康増進事業費						執行率（％）	
予算額 （円）	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	92.8
	8,384,000	0	0	0	8,384,000	7,780,896	対予算現額	92.8
目 的	健康診査や保健指導により、生活習慣病等の予防対策を行うもの。							
事業内容 及び実績	健(検)診内容、対象者及び実績							
	生活保護者健康診査		生活保護受給者		24人			
	30歳代健康診査		30歳代		395人			
	婦人健康診査		18歳～29歳の女性		98人			
	骨粗しょう症検診		20歳～70歳の5歳刻みの女性		476人			
	肝炎ウイルス検診		過去に受けた履歴のない人		549人			
	健康教育、健康相談、訪問指導の実施回数と保健指導数（40歳～64歳）							
健康教育 78回 432人 訪問指導 延べ290人 健康相談 203回 延べ845人								
成果等 及び 達成度	受診者総数は、1,459人（令和5年度）、1,518人（令和6年度）、1,542人（令和7年度）と増加しているが、30歳代健康診査については前年度から52人減少しており、若い世代への啓発に課題が残る。 健（検）診のほか、面談による健康相談や訪問指導等で保健指導を行い、生活習慣病予防や重症化予防を図った。							

事業名	がん検診事業費						執行率（％）	
予算額 （円）	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	92.0
	124,524,000	0	△ 5,103,000	△ 155,374	119,265,626	114,620,243	対予算現額	96.1
目 的	がんを早期に発見し、早期に治療を行うことにより、がんによる死亡者の減少を図るもの。							
事業内容及び実績	各種がん検診の受診率							
	検診	対象者	受診者数	受診率	目標値			
	胃がん	40歳以上	2,635	17.6%	60.0%			
	肺がん	40歳以上	6,246	21.3%	60.0%			
	大腸がん	40歳以上	6,639	24.0%	60.0%			
	子宮がん	20歳以上女性	6,935	74.6%	60.0%			
	乳がん	40歳以上	3,025	49.9%	60.0%			
	前立腺がん	50歳以上男性	2,646	9.9%	－			
	ピロリ菌	30、39歳	158	7.7%	－			
	成果等及び達成度	がんの集団検診は、保健センターや地区の公民館等において、特定健診と同時に年69回実施し、Webによる予約受付も行うことで受診しやすい体制としたが、子宮がん以外のがんの検診受診率は、目標値（唐津市健康増進計画）に届かなかった。 要精密検査者の未受診者には、再勧奨の通知や電話勧奨を行い医療機関への受診につなげた。 前立腺がん以外のがんの精密検査受診率は平均79.6％で、29人のがんが発見された。						

事業名	がん患者医療用補正具等購入費助成事業費						執行率 (%)	
予算額 (円)	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	114.0
	1,110,000	0	0	155,374	1,265,374	1,265,374	対予算現額	100.0
目 的	がんになっても安心して暮らせる社会の構築に向け、がんの治療に伴う外見の変化に対応する医療用補正具の購入に対し、助成金を交付するもの。							
事業内容及び実績	助成対象者 がんの治療を受けている者または過去に受けていた者 助成額 購入費の2分の1の額（上限30,000円） 助成件数 医療用ウィッグ 44件 助成金額 1,124,753円 乳房補正具 10件 助成金額 140,621円							
成果等及び達成度	医療用補正具の購入助成について、医療機関を通して案内することで、対象者へ確実な周知を行った。 がん治療と就労や社会参加等との両立を支援することができた。							

事業名	不妊治療支援事業費						執行率 (%)	
予算額 (円)	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	58.3
	1,200,000	0	0	0	1,200,000	700,000	対予算現額	58.3
目 的	妊娠を希望する夫婦を支援するため、不妊治療の費用に対して助成金を交付するもの。							
事業内容及び実績	助成対象者 不妊治療の初日における妻の年齢が43歳以上で夫婦のどちらかが唐津市に1年以上住所を有している者 ※不妊治療開始時点で43歳未満の者については、令和4年度から一部保険適用となったため、令和5年度から43歳以上の者を市独自の助成対象としている。 助成上限 初年度200千円 次年度以降100千円 助成件数 5件 妊娠実績 1件（妊娠率20%）							
成果等及び達成度	高額な医療費がかかる不妊治療に助成し、不妊に悩む夫婦の経済的負担を軽減した。 助成を行った者のうち、1件が妊娠につながった。							

事業名	離島診療通院助成事業費補助金						執行率 (%)	
予算額 (円)	当初予算額	6月補正予算額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対6月補正後 予算額	22.7
	740,000	2,839,000	0	0	3,579,000	810,680	対予算現額	22.7
目 的	離島住民の医療の確保及び経済的負担の軽減を図るため、島外の医療機関において診療を受けた場合の離島航路に係る渡航費の一部を助成するもの。							
事業内容及び実績	助成対象者 唐津市の離島に住所を有し、かつ、居住している者 助成額 渡航費の2分の1の額 助成対象診療科目 歯科・耳鼻咽喉科・産婦人科・妊婦健診（令和7年7月まで） ※令和7年8月から助成対象診療科目を全ての診療科目に拡充 助成件数 令和5年度 1,066件 助成額 653,860円 令和6年度 758件 助成額 460,680円 令和7年度 1,449件 助成額 810,680円 うち診療科目拡充による増加分 444件 助成額 216,810円							
成果等及び達成度	令和7年8月から助成対象診療科目を拡充したこともあり助成件数及び助成額ともに増加し、離島住民の早期受診及び病気等の早期発見を促すとともに、経済的負担の軽減に寄与できた。 離島住民の受診実績に基づき助成額を見込んだが、受診から1年間申請できるため低い執行率であった。							

事業名	歯科保健事業費						執行率 (%)	
予算額 (円)	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	85.0
	4,179,000	0	0	0	4,179,000	3,553,253	対予算現額	85.0
目 的	生涯を通じた歯と口腔の健康づくりの推進を目指し、妊婦歯科健診、成人歯科検診、2歳児歯科教室、フッ化物塗布事業、フッ化物洗口事業を行い、歯科保健の向上を図るもの。							
事業内容及び実績	妊婦歯科健診（個別健診 市内の歯科医療機関で実施） 227人（受診率38.3%） 成人歯科検診（集団検診 年9回実施） 177人 同上（個別検診 市内の歯科医療機関で実施） 94人 2歳児歯科教室（集団 年21回実施） 605人（受診率87.8%） フッ化物塗布（1歳6か月児健診及び2歳児歯科教室時に実施） 延べ1,191人 フッ化物洗口（保育園・幼稚園） 41園実施 1,329人 歯科衛生士研修会 年2回実施 延べ34人 【実績】 3歳児健診でむし歯のある者の割合 14.4% 1歳6か月児健診でむし歯のある者の割合 0.3%							
成果等及び達成度	歯科健診や保健指導、フッ化物等による歯科保健事業を行い、口腔健康の保持増進に取り組んだ。一方で、3歳児健診での「むし歯のある者の割合」は14.4%で、前年度の13.6%から0.8%増加しており、今後も歯科教室や啓発活動を通して、幼少期から歯科保健に関する意識づけの強化を行っていく必要がある。							

(款) 衛生費	(項) 保健衛生費	(目) 保健衛生総務費	環境課
(款) 農林水産業費	(項) 農業費	(目) 農業総務費	農地林務課
(款) 農林水産業費	(項) 水産業費	(目) 水産業総務費	水産課
(款) 土木費	(項) 都市計画費	(目) 都市計画総務費	都市計画課

事業名	水道事業会計繰出金（物価高対応分）						執行率（％）	
	下水道事業会計繰出金（物価高対応分）						対12月補正後 予算額	98.6
予算額 （円）	当初予算額	12月補正予算額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対予算現額	98.6
	0	164,485,000	0	0	164,485,000	162,131,474	対12月補正後 予算額	99.3
	0	102,558,000	0	0	102,558,000	101,889,871	対予算現額	99.3
目 的	物価高騰の影響を受けている家庭や事業者の負担軽減を図るため、上下水道料金の減免措置相当額等を水道事業会計及び下水道事業会計に繰り出すもの。							
事業内容及び実績	実施内容 官公庁の施設を除いた市内全ての上下水道使用者の2か月分の基本料金を減免							
	実 績 ≪全 体≫							
	内 訳			件数	金 額			
	令和8年2月検針分			44,468件	128,014,308円			
	令和8年3月検針分			47,384件	135,699,037円			
	システム改修経費分				308,000円			
	合 計			91,852件	264,021,345円			
	≪水道事業会計≫							
	事業区分		件数	金 額	繰出金所管課			
	水道事業		49,332件	162,131,474円	環境課			
	合 計		49,332件	162,131,474円				
	≪下水道事業会計≫							
	事業区分		件数	金 額	繰出金所管課			
	戸別浄化槽整備事業		2,515件	6,139,177円	環境課			
	農業集落排水事業		2,845件	6,971,399円	農地林務課			
	漁業集落排水事業		1,019件	2,402,436円	水産課			
	小規模集合排水処理施設整備事業		6件	14,658円				
	公共下水道事業		31,654件	75,457,818円	都市計画課			
	特定環境保全公共下水道事業		4,481件	10,904,383円				
	合 計		42,520件	101,889,871円				
成果等 及び 達成度	物価高騰により影響を受けている家庭や事業者の負担軽減に寄与した。							

事業名	簡易水道組合等支援補助金						執行率 (%)	
予算額 (円)	当初予算額	12月補正予算額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対12月補正後 予算額	108.4
	0	477,000	0	40,274	517,274	517,274	対予算現額	100.0
目 的	物価高騰の影響を受けている家庭の負担軽減を図るため、水道料金の減免を行う簡易水道組合等に対し補助するもの。							
事業内容及び実績	水道事業における一般家庭の使用割合が最も多い口径13mmの区分で、10m³までの基本料金と同額となる1,623円と簡易水道組合等加入者の月額基本料金相当額とを比較し、少ない方の額の2か月分を補助した。 令和7年度補助実績 補助組合数 16組合 (加入世帯 284戸) 補助金額 517,274円							
成果等及び達成度	組合等に対し、加入世帯が負担する水道料金の基本料金2か月分を補助することで、物価高騰の影響による負担を軽減した。							

事業名	飲用井戸水利用者支援金						執行率 (%)	
	会計年度任用職員給与費 (飲用井戸水利用者支援金分)						対12月補正後 予算額	22.0
予算額 (円)	当初予算額	12月補正予算額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対予算現額	22.1
	0	13,290,000	0	△ 40,274	13,249,726	2,925,474	対12月補正後 予算額	38.9
	0	1,014,000	0	0	1,014,000	394,950	対予算現額	38.9
目 的	物価高騰の影響を受けている家庭や事業者の負担軽減を図るため、飲用井戸水利用世帯等に対し支援金を支給するもの。							
事業内容及び実績	水道事業における一般家庭の使用割合が最も多い口径13mmの区分で、5m³までの基本料金と同額となる1,126円を定額で2か月分補助した。(井戸のみ世帯(水道契約なし)に限る。事業所も可) 対象者 唐津市に住所を有する飲用井戸水利用世帯及び事業者 対象期間 令和7年12月1日から令和8年1月31日までの2か月間 支給件数 798件 補助金額 1,797,096円 その他事務費 1,128,378円 会計年度任用職員給与費 394,950円							
成果等及び達成度	飲用井戸を使用している家庭や事業者に対し支援金を支給することで、物価高騰の影響による負担を軽減した。なお、支援金の申請期限が令和8年6月30日までのため、飲用井戸水利用者支援金10,323,000円、会計年度任用職員給与費619,000円を令和8年度に繰り越した。							

事業名	し尿汲み取り等手数料補助金						執行率（％）	
	会計年度任用職員給与費（し尿汲み取り等手数料補助金分）						対12月補正後 予算額	52.6
予算額 （円）	当初予算額	12月補正予算額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対予算現額	52.6
	0	51, 529, 000	0	0	51, 529, 000	27, 094, 984	対12月補正後 予算額	27.2
	0	1, 014, 000	0	0	1, 014, 000	276, 256	対予算現額	27.2
目 的	物価高騰の影響を受けている家庭や事業所の負担軽減を図るため、汲み取り手数料の最低料金2回分3, 410円を上限として補助を行うもの。							
事業内容 及び実績	対象者 し尿汲み取り手数料の減免を行う事業者 対象期間 令和8年2月から令和8年12月まで 事業費内訳 コールセンター運営委託費 3, 014, 499円 し尿汲み取り家庭等支援補助金 20, 230, 983円 その他事務費 3, 849, 502円 会計年度任用職員給与費 276, 256円							
成果等 及び 達成度	令和8年2月及び3月の2か月分の補助実績額は、20, 230, 983円（延べ7, 311件）で物価高騰の影響を受けている家庭や事業所へ汲み取り手数料を補助することで負担軽減を行うことができた。補助対象期間が令和8年2月から令和8年12月までのため、し尿汲み取り等手数料補助金24, 433, 000円、会計年度任用職員給与費737, 000円を令和8年度に繰り越した。							

事業名	予防接種費						執行率（％）	
予算額 （円）	当初予算額	6月補正予算額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対6月補正後 予算額	89.7
	383, 103, 000	49, 109, 000	0	0	432, 212, 000	387, 646, 570	対予算現額	89.7
目 的	予防接種法等に基づき、感染のおそれがある疾病の発生及びまん延を防止するため予防接種を実施し、公衆衛生の向上に寄与するもの。							
事業内容及び実績	医療機関においての個別接種で実施							
	各種予防接種事業				379, 785, 570円			
	種類		接種者数		麻しん風しん（1歳等）		1, 347人	
	B型肝炎		1, 829人		麻しん風しん（経過措置）		10人	
	ヒブ		54人		麻しん風しん（妊婦等）		87人	
	小児肺炎球菌		2, 408人		日本脳炎		2, 795人	
	二種混合		789人		ロタウイルス（1価）		773人	
	三種混合		10人		ロタウイルス（5価）		632人	
	四種混合		194人		子宮頸がん（HPV）		989人	
	五種混合		2, 446人		高齢者肺炎球菌		415人	
	不活化ポリオ		10人		新型コロナウイルス		2, 564人	
	BCG		569人		インフルエンザ		20, 449人	
	水痘		1, 094人		带状疱疹（65歳以上等）		3, 825人	
	こどものインフルエンザ（任意接種）助成				3, 911, 000円			
	対象者 生後6か月～中学3年生まで							
	助成額 1回1, 000円							
	助成回数 生後6か月～13歳未満 2回まで							
	13歳～15歳 1回のみ							
	接種者数 3, 911人							
	带状疱疹（任意接種）助成				3, 950, 000円			
	対象者 50歳～64歳まで							
	助成額 1回10, 000円							
	助成回数 2回まで							
	接種者数 395人							
	※令和7年度から65歳以上等は定期接種の対象となったため、50歳～64歳を市独自の助成対象とした。							
成果等 及び 達成度	小児の予防接種については、2か月児相談や訪問、幼児健診等の機会を利用し、予防接種の効果や接種方法を説明した。子宮頸がんワクチンについては、キャッチアップ接種の経過措置最終年であったため、再勧奨通知のほか、市民公開講座の開催や講座の映像放映を行った。正しい情報を提供し、接種勧奨を行うことで、感染症まん延防止に寄与した。 麻しん風しんワクチンについては、国の特定感染症予防指針に基づき、第3次総合計画において接種率の目標値を95％と定めているが、接種率は第1期（1歳時接種）86.8％、第2期（就学前1年間接種）87.1％と目標に達することができなかった。							

事業名	地域猫活動支援事業費						執行率（％）	
予算額 （円）	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	99.9
	2,912,000	0	0	0	2,912,000	2,908,099	対予算現額	99.9
目 的	地域猫活動団体が行う飼い主のいない猫に不妊去勢手術を受けさせる取組みを支援することにより、繁殖を抑制し、糞尿や鳴き声による影響を軽減させ、地域の良好な生活環境を確保するもの。							
事業内容及び実績	事業内容 地域猫活動団体が行う飼い主のいない猫の不妊去勢手術に対しての支援 （上限金額 オス10,000円、メス20,000円、捕獲に係るエサ代補助 1匹当たり500円） 補助実績 オス 74匹 668,776円 （令和6年度 92匹 811,375円） メス 156匹 2,239,323円 （令和6年度 147匹 2,029,292円） 合計 230匹 2,908,099円 （令和6年度 239匹 2,840,667円） ※地域猫活動団体数 87団体 （令和6年度末 70団体）							
成果等 及び 達成度	地区からの要望を受けて令和4年度からモデル事業として取組みを開始し、これまで飼い主のいない猫に困っていた地域を中心に地域猫活動の考え方が広まってきたことで活動団体数の増加につながっている。 4年間で87団体が登録され、1,013匹の不妊去勢手術を実施し、繁殖を抑制してきたことにより地域の良好な生活環境の確保に寄与した。							

事業名	空家等対策事業費						執行率（％）	
予算額 （円）	当初予算額	6月補正予算額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対6月補正後 予算額	62.0
	13,011,000	3,000,000	0	0	16,011,000	9,926,980	対予算現額	62.0
目 的	市民から情報提供のあった空家等について、所有者等を調査し、空家等の適正管理を促すとともに、空家等の利活用を促進することで、市民の生活環境の保全及び地域の振興に寄与するもの。							
事業内容 及び実績	空き家バンク制度等の運営		空き家改修補助金5件		2,403,000円			
			空き家バンク登録物件調査		913,000円			
			令和7年度空き家バンク 登録33件 成約10件					
	市民からの相談対応		相談受付件数129件、解決件数22件					
	空家の除却に係る支援		老朽危険空き家等除却促進事業補助金12件		5,923,000円			
			空家等対策協議会委員報酬等		38,500円			
	事務費ほか				649,480円			
成果等 及び 達成度	空家所有者に対し、継続して適正管理を促すとともに、老朽化により危険な状態となった空家の除却に対し補助を行ったことで老朽危険空家の増加抑制につながった。また、空き家バンク制度等の運営により、市内にある空家等を有効活用することができた。 これまでの実績として、空家の解体総件数181件、一時解決件数177件（草木の繁茂及び飛散物の対応等）、空き家バンク登録総件数327件、成約総件数147件となっており、管理不全な状態となる空家の増加抑制及び空家の有効活用につながっている。							

事業名	ローカルSDGs創出事業費						執行率 (%)	
予算額 (円)	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	10.5
	3,340,000	0	△ 2,960,000	0	380,000	351,940	対予算現額	92.6
目 的	さまざまな主体が連携したローカルSDGs事業の創出に向けた取組みや仕組みづくりを行うもの。							
事業内容及び実績	ネイチャーポジティブシンポジウム参加費 101,160円 ブルーカーボン先進地視察費 250,780円							
成果等及び達成度	民間企業や大学等のステークホルダーとの連携により、唐津ラボの設立、唐津ネイチャーファイナンス研究会の設立、藻場再生の実証プロジェクトなどが立ち上がるなど、ローカルSDGsの仕組みが複数生まれた。民間企業を中心に、ネイチャーファイナンス研究会の活動や藻場再生プロジェクトの実証が本格化し、企業の知見や技術を市内の豊かな自然環境の保全に活かしていく動きが始まった。 また、大学の研究室やNPO法人と連携し、ローカルSDGsの関係性を可視化するための実証を行う唐津ラボを設立することで、持続可能な共生圏づくりを目指す体制ができた。							

事業名	カーボンクレジット創出事業費						執行率 (%)	
予算額 (円)	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	100.0
	4,600,000	0	0	0	4,600,000	4,598,000	対予算現額	100.0
目 的	海洋生態系による温室効果ガス削減効果をクレジット化するための事業促進計画策定等を実施し、取引制度の開始及びゼロカーボンシティの実現を目指すもの。							
事業内容及び実績	海洋生態系由来のカーボンクレジット創出事業 事業促進計画策定 4,598,000円							
成果等及び達成度	海洋生態系由来のカーボンクレジットとして、令和6年度に文献調査や潜水による藻場の状況調査等を実施し、市域でポテンシャルが高いエリアのブルーカーボン量を推計することができた。 令和7年度には、ポテンシャルの高いエリアの現地調査、ヒアリング等を行い、藻場保全・再生、地域振興等（海業、観光業等）の活動内容を検討し、その結果をもとに、地域における行動計画（案）を立案した。							

事業名	カーボンニュートラルチャレンジからつ補助金						執行率 (%)	
予算額 (円)	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	81.5
	11,565,000	0	0	0	11,565,000	9,420,000	対予算現額	81.5
目 的	市民等に対して地球温暖化対策の必要性や実践行動などについて普及啓発活動を強化するとともに、脱炭素社会に寄与する設備等の導入を促すことにより、ゼロカーボンシティの実現を目指すもの。							
事業内容及び実績	市民が脱炭素社会に寄与する設備や自動車を導入する費用への補助 電気自動車39件 V2H充放電設備0件 蓄電池システム54件 太陽光発電システム28件 コンポスト6件 電動生ごみ処理機器72件 7,346,000円 市民団体等が行う、脱炭素社会実現に寄与する先進的な事業活動に要する経費への補助 団体補助6件 1,974,000円 環境イベント補助1件 100,000円							
成果等及び達成度	市民の脱炭素社会に寄与する設備、自動車等の導入件数の目標230件に対し199件の補助を行い、概ね目標を達成することができた。また、市民の設備導入により温室効果ガスを年間で約264t-CO2削減することができ、脱炭素社会の推進に貢献した。 市民団体が行った事業活動では、ペットボトルキャップの回収、製品リサイクルや海洋プラスチック対策、皮むき間伐体験、ブルーカーボンの創出・啓発などに6,778人の市民が参加し、参加者からは環境保全への理解が深まったとの意見が多く得られた。							

事業名	離島診療所運営費						執行率（％）	
予算額 （円）	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	71.2
	82,193,000	0	0	△ 438,800	81,754,200	58,507,886	対予算現額	71.6
目 的	離島地区住民の健康保持に必要な医療を提供するため、離島診療所を運営するもの。							
事業内容 及び実績	離島診療所運営実績							
	診療所名	決算額	診療日数	延べ患者数 ※	平均患者数	医師	看護師	
	高島診療所	14,665,195円	241日	1,186人（5）	5人/日	1人	1人	
	神集島診療所	11,097,560円	242日	2,333人（10）	10人/日	1人	1人	
	加唐島診療所	8,978,157円	242日	759人（4）	3人/日	1人	1人	
	松島診療所 ※		51日	166人（0）	3人/日			
	馬渡島診療所	10,671,789円	242日	1,772人（7）	7人/日	1人	2人	
	小川島診療所	13,095,185円	242日	1,551人（0）	6人/日	1人	1人	
	合 計	58,507,886円	－	7,767人（26）	－	5人	6人	
	※松島診療所は週1回加唐島診療所から医師等を派遣							
※延べ患者数の（ ）内の数字はオンライン診療による患者数の内数								
成果等 及び 達成度	医療機関が限られる離島において、各離島診療所に医師等を配置し、必要な医療機器の更新等を行うことにより、離島住民の健康維持に必要な医療を提供するとともに医療衛生体制を確保した。							

事業名	休日歯科診療所運営費						執行率 (%)	
予算額 (円)	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	101.8
	15,179,000	0	0	438,800	15,617,800	15,452,857	対予算現額	98.9
目 的	休日等における北部保健医療圏の急病患者に歯科救急医療を提供することを目的として、医療法に定める診療所を唐津市が設置し、管理及び運営を行うもの。							
事業内容及び実績	診療日 日曜、祝日、祭日、お盆、年末年始の76日 診療時間 9時から16時まで 診療委託先 一般社団法人 唐津東松浦歯科医師会 受診者数 405人（令和6年度実績 381人）							
成果等及び達成度	一般歯科診療所が休診となる休日等に、急病患者に対する応急処置を行うことで、市民の歯科口腔衛生の向上に寄与した。							

事業名	ごみ処理施設整備推進費						執行率 (%)	
予算額 (円)	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	99.8
	43,922,000	0	0	0	43,922,000	43,848,378	対予算現額	99.8
目 的	将来にわたり安定的かつ効率的なごみ処理体制を構築していくため、新ごみ処理施設の整備、供用開始に向けての準備を進めるもの。							
事業内容及び実績	新ごみ処理施設の整備に向けた施設の基本的な方針を定める施設整備基本計画の策定等 新ごみ処理施設整備基本計画策定等（令和7年度分） 42,768,000円 ※契約総額（令和6年度～令和10年度） 260,480,000円 他施設の情報収集を図るための先進地視察（下関市奥山工場ほか1施設） 177,438円 事務費ほか 902,940円							
成果等及び達成度	新ごみ処理施設整備基本計画や環境影響評価など、施設整備に向けた業務を継続実施し、事業の進捗を図った。 また、先進地視察では、検討を進めていた焼却方式を採用している施設を視察し、情報収集を行った。							

5 労 働 費

市内勤労者の労働環境の改善と福利厚生の上昇を図るため、勤労者向け生活資金、住宅資金等の貸付原資の預託を行った。また、勤労者の福利厚生事業を行う団体に対する負担金の交付を行った。

(款) 労働費 (項) 労働諸費 (目) 労働諸費

商工振興課

事業名	労働金庫預託金						執行率 (%)	
予算額 (円)	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	100.0
	40,000,000	0	0	0	40,000,000	40,000,000	対予算現額	100.0
目 的	市内に居住している勤労者の生活及び住宅購入に必要な貸付金の原資を労働金庫に預託することにより、勤労者への融資の円滑化を図り、勤労者の生活の安定と住宅取得を促進するもの。							
事業内容及び実績	九州労働金庫へ40,000千円を預託し、248件、1,453,831千円の融資に結びついた。 預 託 額 生活資金分20,000千円、住宅資金分20,000千円 融資概要 対 象 者 市内に居住または勤務している勤労者 生活資金 使途自由、限度額10,000千円（教育使途は20,000千円） 期間10年以内（教育使途は20年以内） 住宅資金 限度額70,000千円 期間50年以内（全期間固定型は25年以内） 融資実績 生活資金 179件 370,491千円（令和7年度末融資残高 2,393件 1,444,053千円） 住宅資金 69件 1,083,340千円（令和7年度末融資残高 717件 10,169,905千円）							
成果等 及び 達成度	貸付件数は前年度比8.3%増の248件、預託金額の36.3倍となる1,453,831千円の融資が実行され、勤労者の生活の安定と住宅取得につながった。							

(款) 労働費 (項) 労働諸費 (目) 労働諸費

商工振興課

事業名	勤労者福利厚生事業費						執行率 (%)	
予算額 (円)	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	100.0
	655,000	0	0	0	655,000	655,000	対予算現額	100.0
目 的	労働者福祉事業及び勤労者福祉事業を実施する関係団体に対して負担金を支出することにより、労働者及び勤労者の福祉向上を図る。							
事業内容及び実績	佐賀県労働者福祉協議会負担金 100,000円 負担金交付先 一般社団法人佐賀県労働者福祉協議会 事業内容 無料法律相談、ライフプランセミナーなど 佐賀県中小企業勤労者福祉サービスセンター事業運営費負担金 555,000円 負担金交付先 公益財団法人佐賀県産業振興機構 事業内容 人間ドック・健診補助、共済給付（慶弔祝・見舞金）など							
成果等 及び 達成度	佐賀県労働者福祉協議会が実施する法律相談、生活設計支援等を通じて、労働者が抱える問題の解決及び生活の安定を支援し、労働者福祉の向上に寄与した。また、佐賀県中小企業勤労者福祉サービスセンターが実施する福利厚生事業を支援することにより、中小企業勤労者の福利厚生の実現に寄与した。							

6 農林水産業費

(1) 農業費

農業委員会費では、農地法に基づく許認可や農業経営基盤強化促進法の農用地利用集積に関する業務のほか、担い手への農地の集積集約、遊休農地の発生防止と解消、新規参入促進といった農地利用の最適化を推進する取組みを行った。また、農業者年金基金受託事務を実施し、農業者の生活安定に努めた。

農業振興対策として、さが園芸農業者育成対策事業において、園芸作物の生産拡大等を促進するため、省資源型機械の導入や、園芸ハウスの新設などの施設等整備を行う農家等への支援を行った。

さらに、農業の持つ多面的機能（国土保全、水源かん養、自然環境の保全、景観の保全など）の維持・発揮のため、地域活動や営農活動に対して、多面的機能支払交付金、中山間地域等直接支払事業費、環境保全型農業直接支払事業費により支援を行った。

農業の担い手・新規就農対策としては、明日の農業者支援事業費、地域計画推進事業により、就農を希望する者の研修支援及び就農して間もない者の所得確保のための支援を行うことで営農定着を図った。

また、園芸団地構想の実現や農地中間管理機構関連農地整備事業の円滑な推進等を図るため、農地中間管理機構を活用した農地貸借等に対し協力金を交付することで、担い手への効率的な農地集約を促進した。

有害鳥獣対策としては、農作物への被害拡大防止を図るため、猪等駆除事業を実施した。

棚田地域の活性化策としては、棚田における保全事業や交流事業への支援を行った。

畜産業振興対策としては、肉用牛繁殖農家の自給飼料生産に必要な機械の整備を支援した。

また、物価高騰対策として国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、燃油及び飼料高騰に対する支援金を交付することにより営農の継続を支援した。

農地対策としては、農村地域における自然的・社会的条件を踏まえ、農村が持つ多面的機能を活かしながら農地利活用の効率化等を図るため、地元との連携をとり、国、県の補助事業等を最大限有効に活用した農業生産基盤の整備と適正管理による長期利用のための補修・改修等を総合的かつ計画的に推進した。

主な事業として、地域農業水利施設ストックマネジメント事業、農村地域防災減災事業等を実施した。

(2) 上場開発費

上場開発費では、事業費の償還にかかる補助金・負担金の支出のほか、上場地区の農業用水を安定的に供給するため、農業用排水（基幹水利）施設管理事業等を実施し、施設の適正管理に努めた。

(3) 林業費

市有林の管理として、佐賀県造林事業等を活用し、森林の持つ公益的・多面的機能の発揮に向けスギ・ヒノキ林の下刈り、枝打ち、間伐などの整備を実施した。また、重要松林等を松くい虫の被害から守るため、薬剤の樹幹注入や地上散布を行うとともに被害木を伐倒し、焼却、くん蒸作業を実施した。

私有林への支援として、森林作業道開設や間伐等を対象に造林事業補助金を交付し、森林の健全な保育による森林の持つ多面的機能の高度発揮を図った。

また、森林環境譲与税を財源とする唐津市森林環境基金を活用したからつの元気な森づくり事業により、荒廃のおそれのある私有林等について間伐等の森林整備を実施し、森林の持つ多面的機能の維持増進を図るとともに、市内の林業事業体に対し補助金を交付し、森林整備を担うべき人材の育成・確保を支援した。

(4) 水産業費

周辺水域の漁場環境の変化等による漁獲量の減少、魚価の低迷、漁業生産コストの増大、漁業者の高齢化、さらには後継者不足等、漁業を取巻く状況が厳しい中、漁業経営の安定化や水産業の活力再生・強化を目的とした事業、水産施設の維持・改修及び整備等に関する事業等を実施し、水産業の振興を図った。

漁業者等が実施した水産業及び漁村の持つ多面的機能を発揮するための活動を支援し、漁場環境の保全と漁村の活性化を図った。

離島で漁業再生活動を行う漁業集落に対して、離島漁業再生支援交付金を交付し、漁業の基盤である漁場の生産力の向上や実践的な取組みへの支援を行った。

漁業者の高齢化が進む中、本地域における漁業経営体を確保するため、新規就業者に給付金を給付し、漁業への就業促進と後継者の育成を図った。

本地域の水産業の活性化のため、唐津水産業活性化支援事業において、九州大学と共同で、唐津Ｑサバの生産・流通等の安定化・効率化等に向けた事業を展開した。

沿岸漁業振興特別対策事業により、漁業協同組合が実施した施設改修に補助金を交付したほか、市所有の種苗生産施設において、安定した種苗生産・放流を行うため、県からの補助を受け、施設改修工事を実施した。

また、燃油高騰が長引く中、経営が圧迫されている漁業者に支援金を交付し、経営継続を支援した。

漁港建設費では、漁港施設の機能保全のため、浜崎漁港の浚渫及び串浦漁港の浮桟橋更新、物揚場補修工事を実施した。

また、串浦漁港では省電力化及び安全性確保のため照明灯のＬＥＤ化、向島漁港では港内の安全対策として、防風柵整備を行った。

事業名	さがの米・麦・大豆競争力強化対策事業補助金						執行率 (%)	
予算額 (円)	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	84.0
	2,122,000	0	0	0	2,122,000	1,783,000	対予算現額	84.0
目 的	集落営農組織や機械利用組合などの地域水田農業の担い手が、産地競争力の強化等を図るために必要な機械・施設等の整備に対して補助するもの。							
事業内容及び実績	事業主体 納所コンバイン利用組合 事業内容 コンバイン (3条刈り) 1台の導入 総事業費 4,114,000円 (補助対象経費 同額) 補助金額 1,783,000円 (補助率 県1/3、市1/10)							
成果等及び達成度	組合所有のコンバインを導入することにより、従来の個人からの機械の借用が不要になり、機械の共同利用で作業の効率化が図られ、中山間地域における合理的な生産体制を推進することができた。							

事業名	さが園芸農業者育成対策事業補助金						執行率 (%)	
予算額 (円)	当初予算額	6月補正予算額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対6月補正後予算額	82.6
	119,203,000	310,860,000	△ 71,446,000	0	358,617,000	355,045,829	対予算現額	99.0
目 的	農業所得向上に向けた収量・品質の向上や経営規模の拡大、経営コストの削減など、農業所得の確保・向上ができる園芸農業の確立に必要な施設・機械等の整備を推進するもの。							
事業内容及び実績	事業実施主体数 新規就農者育成対策 4件 補助金額 8,295,000円 経営基盤強化対策 28件 補助金額 198,885,000円 園芸産地育成対策 6件 補助金額 147,823,000円 事業内容 園芸用施設の新設及び長寿命化対策、自動カーテン装置、ヒートポンプ、収穫機等 補助率、総事業費 県1/2または1/3、13/20、市1/10 586,877,690円 さが園芸農業者育成対策事業補助金返還金 42,829円 (1件 ハウス栽培中止・撤去による)							
成果等及び達成度	園芸ハウスの新設や長寿命化対策及び省エネ・省力化機械・装置等の整備を支援し、収量の増加や品質向上による収益性の向上と経営安定に寄与し園芸産出額の向上を図った。また、さが園芸888運動の目標に向け、園芸団地構想に基づく園芸用施設の新設などによる経営規模の拡大を支援した。なお、経営基盤強化対策において1件メーカー生産が間に合わず、補助金額3,564,000円を令和8年度へ繰り越した。							

事業名	明日の農業者支援事業費						執行率 (%)	
予算額 (円)	当初予算額	6月補正予算額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対6月補正後 予算額	68.6
	4,020,000	6,600,000	△ 3,027,000	0	7,593,000	7,282,500	対予算現額	95.9
目 的	地域農業のリーダー的な存在となる農業経営体を育成し、永続的な農業の発展を図るもの。							
事業内容及び実績	青年農業者等育成補助金 300,000円 対象者 唐津・上場地区農業青年クラブ連絡会 明日の農業者チャレンジ支援事業 2,400,000円 支給単価・実績 (単身者) 年額600,000円/人 4名 (新規採択者3名、2年目1名) 新規就農者ステップアップ支援事業 4,582,500円 支給単価・実績 研修者 月額100,000円/人 4名 3,525,000円 (新規採択者2名、2年目2名) 指導者 月額 30,000円/人 4名 1,057,500円							
成果等及び達成度	青年農業者の経営確立に向けた新たな知見習得や相互交流等の取組みを支援したことで、青年農業者の質的向上につながった。 就農希望者の技術習得からステップアップ支援を受けた者の独立自営就農まで切れ目のない支援に努めるとともに、認定農業者の後継者4名の就農定着につながった。 明日の農業者チャレンジ支援事業 令和7年度新規採択者 3名 (令和6年度 1名) 新規就農者ステップアップ支援事業 令和7年度新規採択者 2名 (令和6年度 3名)							

事業名	地域計画推進事業費						執行率 (%)	
予算額 (円)	当初予算額	12月補正予算額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対12月補正後 予算額	96.7
	15,750,000	3,375,000	0	0	19,125,000	18,487,500	対予算現額	96.7
目 的	地域計画に位置付ける担い手農業者の確保・育成に取り組むことで、持続可能な力強い地域農業の実現を目指すもの。							
事業内容及び実績	農業次世代人材投資事業 (令和3年度までの採択者) 2,512,500円 交付実績 単身者1名 (交付額600,000円)、夫婦1組 (交付額1,912,500円) 経営開始資金 (令和4年度以降の採択者) 15,375,000円 交付実績 単身者8名 (交付単価 年間1,500千円/人)、うち令和7年度新規採択者3名 夫婦 3組 (交付単価 年間2,250千円/組)、うち令和7年度新規採択者1組 農業次世代人材投資事業補助金返還金 600,000円 (1件 単身者1名の所得要件超過による)							
成果等及び達成度	地域農業の将来を担う農業者の確保・育成に向けて、単身者9名、夫婦4組における就農初期の経営不安が軽減され、独立自営就農の開始及び経営安定につながった。 令和7年度新規採択者 単身者3名、夫婦1組 (令和6年度 単身者2名、夫婦1組)							

事業名	棚田地域保全活動支援事業費						執行率 (%)	
予算額 (円)	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	82.3
	2,393,000	0	0	0	2,393,000	1,969,273	対予算現額	82.3
目 的	棚田保全のための農業用施設の改修に係る活動を支援するほか、都市住民等との交流や、他地域の棚田関係団体との交流及び情報共有を行うことにより、棚田地域の活性化を図るもの。							
事業内容及び実績	棚田地域保全活動支援事業補助金（蕨野） 1,000,000円 施設保全活動、交流事業 蕨野の棚田ふれあい事業補助金 400,000円 棚田ウォーク事業費（参加173人） 事務費ほか 569,273円 研修会負担金、交流広場等維持管理関連費等							
成果等及び達成度	棚田地域保全活動支援事業補助金により棚田の横溝水路土留壁が設置され、棚田の保全に資することができた。また、蕨野の棚田ふれあい事業補助金により棚田ウォークが開催され、都市住民等との交流が生まれるとともに棚田の魅力発信につなげることができた。							

事業名	中山間地域等直接支払事業費						執行率 (%)	
予算額 (円)	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	95.4
	325,614,000	0	△ 12,911,000	0	312,703,000	310,531,897	対予算現額	99.3
目 的	中山間地域の生産条件の不利を是正するとともに、農業生産の維持を通じて耕作放棄地の発生を防止し、中山間地域の農地が有する多面的機能の増進を図るもの。							
事業内容及び実績	協定集落への交付金 95集落 309,428,301円、推進事務費 1,023,035円 本体交付金 247,163,386円 内容 集落協定に位置付けた農地や水路・農道等の管理活動、多面的機能を増進する活動ほか 加算交付金 62,264,915円 内訳 棚田地域振興活動加算 1集落 2,382,800円、ネットワーク化加算 4集落 3,148,395円 超急傾斜農地保全管理加算 39集落 23,492,970円、スマート農業加算 34集落 33,240,750円 交付金返還金 80,561円（1集落 錯誤編入判明に伴う協定農地の一部除外による）							
成果等及び達成度	集落等を単位とした協定に基づく共同活動により、市内の農地及び農業用施設の適正な維持管理が行われ、農地保全や農業生産活動等の継続につながるとともに、中山間地域の農地が有する多面的機能の維持増進が図られた。 協定農地面積 1,562ha （令和7年度から第6期対策として新規認定）							

事業名	環境保全型農業直接支払事業費						執行率 (%)	
予算額 (円)	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	68.7
	5,707,000	0	△ 1,785,000	0	3,922,000	3,921,800	対予算現額	100.0
目 的	化学肥料・農薬の使用等による環境負荷の低減に配慮した持続的な農業を確立し、地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動の普及を推進するもの。							
事業内容及び実績	事業期間 令和7年度から令和11年度まで 対象取組 カバークロップ、有機農業等 補助率 国1/2、県1/4、市1/4 取組件数 9件 取組面積 60.11ha 内 訳 カバークロップ 51.04ha、有機農業 9.07ha 交付金額 3,821,800円 推進事務費 100,000円							
成果等及び達成度	農業生産に由来する環境負荷の低減に配慮した農業を支援することで、地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動の普及を推進することができた。 事業実施予定の全てのほ場で取組みが実施された。							

事業名	農地中間管理機構関連農地整備推進事業費						執行率 (%)	
予算額 (円)	当初予算額	12月補正予算額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対12月補正後 予算額	100.0
	339,000	408,000	0	0	747,000	747,000	対予算現額	100.0
目 的	園芸団地構想の実現や農地中間管理機構関連農地整備事業の円滑な推進等を図るため、農地中間管理機構を活用した担い手農業者への農地集積・集約を進めるもの。							
事業内容及び実績	対象地区 鏡・半田地区 集約面積 0.5ha 枝去木地区 集約面積 1.36ha 浜玉町三宅地区 集約面積 0.63ha 計 2.49ha 対 象 者 整備予定地区内農地の出し手となる者 11名 内訳 鏡、半田地区3名、枝去木地区6名、浜玉町三宅地区2名 交付金額 747,000円 (交付単価 30,000円/10a)							
成果等及び達成度	さが園芸888運動の園芸団地構想に位置付けられた農地及び農地中間管理機構関連農地整備事業の整備予定地区の農地において、出し手農地を集約し農地中間管理機構を通じた担い手への貸借を進めたことで、収益性向上を目指すための生産基盤の強化が図られた。 令和7年度集約計画面積 2.49ha (達成度100%)							

事業名	猪等駆除事業費						執行率 (%)	
予算額 (円)	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	64.0
	26,365,000	0	△ 5,000,000	0	21,365,000	16,865,471	対予算現額	78.9
目 的	有害鳥獣対策において、農用地への侵入防止柵の設置や対象鳥獣の捕獲を実施することにより、農作物被害、農業用施設被害を防止し、地域農業の振興へ寄与するもの。							
事業内容及び実績	捕獲・追い払い経費 917,598円 その他経費（狩猟免許取得補助金等） 156,278円 唐津地域有害鳥獣広域駆除対策協議会負担金 15,791,595円 侵入防止柵整備実績 ワイヤメッシュ柵 19,503m、電気牧柵器 199台、電気ネット柵器 3台 捕獲檻等導入実績 大型獣用（イノシシ用）箱わな 46基 捕獲実績 イノシシ3,530頭、アナグマ90頭、タヌキ41頭、アライグマ521頭、サル20頭、カラス24羽							
成果等及び達成度	唐津地域鳥獣被害防止計画における令和7年度捕獲計画数の達成率 イノシシ53.2%、アナグマ69.2%、タヌキ102.5%、アライグマ200.3%、サル40.0%、カラス48.0% 令和7年度の野生鳥獣による農作物の被害金額は56,670千円で令和6年度の被害金額67,980千円と比較すると約16.6%減少しており、侵入防止柵整備と捕獲活動の両面から被害防除対策を実施することで、有害鳥獣による農作物被害及び農業用施設被害を最小限に食い止めることができた。							

事業名	燃油高騰対策施設園芸営農継続支援金						執行率 (%)	
予算額 (円)	当初予算額	6月補正予算額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対6月補正後予算額	79.7
	0	92,541,000	△ 18,820,000	0	73,721,000	73,721,000	対予算現額	100.0
目 的	長引く燃油価格高騰の影響を受けている施設園芸農業者に対し、燃油購入費の一部を支給することで営農継続を支援するもの。							
事業内容及び実績	対 象 者 令和6年産の園芸用ハウス加温栽培において、A重油、灯油及びLPガスを使用し市内に住所を有する農業者等 対象経費 令和6年度加温時期（10月から3月）にハウス加温機に使用した燃油購入量に7円を乗じた額 実 績 交付件数 429件 支援金額 73,721,000円							
成果等及び達成度	支援金を支給することにより、燃油価格高騰で施設園芸から離農しようと考えていた農家を引き止め、市内の加温栽培施設園芸農業経営の継続につながった。							

事業名	農業用施設・設備等被災者支援事業補助金（事故繰越分）						執行率（％）	
予算額 （円）	繰越予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対繰越予算額	75.7
	7,826,000	—	—	—	7,826,000	5,924,000		
目 的	令和5年7月豪雨等により被害を受けた農産物の生産・加工に必要な農業用施設・機械の再建・修繕等に補助を行い、被災農業者の営農再開及び経営安定を図るもの。							
事業内容及び実績	事業内容、補助金額 被災した農業用施設・設備等の修繕等 8件 5,924,000円 補助率 5/10以内（県3/10、市2/10）							
成果等 及び 達成度	近隣河川の災害復旧工事の影響により一部の事業執行が遅れていたが、災害復旧工事完了後速やかに被災した農業用施設・設備の修繕・再取得に要する経費の助成を行い、農業者の負担軽減と営農再開を支援することができた。							

事業名	さが肥育素牛生産拡大施設等整備補助金						執行率（％）	
予算額 （円）	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	83.3
	3,831,000	0	0	0	3,831,000	3,193,000	対予算現額	83.3
目 的	肉用牛繁殖農家が経営規模の拡大を行うための施設整備、畜産農家等による自給飼料の生産拡大等に必要な機械等の導入に対し補助することにより、経営の安定化を図るもの。							
事業内容及び実績	事業主体 唐川飼料組合 事業内容 ジャイロレーキ（集草用機械）、ロールベアラー（梱包用機械）各1台の導入 総事業費 7,370,000円（補助対象経費 同額） 補助金額 3,193,000円（補助率 県1/3、市1/10）							
成果等及び達成度	自給飼料の生産に必要な機械を整備し、自給飼料の生産及び利用を拡大することにより、畜産農家の経営の安定化を図ることができた。							

事業名	飼料価格高騰緊急対策事業支援金						執行率 (%)	
予算額 (円)	当初予算額	6月補正予算額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対6月補正後 予算額	91.1
	0	100,101,000	△ 8,943,000	0	91,158,000	91,157,360	対予算現額	100.0
目 的	飼料価格高騰の影響を受けている畜産農家に対し、配合飼料及び粗飼料の購入費の一部を支給することで、営農継続を支援するもの。							
事業内容及び実績	配合飼料価格高騰対策支援 実施内容 令和6年度の配合飼料価格安定制度の補てん対象数量（飼料購入実績もしくは配合飼料価格安定制度契約数のどちらか少ない方）を基に支援金額を算定し、支給した。 実 績 全畜種合計 151件、対象数量 72,528.36トン、支援金額 72,528,360円 粗飼料価格高騰対策支援 実施内容 令和6年度の乳用牛及び繁殖母牛の飼養頭数を基に支援金額を算定し、支給した。 実 績 酪農・繁殖合計 128件、対象頭数 3,659頭、支援金額 18,629,000円							
成果等及び達成度	生産コストの増大に全国的な子牛相場下落が重なったことで肉用牛繁殖の小規模・高齢農家で離農があったものの、畜産全体としては、飼養規模を維持することができ、畜産業の生産基盤を守ることができた。 R6飼養頭羽数 肉用牛15,282頭、酪農257頭、養豚15,141頭、養鶏1,236,680羽 R7飼養頭羽数 肉用牛14,887頭、酪農226頭、養豚19,274頭、養鶏1,240,780羽							

事業名	地域農業水利施設ストックマネジメント事業費						執行率 (%)	
予算額 (円)	当初予算額	3月補正予算額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対3月補正後 予算額	60.2
	15,054,000	5,635,000	0	0	20,689,000	12,460,350	対予算現額	60.2
目 的	農業水利施設の長寿命化を図るため機能診断に基づく対策工事を行う土地改良区に対し補助金を交付し、今後の維持管理コストの低減や財政負担の平準化を図るもの。							
事業内容及び実績	負担割合（国55%、県15%、市15%、土地改良区15%） 上場土地改良区 事業費 67,364,000円、市補助金 7,600,350円（玄海町との按分負担） 事業内容 埋設管更新、埋設配管漏水修理、揚水機場ポンプ更新 浜玉畑総土地改良区 事業費 14,700,000円、市補助金 2,205,000円 事業内容 送水管補修、揚水ポンプ整備、送水管補修実施設計書作成 事業費 3,300,000円、市補助金 825,000円（補助率25%） 事業内容 パイプライン移設（緊急補修） 鏡久里土地改良区 事業費 12,200,000円、市補助金 1,830,000円 事業内容 幹線水路実施設計書作成、揚水機場補修、水門補修							
成果等及び達成度	施設の長寿命化を図るため、農業水利機能診断に基づく対策工事を行う土地改良区等に対して補助金を交付し、維持管理コストの低減や財政負担の平準化を図った。 また、工事の部品手配、人員調整に不測の期間を要したため2,553,000円、国費の追加割当により3月に補正した5,635,000円を令和8年度に繰り越した。							

事業名	多面的機能支払交付金						執行率 (%)	
予算額 (円)	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	93.4
	287,080,000	0	△ 18,531,000	0	268,549,000	268,229,266	対予算現額	99.9
目 的	農業・農村の持つ多面的機能（国土保全、水源かん養、景観形成等）を維持・発揮するための地域活動や施設の長寿命化活動を支援するもの。							
事業内容及び実績	活動組織への交付金 92組織 267,232,964円、推進事務費 16,000円 農地維持支払交付金 89組織 102,660,000円 内容 地域資源の基礎的な保全活動、保存管理のための推進活動 資源向上支払交付金（共同） 89組織 58,554,706円 内容 施設の軽微な補修、多面的機能の維持・発揮・増進を図る活動等 資源向上支払交付金（長寿命化） 81組織 106,018,258円 内容 老朽化が進む農業用排水路等の長寿命化のための補修・更新 交付金返還金 980,302円（13組織 農地転用等に伴う認定農地の一部除外による）							
成果等及び達成度	農村地域の共同活動や老朽化が進む水路、農道等の長寿命化を図るための補修等を行うことで、認定農地4,067ha及び農業用施設（水路総延長873km、農道総延長851km、ため池208箇所）の地域資源が適切に保全管理され、多面的機能の維持増進につながった。							

事業名	農村地域防災減災事業費、同（繰越明許分）						執行率（％）	
予算額 （円）	当初予算額	3月補正予算額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対3月補正後 予算額	34.8
	171,187,000	10,000,000	0	△ 70,645	181,116,355	63,036,100	対予算現額	34.8
	繰越予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対繰越予算額	92.5
	94,277,000	—	—	—	94,277,000	87,186,100		
目 的	老朽化している防災重点農業用ため池の改修等整備を計画的に実施するため、劣化の調査を行うほか対策工事を行うもの。							
事業内容 及び実績	事業内容（現年度分）		ため池劣化状況調査（屋形石地区ほか）	7箇所	4,499,000円			
			ため池改修実施設計（中里地区）	1箇所	7,520,700円			
			ハザードマップ作成（北波多岸山地区）	3箇所	990,000円			
			ため池廃止工事（和多田地区ほか）	3箇所	50,026,400円			
	事業内容（繰越明許分）		ため池劣化状況調査（和多田地区ほか）	9箇所	78,875,500円			
			ため池廃止工事（現年度分と同箇所）	3箇所	8,310,600円			
成果等 及び 達成度	防災重点農業用ため池16箇所の劣化状況調査を実施し、ため池の状況及び改修の必要性について把握できた。また改修工事の設計が完了し、工事の準備を進めることができた。なお、農業用水利時期である4月から9月までは調査や工事が行えなかったことに加え、改修工事において、入札の不調により事業開始が遅れ年度内完了が困難となったことにより118,079,000円を令和8年度に繰り越した。							

事業名	鳴神公園整備事業費、同（繰越明許分）						執行率（％）	
予算額 （円）	当初予算額	6月補正予算額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対6月補正後 予算額	60.8
	0	61,551,000	0	0	61,551,000	37,439,540	対予算現額	60.8
	繰越予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対繰越予算額	100.0
	64,071,000	—	—	—	64,071,000	64,071,000		
目 的	鳴神公園内の橋りょうを再整備するもの。あわせて、公園内の施設の再整備、駐車場の拡張等を行い、利用者の利便性向上を図るもの。							
事業内容及び実績	（現年度分）			（繰越明許分）				
	鳴神橋	上部工設置工事	14,814,740円	上部工設置工事	63,829,160円			
		上部工照明設備設置工事	1,485,000円	上部工落成式経費	241,840円			
	鳴神公園	駐車場整備工事	11,033,000円					
		施設復旧工事	7,920,000円					
		法面整備工事	206,800円					
		電源設備設置工事	1,980,000円					
成果等 及び 達成度	令和6年度から着工していた鳴神橋上部工設置工事が完了し、令和7年8月20日に落成式を挙行了ほか、公園駐車場の拡張（28台→46台）並びに電源設備及び上部工照明設備の設置により利便性が向上した。 あずまや、樹木等の公園施設復旧工事については、植栽樹木や芝が確実に根付く3月～4月の施工とするため、24,111,000円を令和8年度に繰り越した。							

事業名	農業用排水（基幹水利）施設管理事業費、同（繰越明許分）						執行率（％）	
予算額 （円）	当初予算額	12月補正予算額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対12月補正後 予算額	96.3
	412,615,000	2,441,000	0	0	415,056,000	399,666,422	対予算現額	96.3
	繰越予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対繰越予算額	77.5
	8,200,000	—	—	—	8,200,000	6,356,900		
目 的	上場土地改良事業で造成した施設のうち、公共性の高い5つの農業用ダムと揚水機場等の管理を行うもの。							
事業内容 及び実績	事業内容（現年度分）							
	ダム堆砂状況調査業務ほか点検整備				41,709,700円			
	ポンプ等整備補修				31,112,157円			
	揚水機場等電気料				322,947,116円			
	事務費ほか				3,897,449円			
	事業内容（繰越明許分）							
松浦川揚水機場綫鋼板更新工事・法面整備工事ほか				6,356,900円				
成果等 及び 達成度	基幹水利施設の適正な維持管理を行うことで、上場農業用水の安定供給を図ることができた。 なお、基幹水利施設のポンプの整備について、工事の部品手配、人員調整に不測の期間を要すること なったことから、15,386,000円を令和8年度に繰り越した。							

事業名	からつの元気な森づくり事業費						執行率 (%)	
予算額 (円)	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	82.3
	99,681,000	0	△ 12,833,000	0	86,848,000	81,995,984	対予算現額	94.4
目 的	唐津市森林環境基金を活用し、荒廃のおそれのある私有林等の整備を実施し、森林の持つ多面的機能の維持増進を図るとともに、新たな担い手の確保につながる取組みを推進するもの。							
事業内容及び実績	森林調査 4地区 37.36ha 8,085,000円、間伐業務 6地区 47.79ha 29,040,000円 市内の荒廃の恐れのある私有林の森林整備 下刈等労働従事者支援事業補助金 2事業者 5,014,000円 市内の林業事業体が行う下刈等の作業に従事した作業員への手当に対する補助 林業機械レンタル等支援事業補助金 4事業者 5,922,000円 市内の林業事業体が導入した林業機械のレンタル等の費用に対する補助 森林危険木伐採等支援事業補助金 6件 950,000円 住宅等への被害の恐れのある危険木の伐採等に要する費用に対する補助 林業PR等支援事業補助金 2事業者 270,000円 市内の林業事業体が行う林業や木材等の魅力をPRすることに要する費用に対する補助 林業担い手育成支援事業補助金 2事業者 13,193,000円 市内の林業事業に新規就業した者への技術指導及び技術習得に必要な研修会等への参加費に対する補助 森林環境整備促進事業 9路線 14,993,000円 木材搬出の支障となる林道沿線の支障木伐採や剪定、並びに排水設備や道路舗装の修繕等 カラモク活用促進事業 500セット製作 2,777,500円 木育の一環として市内の新生児に対し、唐津市産木材で製作した皿とスプーンの配布 事務費ほか 1,751,484円							
成果等及び達成度	事業条件に合致した約253haの私有林等所有者に対し、森林の経営に関する意向調査を行い、市への管理委託の申し出のあった65.09haについて経営管理権集積計画を策定、対象となった森林の調査及び切捨間伐を実施し、令和2年度からの累計で約177haの森林整備を行うことで森林の多面的機能の維持増進を図った。なお、森林所有者からの事業同意が想定を下回ったこと、また、現地調査の結果事業面積が減少したこと等により減額補正を行った。 また、林道沿線の伐採や舗装等を行い、森林整備の促進と林道災害の抑制を図った。 このほか、市内森林組合等に対し人材育成・担い手確保等に関する支援を行った。 林業担い手育成支援事業補助金 令和7年度交付対象者 2事業者10名（令和6年度交付対象者 2事業者7名） さらに、木に触れて木材に親しむ木育の一環として市内の新生児に市産材で製作した皿とスプーンを贈呈。アンケート結果でも好評を得ており、唐津の木材の良さのPRと木材利用の普及にも努めた。							

事業名	新市誕生20周年記念出張おもちゃ美術館事業費						執行率 (%)	
予算額 (円)	当初予算額	9月補正予算額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対9月補正後 予算額	99.9
	0	2,219,000	0	0	2,219,000	2,216,170	対予算現額	99.9
目 的	木のおもちゃに触れて遊べるイベントを実施し、木材への親しみの醸成と森林や林業への理解促進を図るとともに、県産木材ひいては唐津市産木材の利用拡大及び普及啓発を図るもの。							
事業内容 及び実績	出張おもちゃ美術館の開催 開催日 令和8年1月24日～25日 場所 ポートレースからつ 内 容 木のおもちゃ体験、木工ワークショップ、森林・林業に関するパネル展示等 賠償責任保険 27,170円 開催業務委託 1,694,000円 ポスター・チラシ制作業務 495,000円							
成果等 及び 達成度	1日目に約650人、2日目に約850人、合計約1,500人の来場があり、こどもたちが木の温もりや香りを五感で体験できる場を提供するとともに、市内の林業事業体とも連携し、木材及び林業のPRにもつながった。							

事業名	明日の漁業者支援事業費						執行率 (%)	
予算額 (円)	当初予算額	6月補正予算額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対6月補正後 予算額	79.2
	2,466,000	6,800,000	△ 1,384,000	0	7,882,000	7,341,240	対予算現額	93.1
目 的	漁業の後継者不足が深刻化する中、新たな就業者の確保及び競争力ある経営体の育成を支援し、次世代へつながる地域漁業の維持と発展を図るもの。							
事業内容 及び実績	明日の漁業者チャレンジ支援事業（給付期間 2年間） 親族の元で従事 9名（就業1年目 6名、就業2年目 3名） 5,400,000円 独立して従事 1名（就業1年目 1名） 1,200,000円 明日の漁業者競争力強化支援事業（国補助対象経費の1/10の額（上限100万円）） 競争力強化型機器等導入緊急対策事業 1件 615,000円（省力・省コスト化エンジンの導入） 令和7年度佐賀県漁業研修推進協議会負担金 120,000円（30,000円×4名） 漁業就業支援福岡フェア2025参加費 6,240円							
成果等 及び 達成度	「明日の漁業者チャレンジ支援事業」により、新たに漁業に従事する者7名に対して給付を行い、次代を担う漁業者の確保及び就業定着につながった。 また、「明日の漁業者競争力強化支援事業」により、漁船用エンジンの導入を支援したことで、漁業者の負担軽減及び漁家経営の安定化につながった。 あわせて、就業支援フェアへの参加を通じて、漁業の担い手確保に向けた相談対応に取り組んだ。 令和7年度交付対象者（就業1年目）7名 令和6年度交付対象者（就業1年目）4名							

事業名	漁場生産力・水産多面的機能強化対策事業費						執行率 (%)	
予算額 (円)	当初予算額	3月補正予算額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対3月補正後 予算額	45.3
	7,236,000	8,629,000	0	0	15,865,000	7,181,010	対予算現額	45.3
目 的	水産業及び漁村が有する多面的機能を効果的に強化していくため、漁業者等で構成する活動組織による漁場環境の保全活動等を支援し、漁場環境の保全と漁村の活性化を図るもの。							
事業内容及び実績	佐賀県環境・生態系保全対策地域協議会（事業主体）に対し市が負担割合の15%分を交付し、協議会は各活動組織へ活動内容に応じた活動費（交付金）を分配した。なお、国70%、県15%の割合でそれぞれ直接交付されている。 市の交付金額 7,181,010円 （内訳）唐津地区海面環境を守る会 1,226,010円 唐津地区海底環境を守る会 1,137,600円 湊の海を守る会 198,300円 屋形石地区藻場保全活動の会 361,200円 浜崎地区海の環境を守る会 418,050円 肥前地区海底環境を守る会 481,200円 高串地区海面環境を守る会 666,450円 大浦浜環境を守る会 1,340,250円 鎮西地区藻場保全活動の会 445,800円 呼子の海を守る会 498,450円 玄界灘を美しくする会 407,700円							
成果等及び達成度	各活動組織が、漁場に生息するガンガゼ等のウニ類の食害生物駆除、漂流・漂着物の除去作業等に計画的に取り組んだことにより、藻場や水産生物の保全及び漁場環境の改善が図られた。国の補正予算による追加配分決定に伴い、交付手続及び事業実施に期間を要するため8,629,000円を令和8年度に繰り越した。							

事業名	離島漁業再生支援交付金事業費						執行率 (%)	
予算額 (円)	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	86.0
	32,801,000	0	0	△ 2,419,090	30,381,910	28,218,000	対予算現額	92.9
目 的	漁獲物の販売や生産面等で不利な条件下に置かれ、後継者不足や高齢化の進行が著しい状況の離島において、各離島の漁業集落の取組みに対し支援を行うことで、離島漁業の再生を図るもの。							
事業内容及び実績	離島漁業再生事業交付金 28,168,000円 （内訳）高島漁業集落 3,111,000円 神集島漁業集落 4,146,000円 向島漁業集落 2,421,000円 加唐島漁業集落 2,067,000円 松島漁業集落 1,380,000円 馬渡島漁業集落 6,742,000円 小川島漁業集落 8,301,000円 事務費 50,000円							
成果等及び達成度	各離島の漁業集落が行う種苗放流やガンガゼ駆除等の漁場の生産力向上のための保全活動や、アカウニの中間育成、海藻の試験養殖等の漁業再生に関する実践的な取組みを継続して支援した。 これにより、各離島における漁業生産基盤の維持・強化が図られ、離島漁業の活性化に寄与した。							

事業名	唐津水産業活性化支援事業費						執行率 (%)	
予算額 (円)	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	102.1
	32,979,000	0	0	695,688	33,674,688	33,674,688	対予算現額	100.0
目 的	唐津Qサバの種苗量産化及び養殖事業における安定的かつ効率的な生産体制を確立することにより、生産量を拡大し市場への流通量を増やすとともに、水産業の活性化を通じて本地域全体の振興を図るもの。							
事業内容及び実績	唐津Qサバ種苗量産・産業化促進業務 7,537,183円 唐津Qサバ中間育成技術開発試験業務 6,127,000円 唐津Qサバ親魚飼育管理業務 660,000円 唐津市水産業活性化支援センター運営費 19,350,505円							
成果等及び達成度	唐津市水産業活性化支援センターを中心に取組みを継続しており、唐津Qサバの種苗生産に必要な親魚の選別、飼料の栄養管理、水温制御等に取り組んだ。令和7年度の種苗生産数は、ホルモン投与後、採卵に適した親サバが少なく、良質な受精卵の確保が十分でなかったため、計画12万尾に対し約9万6千尾となった。成魚出荷数は、令和6年度夏季の高水温によるへい死の影響により約2千尾にとどまった。							

事業名	沿岸漁業振興特別対策事業費						執行率 (%)	
予算額 (円)	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	95.4
	13,084,000	0	△ 602,000	0	12,482,000	12,481,200	対予算現額	100.0
目 的	沿岸漁業の振興を図るため、国庫補助事業に該当しない小規模な漁業関連施設の改修等を行う漁業協同組合に対し補助を行うもの。また、市所管の施設においても県の補助を受け施設改修を行うもの。							
事業内容及び実績	事業内容 船台台車新設工事 (満島船溜まり) 1,702,000円 製氷機製氷板交換工事 (高串漁港) 3,682,000円 高圧機器更新工事 (市所管 種苗生産施設) 7,097,200円 補助率 県1/3、市1/3							
成果等及び達成度	満島船溜まりにおいては船台台車の新設により上架作業の安全性と作業効率の向上を図り、漁業経営の安定化に寄与した。また、高串漁港においては製氷機の製氷板を耐久性の高いステンレス製へ更新することで、ガス漏れリスクを低減し、漁業活動に不可欠な氷の安定供給体制を確立した。さらに、市所管の種苗生産施設では高圧機器を更新し、設備の信頼性と安全性を高めたことで、種苗の安定的生産と継続的な放流実施を可能とする体制を整備した。これらの施設改修を通じて、沿岸漁業の持続的かつ安定的な操業環境の確保に貢献した。							

事業名	複合経営等漁家経営改善支援事業補助金						執行率 (%)	
予算額 (円)	当初予算額	6月補正予算額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対6月補正後 予算額	89.4
	0	15,000,000	△ 1,557,000	△ 39,964	13,403,036	13,403,000	対予算現額	100.0
目 的	漁家経営の改善に向け、佐賀県と連携して漁業者の新たな複合経営等への取組みや、経営改善につながる取組みを支援し、持続可能な経営基盤の強化を図るもの。							
事業内容及び実績	チャレンジタイプ 5件 13,403,000円【補助率 県1/2、市1/4 (補助上限額 3,750,000円/件)】 取組事項 定置網の小型化・漁場変更による省人省力化と持続的な漁業経営の確立 重量選別機の導入による3倍体マガキの規格化及び周年出荷体制の構築 真珠・カキ養殖の複合経営化及びシングルシード養殖による所得向上 3倍体マガキの生産量拡大と洗浄機導入による作業効率化及び販路開拓 定置網の漁具改良による自然災害対策及び漁獲効率の向上 交付額 13,403,000円 事業費 18,073,420円							
成果等及び達成度	チャレンジタイプでは、定置網の漁具改良や小型化への移行支援、ならびにカキ養殖における重量選別機や洗浄機等の導入支援を5件行い、省人省力化による作業効率の改善及び生産規模の拡大を後押しした。 これにより、定置網漁業における経営の安定化や、3倍体マガキの規格化による高付加価値化、年間を通じた安定的な収益確保を可能にする経営の多角化など、経営改善への手応えを得ることができた。							

事業名	燃油高騰対策漁業経営継続支援金						執行率 (%)	
予算額 (円)	当初予算額	6月補正予算額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対6月補正後 予算額	69.6
	0	22,155,000	△ 6,741,000	0	15,414,000	15,413,314	対予算現額	100.0
目 的	燃油価格高騰により経営が圧迫されている漁業者に対し、支援金を支給し経営継続を図るもの。							
事業内容及び実績	対 象 者 市内漁業者 対象経費 令和6年4月1日から令和7年3月31日までの燃油購入量 (10当たり) に7円以内を乗じた額 補助件数 337件 補助金額 15,413,314円							
成果等及び達成度	A重油価格が令和2年比で約1.7倍に上昇するなど、燃油価格の高騰が漁業経営に大きな影響を及ぼす中、燃油購入量に応じた支援を行った。これにより、操業に不可欠な燃油に係る費用負担の軽減が図られ、漁業者が継続して操業できる環境の維持につながった。また、燃油価格高騰による経営への影響を緩和し、漁業経営の安定化と地域漁業の維持に寄与した。							

事業名	漁業用燃油削減対策支援金						執行率 (%)	
予算額 (円)	当初予算額	12月補正予算額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対12月補正後 予算額	31.1
	0	21,639,000	0	0	21,639,000	6,734,717	対予算現額	31.1
目 的	燃油価格の高止まりにより経営が圧迫されている漁業者に対し、燃油削減の取組みに要する経費の一部を支給することで、経営継続を支援するもの。							
事業内容及び実績	対 象 者 市内漁業者 対象経費 令和7年4月1日から令和8年1月31日までに実施した、漁船の燃費向上を目的とするエンジンオイル、フィルター等の交換及びこれに付随する消耗品に要した経費 算定方法 補助対象経費の1/2を支援 上 限 額 5トン未満 30,000円、5トン以上10トン未満 70,000円、10トン以上 120,000円 補助件数 310経営体 補助金額 6,734,717円							
成果等及び達成度	本事業は、船舶のエンジンメンテナンスを支援し、燃油消費削減と漁業経営の安定維持に寄与した。 一方で、利用者の約4割が補助上限額の半額に満たない利用実績であり、対象経営体の活用率は約52%にとどまった。							

事業名	漁港小規模事業費						執行率 (%)	
予算額 (円)	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	96.7
	14,200,000	0	0	0	14,200,000	13,725,620	対予算現額	96.7
目 的	補修、改修及び新設の必要な漁港施設のうち、国庫補助事業に該当しない小規模な事業について県単独補助により整備を行い、漁港機能を維持し漁業活動の安全性や利便性の向上を図るもの。							
事業内容及び実績	串浦漁港照明灯LED化工事 N=14基 5,353,700円 向島漁港防風柵設置工事 L=12.0m 8,371,000円 事務費 920円							
成果等及び達成度	串浦漁港において、照明灯のLED化により省電力化をはじめ、漁業活動の安全性を確保することができた。 向島漁港において、防風柵を設置することにより、荷揚げ時や船舶の係留時における強風の影響を軽減することができ、漁業活動の安全性及び利便性が向上した。							

水産課

事業名	浜崎漁港改修事業費（繰越明許分）						執行率（％）	
予算額 （円）	繰越予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対繰越予算額	100.0
	71,000,000	—	—	—	71,000,000	70,986,131		
目 的	浜崎漁港の機能保全計画において、保全工事が必要とされた施設について補修等を行い、漁港施設の保全を図り、漁業活動の安全性と利便性を確保するもの。							
事業内容及び実績	底質土（航路・泊地）調査 N＝2箇所 1,089,000円 浜崎漁港浜崎航路浚渫工事 V＝5,876.0m³ 21,359,800円 浜崎漁港渚上泊地浚渫工事 V＝3,197.0m³ 48,189,900円 事務費 347,431円							
成果等及び達成度	浜崎漁港浜崎航路の浚渫を実施し、航路の水深を確保することで、船舶の航行が円滑になり、安全性と利便性が確保された。 浜崎漁港渚上泊地の浚渫を実施し、港内の水深を確保することで、船舶の航行及び係留が円滑にできるようになり、安全性と利便性が確保された。							

水産課

事業名	串浦漁港改修事業費（繰越明許分）						執行率（％）	
予算額 （円）	繰越予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対繰越予算額	99.3
	31,000,000	—	—	—	31,000,000	30,796,060		
目 的	串浦漁港の機能保全計画において、保全工事が必要とされた施設について補修等を行い、漁港施設の保全を図り、漁業活動の安全性と利便性を確保するもの。							
事業内容及び実績	串浦漁港（淀野地区）浮棧橋更新工事 一式 28,224,900円 串浦漁港（淀野地区）物揚場改修工事 A＝50.0㎡ 1,826,000円 事務費 745,160円							
成果等及び達成度	更新が必要とされた浮棧橋及び連絡橋の製作・運搬、アンカーブロックの製作を実施し、令和8年度の設置工事に向けた準備ができた。 エプロン舗装の段差解消が必要とされた物揚場の改修工事を実施し、漁業活動が円滑にできるようになり安全性と利便性が確保された。							

7 商 工 費

(1) 商工総務費

商工総務一般経費を支出したほか、モーターボート競走事業会計に対して繰出しを行った。

(2) 商工業振興費

商工業振興では、市内中小企業の経営安定化を図るため、小規模事業資金貸付原資の預託等の諸金融政策を実施した。また、市内での創業者や創業初期企業等に対する支援として、創業・経営相談窓口を設置するとともに商工団体が実施した創業セミナーに対して補助を行ったほか、市内中小企業が販路拡大のために行う展示会等への出展に対して補助を行った。

さらに、地域経済の活性化を図るため、中小企業者の経営基盤強化や経営の革新、創業及び事業組合等の活動強化の取組みに対して補助を行ったほか、呼子朝市の活性化に資する取組みとして、朝市学校やマルシェの開催を継続して行った。

また、デジタル技術の活用による生産性向上や新ビジネス創出への取組みを支援する拠点として令和4年7月から設置・運営している唐津市DXイノベーションセンターにおいて、IT企業等とのマッチング業務や、ワークスペースの提供、DX・先進技術に関するセミナーやイベント等を開催することにより市内事業者のDX支援に取り組んだ。また、令和7年10月にはスタートアップ支援を中心とした施設にリニューアルし、新たな価値のビジネスの創出を図ることで、ピッチコンテストの開催規模の拡大にもつながった。

特産品等の販売促進及び地域経済の活性化を図るため、特産品等展示販売施設等の運営及び維持管理を行った。

ブランド推進では、唐津産品の販売促進・販路拡大のため、旬八青果店目黒二丁目店において首都圏での唐津の特産品等の展示販売やプレゼント企画を実施した。また、生産者団体等で構成する各種協議会へ参画し、各団体と協働してPRを実施した。

FANTASTICSとのコラボ事業では、公開記者発表の開催、MV動画の制作やSNSを活用したショート動画の情報発信、デザインマンホールの設置等を行い、唐津市及び唐津産品の認知度向上を図った。

唐津焼産業振興では、伝統的工芸品である唐津焼の認知度を高めるため、唐津焼窯元マップの掲載情報更新及び唐津焼窯元ホームページの保守管理を実施した。また、唐津焼窯元等が唐津焼の魅力発信、認知度向上及び新たな販路開拓に寄与する事業を支援し、唐津焼産業の活性化を図った。

さらに、青果物卸売市場の統合及び機能強化を図るための移転整備に対し補助を行い、集荷力及び販売力の向上並びに安心・安全な青果物の安定供給に寄与した。

企業誘致では、首都圏等への企業訪問や佐賀県が出展する展示会への参加、市内立地企業への定期訪問による情報交換及びフォローアップに加え、IT関連企業を対象としたフォームマーケティング、オンライン面談及び現地視察ツアー等に取り組んだ結果、新たにIT関連企業2社を含む3社と進出（立地）協定を締結した。

企業誘致の基盤となる工業団地の管理を行う土地開発公社に対し借入金利息や維持管理経費を負担することにより、適切な維持管理を行った。このほか、立地した企業の投資及び雇用等の実績などに応じて各種補助金の交付を行った。

コスメティック産業では、コスメティック構想の推進役を担う産学官連携組織（一社）ジャパン・コスメティックセンター（JCC）の事業運営を支援したほか、立地したコスメ関連企業に対し雇用実績等に応じた補助金の交付を行った。また、コスメ原料の産地化及び唐津産コスメ原料を使用した商品化を促進するため、市内でコスメ関連産業の振興に取り組む生産者や事業者を支援し地域経済の活性化および地産コスメの認知度向上を図った。耕作放棄地を活用した原料開発プロジェクトではJCC等との連携により、化粧品原料となるハーブの栽培面積が着実に拡大した。

このほか、物価高騰対策として、市民1人当たり1万円分の商品券を配布するための予算を計上し、事業実施に向けて必要な事務を実施した。

(3) 観光費

宿泊喚起を図るための支援策として、企画旅行商品造成への助成を令和10年まで継続する債務負担行為を設定した。あわせて、宿泊予約サイトを活用した電子クーポンの発行を行い、国内外からの誘客および市内宿泊施設への利用促進を図った。

また、NPO法人唐津・玄海観光交流社が実施する体験型民泊事業や（一社）唐津観光協会が実施する市の補完的事業等に対し補助を行ったほか、市外からの集客が見込める祭りを実施する各種団体に対して補助を行うとともに、臨時案内所の設置や警備員の配置など祭りの受入体制の充実を図ることができた。

さらに、第5回名護屋城大茶会及び九州初開催となる「出張！お城EXPO in 肥前名護屋城」を開催し、全国の歴史・城郭ファンが名護屋城に来訪した。また、お城EXPOや大阪でのお城フェスへの出展、ゆかりの地武将隊の招聘や唐津名護屋城武将隊による歴史寸劇の実施など名護屋城の魅力と知名度の向上、関係交流人口の創出につなげた。

このほか、メディア等による周知拡大につなげることを目的に、人気TVアニメとのコラボキャンペーンをはじめ、囲碁の第51期天元戦第3局の招致、ロケや取材陣を招聘するための助成事業を中心に、唐津ツーリズムコミッション事業の取組みを推進した。

(4) 観光施設管理費

快適で安全な観光地づくりを推進するため、観光施設の適切な維持管理・運営に努めるとともに、修繕等については緊急度などを勘案し優先順位をつけて計画的に実施した。

また、塩害により劣化した海中展望塔の栈橋について、架け替えに向けた概略設計及び健全度調査を行うとともに、当面の安全性を確保するための補修工事を実施し、快適な滞在環境の整備を図った。

このほか、呼子町加部島の観光トイレにおいて、塩害により著しい腐食が認められたことから、夏越祭や節分祭などで田島神社を訪れる観光客の利便性の向上のため、耐塩性に優れたプレハブ型のトイレへ更新・設置した。

事業名	創業・経営力向上支援事業費						執行率 (%)	
予算額 (円)	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	99.5
	6,993,000	0	0	0	6,993,000	6,961,050	対予算現額	99.5
目 的	創業・経営相談窓口を設置し、また、商工団体が実施する創業セミナーを支援することで、創業準備者の創業並びに創業初期企業を始めとする中小企業者の経営力向上や新事業展開等の取組みを支援するもの。							
事業内容及び実績	創業・経営相談窓口の設置 6,661,050円 中小企業診断士を配置し、創業や経営改善、新事業展開等に係る相談に応じたもの。 相談件数 延べ266件（相談者実数67名） ※前年度実績 延べ277件（相談者実数72名） 相談内容 創業相談66件（相談者実数26名）、経営相談200件（相談者実数41名） 対応内訳 相談窓口85件、臨時相談133件、外部専門家派遣27件、成長初期企業等訪問21件 創業支援セミナー等開催事業費補助金 300,000円 事業主体 唐津商工会議所（唐津東商工会、唐津上場商工会との合同実施） 実施概要 5日間で創業に必要な知識を習得するセミナーを開催。受講者43名、修了者40名							
成果等及び達成度	創業相談窓口の相談者から2名、創業セミナーの受講者から4名の創業者が誕生し、市内事業者の創業の取組みに対し下支えを図ることができたほか、商工団体を中心とした支援活動により15名の創業者が誕生し創業者数は目標値（唐津市創業支援等事業計画）の年間24名に対し、計21名で87.5%の達成度となった。							

事業名	中小企業等DX推進事業費						執行率 (%)	
予算額 (円)	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	97.9
	16,149,000	0	0	0	16,149,000	15,816,561	対予算現額	97.9
目 的	デジタル技術の活用による生産性向上や新ビジネス創出への取組みを支援する拠点を設置・運営し、市内事業者のDXの推進を図るもの。							
事業内容及び実績	事業内容 中小企業等DX推進事業の運営企画及び管理業務 15,089,580円 施設占有部分電気料負担金ほか 726,981円 事業実績 DXセミナー及び研修実施回数 4回 DXイノベーションセンター会員増加数 70者 サポーティング企業登録社数 4社（累計 78社） ワークスペース利用者数 116人 相談件数 12件 DXに着手した件数 12件（累計83件） 成功事例件数 6件（業種内訳 宿泊業3件、卸小売3件）							
成果等及び達成度	令和7年度は実施期間が9月までの6か月間として前年度の半分であったものの、DXに着手した件数は目標9件に対し実績12件、成功事例創出件数は目標4件に対し実績6件となり、いずれも目標を達成した。 また、期間を考慮すると前年度以上の成果を上げており、限られた期間の中でも着実にDX推進の取組みを進めることができた。							

事業名	中小企業等活性化支援事業補助金						執行率（％）	
予算額 （円）	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	97.4
	25,500,000	0	0	0	25,500,000	24,830,000	対予算現額	97.4
目 的	中小企業者の経営基盤強化や経営の革新、創業及び事業組合等の活動強化の取組みを支援するもの。							
事業内容 及び実績	経営力強化分							
	通常枠（補助率1/3、限度額1,000千円）				1件	348,000円		
	DX枠（補助率1/2、限度額1,500千円）				15件	10,457,000円		
	GX枠（補助率1/2、限度額1,500千円）				7件	5,554,000円		
	創業支援分							
	一般創業（補助率1/3、限度額500千円）				6件	1,480,000円		
	一般創業空き店舗活用（補助率1/3、限度額1,000千円）				4件	2,599,000円		
	移住創業（補助率1/2、限度額1,000千円）				2件	1,688,000円		
	移住創業空き店舗活用（補助率1/2、限度額1,500千円）				0件	0円		
	事業組合等活動強化支援分（補助率1/2、限度額1,000千円 ）				4件	2,704,000円		
補助金合計				39件	24,830,000円			
成果等 及び 達成度	目標値として経営力強化分17件、創業支援分14件、事業組合等活動強化支援分6件の合計37件に対し、39件の採択で約105％の達成度となった。主な内訳として、経営力強化分で23件を採択し、生産性の向上や経営基盤の強化に寄与したほか、創業支援分では12件の採択により、新規創業者への支援を行うとともに空き店舗の活用などによる地域商業の活性化を図った。							

事業名	唐津産品販路拡大推進事業費						執行率（％）	
予算額 （円）	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	103.1
	9,292,000	0	0	295,790	9,587,790	9,576,451	対予算現額	99.9
目 的	唐津産品の魅力を発信し、訴求力を高めることで、販売促進並びに販路拡大につなげるもの。							
事業内容 及び実績	旬八青果店目黒二丁目店での販売促進						3,600,000円	
	唐津玄海地区農畜産物ブランド確立協議会ほか2団体への負担金						5,373,000円	
	事務費ほか						603,451円	
成果等 及び 達成度	旬八青果店目黒二丁目店において唐津産品の展示販売やプレゼント企画などのイベントを実施し、首都圏における唐津産品の魅力発信及び販売促進に取り組んだ。令和7年度は市内18事業者（前年度18事業者）から404品目（前年度400品目）を仕入れ、仕入額は11,556千円（前年度11,220千円）となった。 マーケティングの結果を踏まえ、売れ筋の品目を絞ることでリピーターや仕入額が増加し、首都圏における唐津産品の認知度向上及び販売促進につながった。 このほか、各種協議会への負担金支出を通じて唐津産農畜水産物の販売促進や販路拡大に寄与した。							

事業名	唐津焼産業振興事業費						執行率 (%)	
予算額 (円)	当初予算額	6月補正予算額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対6月補正後 予算額	66.1
	1,430,000	1,000,000	0	0	2,430,000	1,606,540	対予算現額	66.1
目 的	伝統的工芸品である唐津焼の伝統技術の継承と唐津焼産業を活性化させるため、各種協議会と連携を強化し、唐津焼の魅力発信並びに販路拡大を推進するもの。							
事業内容及び実績	唐津焼マップ掲載情報更新、窯元ホームページ保守管理 459,540円 肥前窯業圏活性化推進協議会ほか2団体へ負担金 370,000円 唐津焼産業振興事業補助金 777,000円 唐津焼窯元単独での出展に対する補助 9件 493,000円 複数の唐津焼窯元での出展に対する補助 3件 284,000円							
成果等及び達成度	唐津焼マップの掲載情報更新及び窯元ホームページの保守管理により、唐津焼に関する情報を整理して周知することができた。 また、肥前窯業圏活性化推進協議会と連携し、県外の陶磁器イベントで「肥前やきもの圏」のPRブース運営や「肥前やきもの圏ドライブスタンプラリー」を実施し、唐津焼の認知度向上及び販路拡大に寄与した。 さらに、唐津焼窯元等が行う唐津焼の魅力発信、認知度向上及び新たな販路開拓に寄与する事業を支援し、唐津焼産業の活性化及び販路拡大につなげることができた。							

事業名	企業誘致推進費						執行率 (%)	
予算額 (円)	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	93.6
	5,636,000	0	0	0	5,636,000	5,272,811	対予算現額	93.6
目 的	市内への企業の立地を促進し、雇用の創出及び地域経済の活性化を図るため、誘致活動を実施するもの。							
事業内容及び実績	企業訪問等による情報収集・発信、フォローアップ活動 1,697,396円 企業訪問件数73件、電話・来庁等14件、Web会議18件、現地視察来訪10件 IT関連企業誘致推進業務 3,183,400円 フォームマーケティング3,001社、Web面談11社（うち現地視察ツアー参加4社） 事務費ほか 392,015円							
成果等及び達成度	当年度内に、進出・立地協定3件を締結することができ、平成17年以降の累計は51件となった。 (株)アイエスゲート 5月1日事業所新設に係る進出協定締結（投資予定3,000万円、雇用予定4人） (株)IPT 8月19日事業所新設に係る進出協定締結（投資予定100万円、雇用予定10人） 佐賀酒類販売(株) 3月31日事業所増設に係る立地協定締結（投資予定13億5,400万円、雇用予定4人）							

事業名	企業立地促進補助金						執行率（％）	
予算額 （円）	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	35.6
	41,982,000	0	△ 21,737,000	△ 1,011,207	19,233,793	14,962,069	対予算現額	77.8
目 的	本市に立地した企業に対し、雇用及び投資等の実績に応じて、補助金を交付するもの。							
事業内容 及び実績	唐津市企業立地促進特区指定に係る奨励に関する条例に基づく奨励措置 2,994,517円							
	企業名	交付金額（円）	補助金内訳（円）					
	本州印刷(株)	116,569	水道料金補助金（3年目） 116,569					
	ニシハツ(株)	2,877,948	雇用奨励金（対象人数5人） 2,500,000					
			水道料金補助金（1年目） 377,948					
	唐津市企業立地促進条例に基づく奨励措置 11,967,552円							
	企業名	交付金額（円）	補助金内訳（円）					
	(株)ブルーム	121,152	利子補給金（6年目） 121,152					
	(有)ルズ	308,600	立地奨励金（3年目） 308,600					
	(同)プラスチック リサイクル	4,187,100	立地奨励金（3年目） 3,187,100					
			利子補給金（3年目） 1,000,000					
	天生水産(株)	1,321,800	立地奨励金（3年目） 1,321,800					
	(有)河太郎	156,800	立地奨励金（2年目） 156,800					
	いきや食品(株)	5,872,100	立地奨励金（1年目） 872,100					
			雇用奨励金（対象人数8人） 4,000,000					
			利子補給金（1年目） 1,000,000					
成果等 及び 達成度	立地企業の雇用及び投資の実績に応じた補助金交付により、安定した企業経営と雇用等に向けて支援することができた。 唐津市企業立地促進特区指定に係る奨励に関する条例に基づく奨励措置対象企業2社の投資額は、87億3,364万円、新規地元雇用者は111人、唐津市企業立地促進条例に基づく奨励措置対象企業6社の投資額は17億6,356万円、新規地元雇用者は54人であった。（数字は各社協定締結以降の累計）							

事業名	コスメティック産業推進事業費						執行率 (%)	
予算額 (円)	当初予算額	6月補正予算額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対6月補正後 予算額	71.7
	40,863,000	12,150,000	△ 13,505,000	0	39,508,000	38,011,771	対予算現額	96.2
目 的	美容健康関連産業の市内集積及び地場産業との連携により、唐津コスメブランドの確立を図り、雇用の創出並びに地域の産業振興と経済活性化につなげるもの。							
事業内容及び実績	JCCへの運営負担金 14,000,000円 地産コスメ原料の産地化支援、コスメ関連企業の立地活動支援、輸出支援による国際取引拡大等 認定した立地企業へのコスメティック産業集積促進補助金 20,901,000円 R2年度認定事業者 2社 本州印刷(株) 8,386,000円、(有)ルズ 15,000円 R6年度認定事業者 1社 (株)ACRO 12,500,000円 コスメティック関連産業振興促進事業補助金 724,000円 原料栽培促進事業 2件 (株)クレコス 21,000円、ファーム八床 235,000円 商品化促進事業 2件 (株)クレコス 206,000円、YOKO・JAPAN(株) 262,000円 事務費ほか 2,386,771円							
成果等及び達成度	JCCへの運営支援を行い、コスメティック構想の円滑な遂行を図ることができた。コスメティック産業集積促進補助金では、認定した立地企業3社に対し、補助対象期間内の雇用実績等に基づき補助金を交付し地域経済の活性化を推進した。コスメティック関連産業振興促進事業補助金では、コスメ原料の栽培や唐津産原料を使用した商品化に取り組む生産者や事業者を支援し、栽培面積の拡大と地産コスメの商品数増加につながった。これにより地元農林水産物を使用したコスメティック原料素材の商品化数は第3次総合計画の令和11年度の最終目標値の180件に対し159件となり88%の達成度、また、地元農林水産物を使用してコスメティック原料素材を商品化した市内企業数は、令和11年度の最終目標値25件に対し9件となり36%の達成度となった。							

事業名	からつスタートアップ創出事業費						執行率（％）	
予算額 （円）	当初予算額	6月補正予算額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対6月補正後 予算額	99.7
	0	23,710,000	0	0	23,710,000	23,650,011	対予算現額	99.7
目 的	雇用の創出、イノベーションの促進、社会課題の解決を行うためスタートアップコミュニティを形成し、新たな価値のビジネスの創出を図るもの。							
事業内容及び実績	事業内容	からつスタートアップ創出事業の運営企画及び管理業務						22,920,645円
		施設占有部分電気料負担金ほか						729,366円
	事業実績	DXイノベーションセンター会員増加数						157者（スタートアップ会員115者、DX会員42者）
		イベント・セミナー実施回数						21回（参加者数 延べ243名）※ピッチコンテスト除く
		スタートアップ相談件数						133件
		DX相談件数						12件
		ワークスペース利用者数						130人
		コミュニティスペース利用者数						246人
		ピッチコンテスト						1回（応募31者、登壇12者）
成果等 及び 達成度	唐津市DXイノベーションセンターの業務内容を令和7年10月にリニューアルし、スタートアップ支援を中心に実施した。新規会員157者を獲得するとともに、スタートアップ相談133件、DX相談12件に対応した。また、イベントを21回開催し延べ243名が参加したほか、ピッチコンテストには31者の応募があるなど、起業・新事業創出に向けた支援機会の提供及びコミュニティ形成を図ることができた。会員獲得や相談支援、イベント開催を通じて、今後の事業創出につながる基盤づくりを進めることができた。							

事業名	カラツFANプロジェクト推進事業費						執行率（％）	
予算額 （円）	当初予算額	6月補正予算額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対6月補正後 予算額	100.0
	0	40,000,000	0	0	40,000,000	39,999,300	対予算現額	100.0
目 的	アーティストを起用し、シティプロモーション及び唐津産品等の魅力発信を行い、唐津ファンの拡大を図るもの。							
事業内容及び実績	カラツFANプロジェクト推進事業 FANTASTICSとのコラボレーションにより、唐津市の魅力や唐津産品を発信するプロモーション事業を実施した。ファン応募型の公開記者発表の実施（参加者350名）、ポスター掲示などによる事業の周知、デザインマンホールの設置（2箇所）、MV動画の制作・配信（1本、4.5万再生）、唐津産品等魅力発信動画の制作・配信（4本、37.6万再生）、唐津産品を使用したコラボメニューの開発等を実施した。							
成果等 及び 達成度	FANTASTICSとのコラボレーションにより、若年層を中心とした新たなターゲット層への情報発信を実施した。MV動画及び関連動画の総再生回数は40万回を超え、唐津産品や地域資源の魅力を全国に広く発信することができた。SNS等においても話題化が図られ、これにより唐津ファンの拡大及び製品の認知度向上に寄与した。							

事業名	青果市場移転整備事業補助金（繰越明許分）						執行率（％）	
予算額 （円）	繰越予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対繰越予算額	91.2
	12,713,000	—	—	—	12,713,000	11,600,000		
目 的	青果物卸売市場の統合及び機能強化を図るための移転整備に対し補助するもの。							
事業内容及び実績	事業主体 株式会社唐津中央青果市場 整備場所 山本字柴尾口 整備内容 荷受搬出施設上屋増築工事、セリ場整備工事、事務所新築工事 対象経費 116,000,000円 補助金額 11,600,000円（補助率1/10） 営業開始 令和7年10月2日							
成果等及び達成度	唐津中央青果市場と唐津青果は、施設の老朽化や密閉性の不備などといった課題があったが、2つの市場の統合及び新たな場所への移転整備に対し補助を行ったことで集荷力及び販売力の向上並びに安心・安全な青果物の安定供給に寄与した。 また、施設整備を通じて地域内外への迅速かつ安定した流通が可能となり、生産者の販路拡大が図られた。							

事業名	観光地域づくり事業費						執行率（％）	
予算額 （円）	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	89.2
	68,995,000	0	△ 7,463,000	0	61,532,000	61,520,158	対予算現額	100.0
目 的	周遊促進と滞在時間の延長につなげるため、地域資源の活用事業及び集客拠点の形成事業を通して観光客の受入体制等の充実を図るもの。							
事業内容及び実績	観光資源を活用した観光商品づくり 13,970,158円 体験型民泊事業への補助 民泊 3,963人（前年比65.1％）、体験プログラム 3,220人（前年比109.5％） 観光イベントへの助成ほか 観光案内所運営事業 47,550,000円 唐津駅観光案内所等業務、鎮西町観光案内業務、名護屋城跡観光案内業務、呼子町観光案内業務 延べ利用者数 40,121人（前年比91.5％）							
成果等及び達成度	Webや電話での問合せに加え、現地での観光案内にも対応するため、市内の主要なスポットに観光案内所を設置し、SNS等での情報発信や対面での観光案内を行うなど観光客の受入環境の充実につなげた。 また、体験型民泊の受入数は前年を下回ったものの、体験プログラムの利用者数は増加しており、観光客の多様なニーズへの対応につながった。引き続き、地域資源を活用した事業の充実を図るとともに、観光客の快適な滞在環境の整備に取り組み、受入体制のさらなる充実を図りたい。							

事業名	観光市場開拓事業費						執行率 (%)	
予算額 (円)	当初予算額	6月補正予算額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対6月補正後 予算額	86.1
	8,917,000	3,350,000	0	0	12,267,000	10,566,007	対予算現額	86.1
目 的	国内外からの誘客を図るため、商談会等を通して旅行商品の造成を促すもの。							
事業内容及び実績	国内市場開拓事業 7,455,015円 九州観光コンテンツ商談会 GPS位置情報システムによるデータ分析、プレゼン用タブレット通信回線利用料ほか 国外市場開拓事業 3,110,992円 台湾における商談会・BtoCイベント及び韓国における観光説明会・商談会への参加 オーストラリア市場向けプロモーションの実施 九州インバウンド観光説明会・商談会への参加							
成果等及び達成度	九州観光機構や佐賀県観光連盟と連携を図りながら、国内外からの誘客につなげるため、旅行会社向けの観光説明会や商談会へ10回参加した。 旅行会社69社と商談等を行った結果、41プランの旅行商品造成につなげることができた。 また、課題としていた欧米豪からの誘客対策として、オーストラリア市場を対象としたプロモーション業務に取り組んだ結果、6プランの旅行商品造成につながり、欧米豪市場からの誘客拡大に向けた基盤形成を図ることができた。							

事業名	メディア活用推進費						執行率 (%)	
予算額 (円)	当初予算額	6月補正予算額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対6月補正後 予算額	95.4
	24,039,000	16,419,000	0	0	40,458,000	38,610,989	対予算現額	95.4
目 的	メディアを通じた広告宣伝やプロモーションに取り組むとともに、唐津ツーリズムコミッションを推進し、唐津の認知度向上と人の流れの創出につなげるもの。							
事業内容 及び実績	プロモーション及び広告宣伝等 18,234,340円 片田舎のおっさん、剣聖になる×唐津市コラボキャンペーン(参加者400名、サイトアクセス数12,269回) デジタルサイネージ広告(45日、2,880回)ほか 観光カード及びアニメを活用した周遊キャンペーン 13,462,350円 観光カードの作成(44種、197,000枚) ゾンビランドサガコラボキャンペーン(延べ参加者27,711名) 第51期天元戦第3局開催 2,427,672円 大盤解説会(参加者約70名)、指導碁(参加者16名)日本棋院公式YouTube配信(視聴回数4.4万回) コスプレイベントを活用したプロモーション 2,200,000円 コスプレイベントacosta!@九州花火大会(来場者数378名) 唐津ツーリズムコミッションの推進 2,286,627円 申請数10件(ロケ撮影6件、視察4件)、延べ宿泊数251泊							
成果等 及び 達成度	TVアニメ「片田舎のおっさん、剣聖になる」、「ゾンビランドサガ」といった人気コンテンツとのコラボキャンペーンや観光カードの作成を実施し、市内周遊促進を図った。 また、囲碁のタイトル戦である第51期天元戦第3局の開催や、コスプレイベントの実施を契機としたプロモーション展開により、本市の認知度向上を図った。さらに、ロケ・取材等の助成では、10件に助成を行い、市内宿泊251泊の創出につなげるとともに、映画1件、番組1件の放映がなされるなど情報発信の面での副次的な効果を得た。							

事業名	宿泊促進事業費						執行率（％）	
予算額 （円）	当初予算額	6月補正予算額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対6月補正後 予算額	97.8
	21, 223, 000	19, 050, 000	0	0	40, 273, 000	39, 401, 190	対予算現額	97.8
目 的	宿泊予約サイトでの電子クーポン発行や旅行会社等への助成による旅行商品造成を促し、宿泊促進を図るもの。							
事業内容 及び実績	電子クーポン発行事業						15, 611, 000円	
	宿泊予約サイトに唐津の特設ページを開設し、市内宿泊施設で利用できる電子クーポンを発行 発行期間 令和7年12月1日から令和8年2月27日まで							
	クーポン額面			発行枚数	延べ宿泊数	流通額（宿泊費）		
	1, 500円（1名以上かつ1万円以上の予約の場合）			1, 216枚	2, 728泊	29, 424, 811円		
	3, 000円（2名以上かつ2万円以上の予約の場合）			1, 949枚	5, 622泊	100, 739, 837円		
	合計			3, 165枚	8, 350泊	130, 164, 648円		
	旅行商品の造成促進事業						17, 275, 190円	
	実施期間 令和7年4月1日から令和8年3月31日まで 募集型・受注型企画商品を造成した旅行会社の送客実績に応じた助成							
	助成概要		商品数	助成額	宿泊数	宿泊換算額		
	送客1人泊当たり1, 500円 かつ交通費の半額（上限15万円） 1企画商品上限30万円（6, 000人泊分）		84商品	13, 985, 690円	6, 388泊	92, 178, 840円		
	スポーツ・文化合宿等の助成							
	助成概要		件数	助成額	宿泊数	宿泊換算額		
1人泊当たり1, 500円 1申請上限30万円（2, 000人泊分）		45件	3, 289, 500	2, 363泊	34, 098, 090円			
諸経費						6, 515, 000円		
成果等 及び 達成度	電子クーポン3, 165枚を発行し、目標とする5, 000泊の1. 67倍となる8, 350泊の宿泊促進が図られ、事業費の約8. 3倍となる流通額（宿泊費）の創出につながった。 また、旅行会社等への助成を行い、目標とする旅行商品50プランの1. 68倍となる84プランが造成されたほか、合宿等の助成を45件利用されるなど、8, 751泊の市内宿泊につながった。 電子クーポン発行事業と旅行商品の造成促進事業の成果として、事業目標とする13, 000泊の約1. 32倍となる17, 101泊の市内宿泊につながったとともに、本市の特設サイトの開設や旅行商品を掲載したパンフレットなどの掲出によって、旅行志向者へ旅先として選んでもらうための情報発信効果も得られた。 結果として、唐津市観光地経営戦略プランに掲げる令和7年目標値50万泊の94. 5%の達成に寄与した。							

事業名	(一社) 唐津観光協会補助金						執行率 (%)	
予算額 (円)	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	100.0
	12,730,000	0	0	0	12,730,000	12,730,000	対予算現額	100.0
目 的	(一社) 唐津観光協会が実施する市の補完的事業及び観光関連団体(事業者)等との連携強化を図るための組織運営に対し補助するもの。							
事業内容及び実績	観光地魅力アップ事業							3,813,000円
	見帰りの滝を美しくする事業							874,000円
	呼子町並み賑わいづくり整備							742,000円
	唐津焼窯元ツーリズムほか							1,537,000円
	名護屋城跡さくらと陣跡ウォーク							660,000円
	事務局管理費							8,917,000円
成果等及び達成度	観光協会では、市の補完的事業を中心に、観光客の滞在環境の充実に寄与する取組みを実施されたことで本市を訪れた観光客の受入体制の充実につながった。また、地域ごとの観光資源を活用した集客促進事業にも取り組まれたことにより、観光協会に加盟する311人(令和8年3月31日現在)の会員をはじめ、地域や観光関係団体等とのさらなる連携強化につながった。							

事業名	肥前名護屋城活用推進費						執行率 (%)	
予算額 (円)	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	90.7
	26,242,000	0	△ 2,000,000	0	24,242,000	23,796,942	対予算現額	98.2
目 的	名護屋城跡並陣跡をより一層魅力的な文化・観光資源の拠点として活用し、関連する地域の歴史・文化・祭りを通して、関係交流人口の創出と拡大を図るもの。							
事業内容及び実績	第5回名護屋城大茶会×出張！お城 EXP0 in 肥前名護屋城 16,737,267円 開催日 令和7年11月23日、24日 来場者数 約28,000人 唐津名護屋城武将隊事業 1,490,600円 出演場所 名護屋城博物館、唐津城、呼子大綱引、茶苑「海月」 計7回 はじまりの呼子大綱引 568,700円 開催日 令和7年6月7日、8日 ゆかりの地武将隊 2組招聘 (熊本市、岐阜県関ケ原町) プロモーション及び情報発信 4,670,375円 九州LOVE Walker 秋号による誌面掲載 (発行部数50,000部) 第5回名護屋城大茶会×出張！お城 EXP0 in 肥前名護屋城イベント告知 お城フェス (大阪／来場者 7,387人)、お城EXP02025 (横浜／来場者 23,017人) ブース出展 ノベルティ等の製作 330,000円 肥前名護屋城PR用御膳敷紙製作 30,000枚							
成果等及び達成度	佐賀県と連携し、第5回名護屋城大茶会と九州初開催となる出張！お城 EXP0 in 肥前名護屋城を開催した。2日間で約28,000人が来場するなど、名護屋城の歴史的価値や規模感を体感できる機会を創出したことで、来訪満足度が高く、関係交流人口の創出につながる成果が確認できた。 これに加え、横浜でのお城EXP0や大阪お城フェスへの出展、雑誌掲載やテレビ告知を通じて全国の歴史・城郭ファン層への情報発信を継続して実施し、名護屋城の認知度向上につなげることができた。 また、呼子大綱引におけるゆかりの地武将隊の招聘や唐津名護屋城武将隊による歴史寸劇の実施など地域資源を活用した取組みに加え、名護屋城大茶会において開催したマルシェでは、武将ゆかりの「戦国鍋」やスイーツ、特産品など歴史をテーマとした演出を行い、歴史・文化資源を活用した魅力発信を図った。これらの取組みにより、名護屋城への令和7年度の来訪者数は81,339人となり、前年度72,186人を上回る成果を上げることができた。 一方で、来訪者数の増加を地域内での消費や周遊などにつなげることが課題であることから、地域団体や事業者との連携を深め、地域全体の魅力向上と持続的な来訪促進につながる取組みを進めていく必要がある。							

事業名	新唐津市民会館（仮称）開館準備費						執行率（％）	
予算額 （円）	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	91.4
	6,844,000	0	0	0	6,844,000	6,252,280	対予算現額	91.4
目 的	新唐津市民会館（仮称）の施設運営及び市民会館事業の円滑な立ち上げに向けた準備を進めるもの。							
事業内容 及び実績	実施内容 新唐津市民会館（仮称）事業企画アドバイザー業務						5,241,600円	
	事業検討に係る視察費						696,110円	
	カラー複合機賃借料						175,000円	
	グランドピアノ検討委員会委員謝金（2回分）、舞台技術に係る相談謝金						91,000円	
	公益財団法人全国公立文化施設協会準会員年会費						28,000円	
	消耗品費						20,570円	
成果等 及び 達成度	事業企画アドバイザー業務を委託し、開館記念事業や主催事業に係る企画を検討するとともに、開館準備に関する助言を受けた。事業企画にあたっては、文化庁や関連団体等の助成事業の情報収集を行うとともに、市内外の文化団体とのヒアリングを通じた新しい市民会館の利用ニーズの把握に努めた。 この他には、独自の事業を展開している直営の公立文化施設を視察し、各事業に要する経費や直営による事業実施手法を把握した。							

8 土 木 費

(1) 道路橋りょう費

道路整備では、国の補助事業である社会資本整備総合交付金等を財源に、道路の改良・舗装補修や法面対策及び橋りょうの調査設計や補修を実施した。

また、通学路合同点検の結果に基づき、通学路の安全確保のための対策事業を実施した。

さらに、市民生活に密着した道路等の整備として、市道の街路樹剪定や草刈り、側溝の清掃をはじめ、地元が実施する防犯灯の設置等に対する補助金を交付するなど生活基盤の整備を図った。

交通安全対策では、交通安全のより一層の推進を図るため、交通安全思想の啓発と高揚に努めるとともに、交通安全対策特別交付金事業として、反射鏡、防護柵及びその他交通安全施設の整備を行い事故等の未然防止に努めた。

(2) 河川費

河川の水閘門の操作管理等を地元へ委託し適切な運転に努めたほか、排水ポンプ場の管理点検を実施するとともに、排水路の不良箇所の整備を行った。

排水路整備事業では、崩壊の恐れのある護岸の改修工事を行うとともに、河川断面を確保することにより、住民生活の安定を図った。

河川維持費については、河川内に堆積している土砂及び草木等の除去を行うことにより、流下能力の保持に努め、住民生活の安定を図った。

また、急傾斜地崩壊防止事業では、崩壊の危険がある箇所で工事を施工し災害の防止を図り、隣接する住民生活の安全確保に努めた。

(3) 港湾費

港湾の振興と活性化を図るため、佐賀県唐津港利用促進協議会と連携して、クルーズ船の受入れを行うとともに、船舶代理店や外国船社等に対するポートセールスを実施した。さらには、国や佐賀県との連絡調整や情報交換等を行い、唐津港及び呼子港の整備促進を図った。

市民参加によるみなとまちづくりや「みなとオアシス」を中心とした港の賑わいづくりを推進するため、海辺の資源を活用した賑わいづくりを担う団体への支援を行った。

利用者の安全確保と利便性向上を図るため、唐津港、呼子港、星賀港及び仮屋港の港湾施設並びに呼子台場みなとプラザの維持管理を行った。また、呼子台場みなとプラザのトイレを洋式化し、Wi-Fiを設置することで、観光客の利便性向上を図った。

また、唐津みなと交流センターや臨港駐車場（呼子）については、サービス向上と効率的な施設運営を図るため、指定管理者による管理運営を行った。

(4) 都市計画費

市道明神線を含む城内地区の良好な景観形成を図るため、舗装改良を行った。

市内298箇所の児童公園、児童遊園、都市緑地等の安全で快適な利用を図るため、公園施設の更新、既存公園の維持管理などを行った。玄海国定公園（鏡山・七ツ釜）は、県からの委託を受けて維持管理を行った。

緑花推進費では、「街に緑を窓辺に花を」をキャッチフレーズに緑豊かで快適な花いっぱいのもちづくりのため、緑花を推進した。

また、松浦河畔公園の再整備に向け、運動施設等の実施設計を実施し、さらに設計をもとに電気設備工事を行った。

(5) 住宅費

市営住宅の管理については、随時、施設改善・補修等を行い、適正な維持管理に努めた。

また、老朽化が著しい危険な住宅の解体工事等を行い、住環境の改善と安全性の確保に努めた。

住宅の耐震化促進のため、診断業者の派遣事業や耐震改修費の補助を実施し、耐震性が不十分な住宅の解消を図った。

また、耐用年数を超過した北波多地区の住宅の集約と建替えを行うため、作成した基本構想をもとに建設予定地の測量業務を実施し、入居者の利便性向上に努めた。

(6) 都市下水路費

公共下水道事業認可区域内外に位置する雨水幹線及び都市下水路において、流下能力を低下させる堆積土砂の浚渫や支障木伐採を実施し、施設の機能維持と防災機能の強化を図った。

事業名	道路照明管理費、同（繰越明許分）						執行率（％）	
予算額 （円）	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	95.4
	130,300,000	0	0	0	130,300,000	124,319,171	対予算現額	95.4
	繰越予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対繰越予算額	99.9
	12,265,000	—	—	—	12,265,000	12,254,000		
目 的	市民の安全・安心なくらしを守るため、道路照明灯の維持管理やLED化、各地区が設置する防犯灯に対する補助を実施し、明るいまちづくりの構築を図るもの。							
事業内容及び実績	事業内容（現年度分） 道路照明灯取替工事（1,236基）73,385,015円 防犯灯設置補助金（117基）4,030,600円 電気料43,106,114円 道路照明灯修繕等3,797,442円 事業内容（繰越明許分） 道路照明灯取替工事（46基）12,254,000円							
成果等及び達成度	照明灯の適切な維持管理により、周囲の安全性を確保した。また、既存照明灯のLED化を進め、消費電力の低減等、長期的な視点でコストの抑制を図ることができた。令和7年度においては繰越分も含め1,282基の照明灯をLED化したことで、9,209基のうち6,876基が整備完了となり、達成度は74.67%となった。							

事業名東町和多田線道路改良費、同（繰越明許分）							執行率（％）	
予算額 （円）	当初予算額	6月補正予算額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対6月補正後 予算額	35.0
	0	105,000,000	0	0	105,000,000	36,790,600	対予算現額	35.0
	繰越予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対繰越予算額	97.6
	40,593,000	—	—	—	40,593,000	39,629,700		
目 的	本路線の沿道には外町小学校や第五中学校があり通学路として指定されているが、歩道の幅員が狭いうえ、歩車道の段差が大きく歩道内乗入れ箇所の勾配が急であるため、通行に支障をきたしている状況である。そのため歩道の幅員を広げ歩車道の段差を解消することで、児童等歩行者の安全確保を図るもの。							
事業内容及び実績	事業年度 平成30年度から令和8年度まで 全体計画延長 L＝800.0m 事業内容（現年度分） 歩道改良工事 L＝107.3m 36,790,600円 事業内容（繰越明許分） 歩道改良工事 L＝79.0m 側溝蓋改良工事 L＝26.7m 感知器移設 防護柵設置工事 L＝59.0m 道路付属物（点字タイル）設置工事 L＝48.6m 39,629,700円							
成果等 及び 達成度	令和7年度は延長186.3mの歩道拡幅改良や延長26.7mの側溝蓋改良等を実施し、全体計画延長800.0mのうち約542.0mの整備が完了した。なお、歩道部整備と店舗営業との調整に不測の期間を要したため、68,209,000円を令和8年度に繰り越した。							

事業名	東山本十三号線道路改良費						執行率 (%)	
予算額 (円)	当初予算額	6月及び3月 補正予算額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対6月及び3月 補正後予算額	28.4
	0	17,794,000	0	0	17,794,000	5,055,800	対予算現額	28.4
目 的	本路線は、国道203号及びJR唐津線・筑肥線山本駅に沿った山本荘苑地区のくらしに密着した生活道路であるが、車両同士の往来が困難な状況が発生するなど有事の際の円滑な通行に支障をきたしているため、道路整備を行い車両の交互通行を可能にすることで、安全な通行を確保し交通の円滑化を図るもの。							
事業内容及び実績	事業年度 令和7年度から令和8年度まで 全体計画延長 L=116.0m 事業内容 道路改良工事 L=48.0m 側溝蓋改良工事 L=8.0m 2,409,000円 用地測量 用地取得 2,646,800円							
成果等及び達成度	令和7年度は用地測量及び用地取得、また、道路改良工事48.0m、側溝蓋改良工事8.0mを実施した。 なお、令和7年度国の追加補正の内示があったため、12,664,000円を令和8年度に繰り越した。							

事業名	岩屋本山線道路改良費、同（繰越明許分）						執行率（％）	
予算額 （円）	当初予算額	6月補正予算額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対6月補正後 予算額	30.8
	0	41,940,000	0	0	41,940,000	12,931,800	対予算現額	30.8
	繰越予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対繰越予算額	100.0
	9,346,000	—	—	—	9,346,000	9,346,000		
目 的	本路線は、厳木小中学校と岩屋地区を結ぶ通学路として利用されている。歩道は1級河川厳木川に張り出して設置されているが、張出部の下部石積が空洞化など劣化していることから、段差の発生や崩落の危険性がある。道路改良工事を行うことにより、安全な歩行空間の確保を行い、児童生徒の通学の安全を確保するもの。							
事業内容及び実績	事業年度 令和4年度から令和8年度まで 全体計画延長 L＝260.0m 事業内容（現年度分） 道路改良工事（舗装、付属物、防護柵等） 12,931,800円 事業内容（繰越明許分） 道路改良工事（側溝、舗装、縁石等） L＝80.0m 転落防護柵工 L＝37.0m 9,346,000円							
成果等 及び 達成度	令和7年度は延長80.0mの道路改良を実施し、全体計画延長260.0mのうち80.0mの整備が完了した。 なお、現地の既設水路の暗渠化の調査に不測の期間を要したため、28,986,000円を令和8年度に繰り越した。							

事業名	天徳の丘公園 2 号線道路改良費、同（繰越明許分）						執行率（％）	
予算額 （円）	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	61. 6
	42, 259, 000	0	0	△ 2, 563, 410	39, 695, 590	26, 014, 793	対予算現額	65. 5
	繰越予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対繰越予算額	98. 8
	140, 484, 000	—	—	—	140, 484, 000	138, 792, 000		
目 的	本路線の沿道には、相知天徳の丘運動公園のほか相知小中学校があり、通学路として指定されているが、小学校から市道相知中央線までの区間は歩道が未整備であり車道幅員は狭あいであるため、歩道の整備及び車道の拡幅改良を実施することにより、児童生徒の安全を確保し周辺地区の振興を図るもの。							
事業内容及び実績	事業年度 平成23年度から令和8年度まで 全体計画延長 L＝128. 0m 事業内容（現年度分） 道路改良工事 L＝44. 4m 26, 014, 793円 踏切道改良工事等負担金（排水管布設） 事業内容（繰越明許分） 歩道改良工事 L＝20. 0m 138, 792, 000円 踏切道改良工事等負担金（排水管布設、踏切道改良） 用地取得							
成果等及び達成度	令和7年度は道路改良（歩道設置・側溝設置）を実施し、全体計画延長128. 0mのうち延長103. 0mの整備が完了した。なお、市道と踏切の取付についての協議及び踏切道改良工事に不測の期間を要したため、13, 680, 000円を令和8年度に繰り越した。							

事業名	下牟田部線道路改良費、同（繰越明許分）						執行率（％）	
予算額 （円）	当初予算額	6月及び3月 補正予算額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対6月及び3月 補正後予算額	38.9
	108,125,000	72,415,000	0	2,563,410	183,103,410	70,252,212	対予算現額	38.4
	繰越予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対繰越予算額	99.8
	26,826,000	—	—	—	26,826,000	26,770,000		
目 的	国道203号と踏切が近接し車両の待機場所がなく、横断時の一時停止時や列車通過の際に立ち往生による交通事故がたびたび発生しているため、本路線の拡幅改良に加え国道側の待機場所確保とあわせて踏切の接続・改良を行うことで、交通の円滑化及び安全確保を図るもの。							
事業内容及び実績	事業年度 平成29年度から令和10年度まで 全体計画延長 L＝290.0m 事業内容（現年度分） 道路改良工事 L＝71.0m 電柱移設 70,252,212円 事業内容（繰越明許分） 水路工事 L＝28.7m 電柱移設 26,770,000円							
成果等 及び 達成度	令和7年度は市道部の道路改良を実施し、全体計画延長290.0mのうち延長71.0mの整備が完了した。 なお、国道203号に点在する電柱の移設に不測の日数を要し、また令和7年度国の追加補正の内示があったため、112,843,000円を令和8年度に繰り越した。							

事業名	停車場帆柱線道路改良費（繰越明許分）						執行率（％）	
予算額 （円）	繰越予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対繰越予算額	96.2
	21,871,000	—	—	—	21,871,000	21,045,000		
目 的	本路線は、県道山本波多津線から古窯の森公園へと続く市道で、近年の度重なる豪雨に伴う法面の浸食により落石が生じるなど危険を及ぼしている。そのため法面对策工事を実施し、安全な通行を確保するもの。							
事業内容及び実績	事業年度 令和5年度から令和7年度まで 全体計画延長 L＝40.0m 事業内容（繰越明許分） 法面对策工事 L＝40.0m A＝201.0㎡ 21,045,000円							
成果等及び達成度	令和7年度は法面对策工事40.0mを実施し、全体計画延長が完了した。本路線の整備が完了したことにより、安全な通行の確保を図ることができた。							

事業名	星賀納所線道路改良費（繰越明許分）						執行率（％）	
予算額 （円）	繰越予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対繰越予算額	96.2
	15,750,000	—	—	—	15,750,000	15,152,500		
目 的	本路線は、肥前町星賀から入野を通り県道納所入野線に接続する市道であるが、法面の劣化が進行し、浮石の崩落が発生しており、通行者にとって危険な状況であるため、法面对策工事を実施することで、通行する歩行者及び車両の安全性を確保するもの。							
事業内容及び実績	事業年度 平成30年度から令和7年度まで 全体計画延長 L＝127.0m							
	事業内容（繰越明許分） 法面对策工事 L＝37.2m A＝148.0㎡						15,152,500円	
成果等 及び 達成度	令和7年度は法面对策工事37.2mを実施し、全体計画延長が完了した。本路線の整備が完了したことにより、安全な通行の確保を図ることができた。							

道路河川管理課

(款) 土木費 (項) 道路橋りょう費 (目) 道路新設改良費							道路河川管理課	
事業名	橋りょう長寿命化事業費、同 (繰越明許分)、同 (事故繰越分)						執行率 (%)	
予算額 (円)	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	50.0
	318,250,000	0	0	△ 800	318,249,200	159,282,902	対予算現額	50.0
	繰越予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対繰越予算額	71.3
	288,684,000	—	—	—	288,684,000	205,973,731		
	事故繰越予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対事故繰越 予算額	99.2
	65,934,000	—	—	—	65,934,000	65,428,000		
目 的	市道橋梁を常時良好な状態に保つために、橋梁長寿命化修繕計画を策定し、従来の事後的な修繕及び架け替えから、予防的な修繕及び計画的な架け替えへの円滑な政策転換を図り、その費用の縮減を図りつつ地域の道路網の安全性の確保を図るもの。							
事業内容及び実績	事業内容 (現年度分)		補修工事	13橋	108,013,500円			
			呼子大橋航路灯取替	1橋	6,292,000円			
			橋梁定期点検 168橋、設計業務	1橋	44,410,300円			
			事務費		567,102円			
	事業内容 (繰越明許分)		補修工事	9橋	165,820,600円			
			橋梁定期点検 6橋、設計業務	1橋	30,103,700円			
			物件移転補償費	1橋	10,049,431円			
	事業内容 (事故繰越分)		架替工事	1橋	65,428,000円			
成果等 及び 達成度	損傷が著しく、通行に危険を伴う橋梁の補修工事を行うことで地域道路網の安全性を確保できた。また、補修工事を行うことで橋梁を延命させ、当面の架替費用を軽減し、将来的に必要となる架替工事を含めた維持管理費用の平準化を図ることができた。今回3巡目となる定期点検についても、前回5年前の状況に比べ、劣化が進行している橋梁を確認することができ、今後の対応を検討する資料を収集することができた。令和7年度は17橋の修繕が完了し、現在まで217橋の修繕が完了した。なお、地元等との協議調整及び残土の再利用運搬先の選定に不測の日数を要したため、238,936,000円を令和8年度に繰り越した。							

事業名	道路舗装改良費						執行率 (%)	
予算額 (円)	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	77.5
	105,000,000	0	0	800	105,000,800	81,397,800	対予算現額	77.5
目 的	舗装個別施設計画に基づき、老朽化した道路の舗装補修を実施することにより、地域住民の安全性の向上を図るもの。							
事業内容及び実績	事業内容 道路舗装補修工事 (17箇所) L=1,692.5m 81,397,800円 大手口東線、見借後川内線、佐志大良線、浦中央線、虹の松原宇木線、小崎～砂子線、中学校常松線、広瀬線、東田笹ノ谷線、相知・伊岐佐線、天徳の丘団地1号線、徳須恵・上平野線、駄竹・入野線、高野菖蒲線、殿ノ浦西海岸線、野井原～後川線、中原～境野～鳥巢線							
成果等及び達成度	舗装個別施設計画に基づく舗装補修工事を計画的に実施し、安全で快適な路面性状の回復を図ることができた。なお、本道路舗装工事と同時期に行う工事があり、地元と施工時期の調整及び施工範囲の決定に時間を要したため、23,603,000円を令和8年度に繰り越した。							

事業名	こどもを守る通学路づくり事業費						執行率 (%)	
予算額 (円)	当初予算額	6月補正予算額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対6月補正後予算額	98.3
	0	11,425,000	0	0	11,425,000	11,226,600	対予算現額	98.3
目 的	唐津市通学路交通安全プログラムに基づき実施した合同点検により明らかとなった要対策箇所について、カラー路面標示や路肩保護・歩道整備を実施し、通学路における児童等歩行者の安全性を確保するもの。							
事業内容及び実績	事業内容 道路改良工事等 11,226,600円 路肩工事 (陣の元線、志坂線) L=128.0m 区画線設置 (千代田町二ノ門線、十人町二号線、久里川端線、志坂線、中島線、鶴楠線、イザナオ支線、大手口東線) L=988.5m カラー路面標示 (千代田町二ノ門線、十人町二号線、久里川端線、中島線、鶴楠線、徳須恵・田中線、星賀納所線、イザナオ支線、大手口東線、陣の元線) A=304.5㎡ ガードレール設置 (中島線) L=2.0m ボラード設置 (千代田町二ノ門線、中島線) N=10本 ラバーポール設置 (十人町二号線、久里川端線、中島線、鶴楠線、徳須恵・田中線、星賀納所線、イザナオ支線) N=32本							
成果等及び達成度	通学路における要対策箇所にカラー路面標示やボラード、ラバーポール設置を実施し、児童等歩行者の安全性を確保することができた。対策が必要な11箇所のうち11箇所の事業が完了した。							

事業名	排水路整備費、同（繰越明許分）、同（事故繰越分）						執行率（％）	
予算額 （円）	当初予算額	6月補正予算額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対6月補正後 予算額	65.2
	213,500,000	2,000,000	0	0	215,500,000	140,407,851	対予算現額	65.2
	繰越予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対繰越予算額	98.9
	55,736,000	—	—	—	55,736,000	55,115,900		
	事故繰越予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対事故繰越 予算額	93.5
	26,994,000	—	—	—	26,994,000	25,237,300		
目 的	排水不良の河川及び排水路を整備することにより、流下能力不足による浸水被害を軽減し、市民生活の安全性の確保を図るもの。							
事業内容及び実績	事業内容（現年度分） 排水路整備工事（14河川） 護岸 L＝388.1m 139,961,900円 西郷川、中野川、大坪川、セメン川、持山川、山の寺川、下戸川、夕日川、八床川、河内山川、野井原川、名丸川、蟹川川、木浦川 法定外公共物（水路等）整備助成金（3地区） 445,951円 事業内容（繰越明許分） 排水路整備工事（12河川） 護岸 L＝191.8m 55,115,900円 下戸川、名丸川、鳥巣川、松尾川、河内川、中野川、平之川、赤水川、木浦川、広川川、蟹川川、星領川 事業内容（事故繰越分） 排水路整備工事（3河川） 護岸 L＝62.4m 25,237,300円 星領川、蟹川川、木浦川							
成果等 及び 達成度	緊急自然災害防止対策事業債を活用した排水路の整備を計画的に進め、近隣の住宅や公共物の水害による被害の防止を図ることができた。なお、豪雨等の影響で河川が増水し地形変更が生じたことにより、測量設計、計画、工法変更等に不測の日数を要したため、69,349,000円を令和8年度に繰り越した。 また、法定外公共物（水路等）の整備事業に対し助成金を支給することにより、水路等の日常的な維持管理を行うことで、市民生活の安全性を確保することができた。							

事業名	河川維持費、同（繰越明許分）						執行率（％）	
予算額 （円）	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	80.3
	38,543,000	0	△ 5,000,000	0	33,543,000	30,940,629	対予算現額	92.2
	繰越予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対繰越予算額	43.1
	28,000,000	—	—	—	28,000,000	12,055,500		
目 的	河川及び排水路の流下能力を良好な状態に維持するため、施設保持及び補修を実施し、災害の防止を図るもの。							
事業内容及び実績	事業内容（現年度分）							
	施設補修・浚渫工事ほか						27,559,200円	
	浚渫箇所 五藤田川、中代川、園田川、八床川、白木川、小山田川、由良川、星領川、牟田川、千草野川							
	伐採、排水ポンプ場管理業務等						2,224,022円	
	ポンプ場管理費（電気・水道料ほか）						1,157,407円	
	事業内容（繰越明許分）							
	浚渫箇所 早房川、下戸川、持山川、白木川						12,055,500円	
成果等及び達成度	排水不良の河川等の機能を回復させることにより、災害の防止を図り、地域住民の安全を確保した。緊急浚渫推進事業債を活用した河川の浚渫を進めており、令和7年度は14箇所で浚渫工事を行った。							

事業名	急傾斜地崩壊防止事業費、同（繰越明許分）						執行率（％）	
予算額 （円）	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	84.9
	48,500,000	0	0	0	48,500,000	41,154,300	対予算現額	84.9
	繰越予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対繰越予算額	44.2
	6,677,000	—	—	—	6,677,000	2,948,000		
目 的	急傾斜地の崩壊による災害から未然に人命を守るため、危険度が高く災害に直結する恐れのある箇所について崩壊防止工事・復旧工事を行い、地域住民の安全確保及び急傾斜地の保全を図るもの。							
事業内容及び実績	事業内容（現年度分）							
	急傾斜地崩壊防止・復旧工事（2箇所） 原部田地区（山田）、相知町湯屋2地区						41,154,300円	
	事業内容（繰越明許分）							
	急傾斜地崩壊防止・復旧工事（1箇所） 町田二丁目地区						2,948,000円	
成果等 及び 達成度	令和6年度から繰り越していた町田二丁目地区の工事が完了した。また、令和7年度申請の2箇所についても工事が完了し、災害時の地域住民の安全確保及び急傾斜地の保全を図ることができた。							

事業名	唐津港寄港誘致促進費						執行率 (%)	
予算額 (円)	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	96.6
	5,378,000	0	0	△ 184,230	5,193,770	5,193,026	対予算現額	100.0
目 的	唐津港の振興と活性化を図るため、佐賀県唐津港利用促進協議会と連携して、観光・物流基地として保有する機能等を活かした誘致活動を行い、唐津港への寄港船舶数の増加につなげるもの。							
事業内容及び実績	実施内容 クルーズ関係者情報交換の会議出席、ツアー提案のポートセールス 285,026円 佐賀県唐津港利用促進協議会負担金（会費、客船入港促進対策費） 4,850,000円 公益財団法人 日本関税協会賛助会費 48,000円 公益財団法人 九州運輸振興センター賛助会費 10,000円 実績 ポートセールス活動（船社・旅行会社） R5年度 6社、R6年度 11社、R7年度 11社 クルーズ船寄港時の対応 R5年度 13回、R6年度 6回、R7年度 6回							
成果等及び達成度	佐賀県唐津港利用促進協議会と連携し、国内外のクルーズ船の受入れを行った。 成果 寄港クルーズ船の乗船者数 延べ2,276人（乗客数1,222人、乗組員1,054人） クルーズ船寄港回数 6回（内訳 外国船5回、日本船1回のうち初入港船の歓迎2回） 唐津湾フェリー車両数/旅客数 42,473台（前年比102%）/116,479人（前年比104%）							

事業名	景観まちづくり推進費						執行率 (%)	
予算額 (円)	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	29.7
	3,545,000	0	△ 2,070,000	0	1,475,000	1,052,250	対予算現額	71.3
目 的	景観計画重点区域に指定した城内地区・曳山通りにおける景観まちづくりの推進のため、推奨ルールへの取組みに対する支援等を行うほか、景観上重要な施設について、保全や美装化を行うもの。							
事業内容及び実績	景観まちづくり推進事業補助金（1件） 930,000円 景観まちづくり専門家会議の開催等 122,250円							
成果等及び達成度	景観計画重点区域内で行う住宅の修景工事1件の助成を行い、唐津の個性を活かした魅力ある景観まちづくりを推進した。（第3次総合計画における目標値4件/年、達成度25.0%）							

事業名	宅地耐震化推進事業費						執行率 (%)	
予算額 (円)	当初予算額	6月補正予算額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対6月補正後 予算額	71.1
	0	4,950,000	0	△ 1,339,400	3,610,600	3,520,000	対予算現額	97.5
目 的	大地震等が発生した場合に、大きな被害が生じるおそれのある大規模盛土造成地について、安全性確認のための経過観察を実施するもの。							
事業内容及び実績	事業内容 大規模盛土造成地経過観察業務 3,520,000円 現地踏査、経過観察カルテの作成 (32箇所)							
成果等及び達成度	経過観察の評価を受けた32箇所の大規模盛土造成地について、現地踏査を実施した結果、現時点では滑動崩落の前兆となる変状は見られなかった。今後も、安全性維持の観点から、国のマニュアルに従い、職員によって継続的な経過観察を実施していく。							

事業名	市道明神線他舗装改良事業費						執行率 (%)	
予算額 (円)	当初予算額	6月補正予算額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対6月補正後 予算額	86.2
	0	74,261,000	△ 10,000,000	0	64,261,000	64,025,500	対予算現額	99.6
目 的	城内地区の良好な景観形成を図るため、舗装改良を実施するもの。							
事業内容及び実績	事業年度 令和7年度から令和8年度まで 全体計画延長 L=210.0m 事業内容 市道明神線他舗装改良工事 60,469,200円 市道明神線地質調査業務 968,000円 市道明神線他道路側溝浚渫工事 1,980,000円 市道明神線縁石設置工事 608,300円							
成果等及び達成度	全体延長210.0mのうち、51.2mの石畳舗装改良工事を実施したことにより、城内地区の良好な景観形成につながった。今後、残りの区間についても石畳舗装改良工事を実施することで、さらなる良好な景観形成を図っていく。							

事業名	都市公園施設長寿命化事業費（繰越明許分）						執行率（％）	
予算額 （円）	繰越予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対繰越予算額	99.4
	25,065,000	—	—	—	25,065,000	24,903,483		
目 的	都市公園の公園施設について、安全性の確保及びライフサイクルコストの削減を図るため長寿命化計画に基づき、計画的な改築・維持管理や更新を行うもの。							
事業内容及び実績	事業内容							
	遊具更新工事等			13,112,000円				
	松浦河畔公園							
	休憩所建設基本・実施設計業務			6,275,500円				
	休憩所建設地質調査業務			4,647,500円				
	事務費			868,483円				
成果等 及び 達成度	唐津市都市公園施設長寿命化計画に基づき、遊具の更新を行ったほか、松浦河畔公園に設置予定の休憩所について、基本・実施設計、地質調査を行ったことで、本工事に向けた準備ができた。							

事業名	松浦河畔公園再整備事業費、同（繰越明許分）						執行率（％）	
予算額 （円）	当初予算額	6月及び12月 補正予算額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対6月及び12月 補正後予算額	10.1
	0	251,902,000	0	0	251,902,000	25,553,000	対予算現額	10.1
	繰越予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対繰越予算額	100.0
	15,532,000	—	—	—	15,532,000	15,527,600		
目 的	松浦河畔公園の再整備により新たな機能を追加することで、賑わいや交流を拡大し、地域の魅力を高めるもの。							
事業内容 及び実績	事業内容（現年度分） ニュースポーツゾーン電気設備（1工区）工事 23,573,000円 水辺環境整備工事 1,980,000円 事業内容（繰越明許分） 松浦河畔公園運動施設等実施設計業務 15,527,600円							
成果等 及び 達成度	松浦河畔公園の再整備に向けて、ニュースポーツゾーンの一部の電気設備工事を実施した。また、運動施設等（ローラースポーツパーク等）の実施設計を行ったことで、本工事に向けた準備ができた。 なお、実施設計において関係機関との調整に期間を要し、着工が遅れたほか、令和9年3月に開催されるSGボートレースクラシックに向けた受入体制を整えるため、再整備計画の前倒しを実施したことにより、年度内の施工が難しくなったため、226,349,000円を令和8年度に繰り越した。							

事業名	住宅耐震診断等事業費						執行率（％）		
予算額 （円）	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	80.9	
	3,090,000	0	0	0	3,090,000	2,500,000	対予算現額	80.9	
目 的	昭和56年5月31日以前に建築された住宅の耐震化を推進するため、木造住宅への耐震診断士派遣や非木造住宅の耐震診断及び耐震改修工事の費用の一部を補助するもの。								
事業内容 及び実績	木造住宅耐震診断派遣事業						500,000円		
	対象者	昭和56年5月31日以前に建築された木造戸建て住宅の所有者							
	事業内容	対象住宅へ耐震診断士（登録建築士）を派遣し、耐震診断を実施 耐震診断の業務報酬 図面あり 70,000円、 図面なし 100,000円							
	実績	図面なし R4（9件）、R5（10件）、R6（10件）、R7（5件）							
	住宅耐震診断等事業費補助金（耐震改修補助金）						2,000,000円		
	対象者	昭和56年5月31日以前に建築された戸建て住宅の所有者							
	実施内容	改修費の80％を補助（上限1,000千円）							
	実績	実施件数 R4（1件）、R5（0件）、R6（4件）、R7（2件）							
成果等 及び 達成度	近年、日本全国で地震が頻発していることにより、市民の関心が高まり事業件数が高い水準を維持している。 今後も継続して事業を実施し、市内の耐震化に寄与できるよう進めていきたい。								

事業名	北波多地区住宅整備費、同（繰越明許分）						執行率（％）	
予算額 （円）	当初予算額	6月補正予算額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対6月補正後 予算額	96.6
	0	8,778,000	0	0	8,778,000	8,482,100	対予算現額	96.6
	繰越予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対繰越予算額	100.0
	6,680,000	—	—	—	6,680,000	6,679,200		
目 的	耐用年数を経過した北波多地区の市営住宅の集約建替えに向けて、建設予定地の測量業務等を行うもの。							
事業内容 及び実績	事業内容（現年度分）							
	北波多地区住宅建替えに伴う測量業務				6,568,100円			
	北波多地区市営住宅建設工事に伴う地質調査業務（2件）				1,914,000円			
	事業内容（繰越明許分）							
	北波多地区住宅集約建替え基本構想策定業務				6,679,200円			
成果等 及び 達成度	唐津市公営住宅等長寿命化計画に基づき適切に事業を実施した。							
	基本構想は、地元への説明等に時間を要したため、契約期間を変更し、令和7年6月に完成した。 また、完成した基本構想に基づき建設予定地の測量業務等を遅滞なく実施した。							

9 消 防 費

(1) 常備消防費

市民の生命・身体及び財産を各種災害から保護するため、常備消防として職員の教育及び訓練はもとより、火災をはじめあらゆる災害に対応する能力を備えた消防活動資器材等の整備を図ることにより、安全かつ効果的な消防活動を遂行し、住民の安全・安心の向上に寄与した。

令和7年度における消火・救助活動及びその他災害活動については、火災発生件数が42件、損害額は122,842千円であり、救助件数は27件、その他災害件数は126件であった。

近年、多種多様化する各種災害に対処するため、日常的な訓練のほか、公共機関においての多数傷病者搬送訓練や大規模林野火災消防演習等の他機関と連携した訓練を実施し、災害対応力の向上を図った。

令和7年度の救急活動については、出動件数6,732件で前年度比453件の減であった。

救急現場では、救急救命士の実施する処置が傷病者の予後に大きく関係することから、救急救命士の資質維持のため、病院実習や指導救命士による計画的な訓練を実施した。これらの実習・訓練等の成果により、8件の心拍再開に成功し、市民の救命率の向上に寄与した。

また、市民を対象としたAED講習を含む普通救命講習等を162回（受講者数3,288人）実施し、応急手当の普及啓発に努めた。

予防行政については、防火対象物466件、危険物施設77件に対し立入検査等を行い、火災発生危険箇所の排除及び改修を指導し、消防用設備等及び防火管理の不備の是正を図った。

その中でも、重大違反の防火対象物には行政指導を視野に入れ違反是正を進め、17件のうち9件が改善されるなど、火災予防に努めた。

住宅用火災警報器の設置促進及び維持管理については、広報や住宅用火災警報器に関する講話、避難訓練及び防火講話等において普及啓発を図るとともに、市内の主要な道路の歩道橋及び大手口センタービルに住宅用火災警報器の設置促進及び維持管理についての横断幕及び懸垂幕を掲揚することで、設置率の向上と維持管理の広報に努めた。また、火災予防運動の一環行事として、令和7年度全国統一防火標語に合わせた小学生による自由な発想でイメージした火災予防ポスター制作の依頼、募集を行い、最優秀賞の1点をポスター化することで、市民の防災に対する意識の向上と消防行政への理解を深めてもらうよう努めた。

消防指令システム、消防救急デジタル無線設備等に加え、聴覚や発話等の障がいにより音声での緊急通報が困難な方からの119番通報に迅速に対応できるNET119緊急通報システムを適切に維持管理することで、119番通報の受信から現場活動の終息まで円滑に対応することができ、安定的な消防救急活動に寄与した。

また、現有するドローンを適正に管理することで、より安全で安定的な現場活動が可能となり、災害現場での情報収集及び円滑な消防活動に寄与した。

(2) 非常備消防費、消防施設費

老朽化した消防ポンプ格納庫、消防団車両及び小型動力ポンプ等の更新整備、消防施設の補修並びに消防団員の安全対策装備の充実を図った。

(3) 防災諸費

防災対策諸費では、防災行政無線（６０MHz）、２８０MHzデジタル同報無線システム及び防災システムの維持管理をはじめ、防災関連事業を実施、本市の防災体制の確立に寄与した。

防災情報ネットワーク整備費では、防災情報の迅速な伝達機能向上を図るため、整備から１０年以上経過している防災行政無線（６０MHz）について２８０MHzデジタル同報無線システムへの転換工事を行った。

地域防災力向上促進事業費では、地域防災リーダーフォローアップ事業等を継続し、防災に関する知識・技術の向上やリーダー間の連携強化を図るなど、防災意識の高い社会づくりに寄与した。

また、共助の中心的役割を担う自主防災組織の育成等につなげることができた。

地域防災緊急整備事業費（繰越明許分）では、災害時における避難所の電力供給の強化や暑さ対策等の環境改善を図るため、移動式電池（電気自動車）やポータブル蓄電池、スポットクーラー等の資機材を整備した。

また、平常時からの利活用促進及び市民への防災啓発を目的として、主に小学生以下のこどもを持つ家族を対象とした防災イベントを開催した。

これらの取組みにより、避難所の生活環境の改善に向けた防災体制の強化を図るとともに、整備した資機材の周知を通じて市民の防災意識の向上を図ることができた。

(4) 常備消防施設費

西部分署の救急車を、安全性の確保及び機能維持のため更新した。

また、消防本部本署庁舎長寿命化改修事業として、長寿命化に係る建築、電気設備、機械設備の各工事及び工事監理業務を令和８年度までの継続事業として実施した。

消防指令業務の共同運用化については、県内５消防本部による実施設計業務や先進地視察を実施し、令和１０年度の運用開始に向けて事業の進捗を図った。

消防救急デジタル無線設備の構成機器更新により、消防救急活動における安定的な無線運用に寄与した。

令和7年度の消防統計

火災統計

(単位 件、千円)

区 分	発 生 件 数	損 害 額	1 件当たりの損害額
建 物	25	44,979	1,799
林 野	1	0	0
車 両	5	774	155
船 舶	1	76,000	76,000
その他	10	1,089	109
合 計	42	122,842	

救急統計

(単位 件、人)

出動件数		救急件数		搬送人員	
年間	1日当たり	年間	1日当たり	年間	1日当たり
6,732	18.4	6,076	16.6	6,096	16.7

救急事故種別統計

(単位 件、人)

	火災	自然	水難	交通	労働	運動	一般	加害	自損	急病	転院 搬送	その他	合計
出動 件数	33	0	12	364	70	50	1,060	24	60	3,957	1,055	47	6,732
搬送 人員	9	0	6	324	68	49	988	17	44	3,537	1,051	3	6,096

救助統計

(単位 件)

	火災		交通	水難	風水害 等自然	機械	建物	ガス 酸欠等	爆発	その他 事故	合計
	建物	建物以外									
出動件数	0	0	13	9	0	3	0	0	0	2	27

その他の災害統計

(単位 件)

	ガス 漏えい	油 漏えい	調査	即時 通報	その他 警戒	合計
出動件数	0	9	0	59	58	126

事業名	消防通信指令施設管理費						執行率 (%)	
予算額 (円)	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	102.4
	39,379,000	0	0	958,855	40,337,855	40,337,855	対予算現額	100.0
目 的	消防指令システム及び消防救急デジタル無線設備の適切な維持管理を行い、通信障害等による119番受信不能や指令不能などの機能不全に陥ることのないよう安定運用を行うもの。 また、ドローンを活用した災害情報の効果的な収集により、迅速な消防活動の支援を行うもの。							
事業内容及び実績	消防指令システム保守業務ほか 31,553,910円 消防通信指令業務に係る通信費ほか 5,023,528円 ドローン関連経費 901,000円 施設修繕料ほか 2,859,417円 令和7年度119番通報件数 9,073件 (前年度比 2,124件減) 令和7年度ドローン出動件数 14件 (前年度比 7件増)							
成果等及び達成度	消防指令システム及び消防救急デジタル無線設備等のほか、聴覚や発話等の障がいにより、音声での緊急通報が困難な方からの119番通報にも迅速に対応できるNET119緊急通報システムを適切に維持管理することで、119番通報の受信から現場活動の終息まで円滑に対応することができ、安定的な消防救急活動に寄与した。 また、消防ドローンの運用管理及び機体の維持管理を行うことで、災害時における被害状況の把握や現場活動の支援を図り、市民の生命、身体及び財産を守る消防体制の維持に寄与することができた。							

事業名	消防施設・設備整備費						執行率 (%)	
予算額 (円)	当初予算額	12月補正予算額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対12月補正後 予算額	73.6
	133,462,000	36,465,000	0	△ 2,289,028	167,637,972	125,129,987	対予算現額	74.6
目 的	市民の安全、安心なくらしを守る地域防災の要である消防施設や設備を整備するもの。							
事業内容及び実績	消防ポンプ格納庫建設費 17,842,800円 地質調査、実施設計ほか 1箇所(町田) 3,787,500円 アスベスト含有分析調査 3箇所(旧内町、町田、厳木町高倉) 685,300円 格納庫建設工事 1箇所(町田) 13,370,000円 消防ポンプ自動車購入費 23,813,229円 1台(外町) 小型動力ポンプ購入費 30,785,700円 11台(西唐津、夕日、梨川内、浜玉町今坂、厳木町簗木、厳木町天川、北波多竹有、北波多岸山、呼子町先方町・海士町・釣町・小倉町、呼子町川端町、七山馬川) 小型動力ポンプ積載車購入費 23,578,977円 4台(厳木町天川、鎮西町塩鶴、鎮西町中野、鎮西町丸田) 消火栓新設等負担金 17,719,281円 改良工事 13基(唐津12基、鎮西1基) 12,112,100円 修繕工事 7基(唐津5基、浜玉2基) 5,423,000円 加圧ポンプ所電気料差額 3基(唐津) 184,181円 防火水槽工事費 11,390,000円 耐震性貯水槽設置工事 1基(浜玉町今坂) 5,390,000円 耐震性貯水槽設置工事 1基(相知町牟田部) 6,000,000円							
成果等及び達成度	老朽化した消防団車両及び小型動力ポンプの更新、並びに火災発生時の消火活動に必要な消防水利の整備を実施することで、地域消防力、防災力の向上及び持続可能な消防体制の構築に寄与した。 なお、消防ポンプ格納庫建設費において、町田の格納庫建設に着手したが、基本・実施設計の完了に伴い、12月補正予算に建設工事費を計上したため、23,000,000円を令和8年度に繰り越した。 また、防火水槽工事費において、浜玉町今坂と相知町牟田部の耐震性貯水槽設置に着手したが、現地調査及び地元調整に期間を要したため、17,419,000円を令和8年度に繰り越した。							

事業名	防災対策諸費						執行率 (%)	
予算額 (円)	当初予算額	6月補正予算額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対6月補正後 予算額	101.9
	83,666,000	5,461,000	0	2,580,000	91,707,000	90,793,470	対予算現額	99.0
目 的	防災行政無線(60MHz)、280MHzデジタル同報無線システム及び防災システムの維持管理をはじめ、防災関連業務を実施し、本市の防災体制の確立に寄与するもの。							
事業内容及び実績	防災行政無線(60MHz)維持管理 10,198,638円 280MHzデジタル同報無線システム維持管理 14,305,793円 Jアラート等防災システム維持管理 12,771,400円 災害備蓄品の整備 4,064,903円 LINE版マイ・タイムライン運用業務 1,320,000円 総合防災情報システム運用費 16,676,000円 携帯無線機更新 5,474,700円 防災マップ改訂業務 13,200,000円 事務費ほか 12,782,036円							
成果等及び達成度	本市の防災体制の確立に向け、情報伝達から避難環境の整備まで多角的な防災力強化に取り組んだ。 まず、市民への的確な避難情報の提供を行うため、防災行政無線や防災システムを適切に維持管理した。 あわせて、総合防災情報システムの運用により、避難所開設状況などの報告・把握を円滑化し、迅速な災害対応体制の向上に寄与した。 また、市民の自助・共助の取組みを推進するため、防災マップを最新情報に更新して市内全世帯へ配布し、災害時の危険箇所等の周知を図るとともに、市公式LINEを活用したマイ・タイムライン作成機能の運用を通じて、市民が主体となった早期の避難行動の促進につなげた。 さらに、防災備蓄計画に基づく資機材等を整備したことで、災害発生時における避難生活の質の向上を図った。							

事業名	防災情報ネットワーク整備費						執行率 (%)	
予算額 (円)	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	95.2
	806,747,000	0	△ 27,984,000	0	778,763,000	768,220,145	対予算現額	98.6
目 的	60MHz防災行政無線システムを280MHzに転換し一元化することで、近年の激甚化・頻発化する災害への備え、危機管理体制の拡充を図るもの。							
事業内容及び実績	280MHzデジタル同報無線システム転換工事 706,200,000円 280MHzデジタル同報無線システム転換工事監理業務 10,813,000円 防災行政無線戸別受信機等撤去業務 51,207,145円							
成果等及び達成度	60MHz防災行政無線システムから280MHzに転換及び一元化が完了し、災害時における情報伝達体制の強化に寄与することができた。							

事業名	地域防災力向上促進事業費						執行率 (%)	
予算額 (円)	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	28.5
	3,251,000	0	0	0	3,251,000	927,790	対予算現額	28.5
目 的	地域防災力の向上を図るため、自治会等に対する自主防災組織の設置促進及び育成強化の支援等を行い、地域の自助・共助による防災体制の確立に寄与するもの。							
事業内容及び実績	自主防災組織の設置促進 新規設立組織 2組織 (相知町千束、和多田大土井) 自主防災組織への補助 防災資機材整備 3組織 187,000円 防災訓練 4組織 103,000円 防災士資格取得への補助 7人 28,000円 地域防災リーダーフォローアップ事業 4回 510,490円 女性のための防災セミナー 1回 99,300円							
成果等及び達成度	第3次総合計画における目標値 (令和11年度) 及び達成度 自主防災組織設置数 目標値103組織 (毎年度3組織) に対し、令和7年度設置数が2組織で全体数87組織 (達成度84%) 地域防災リーダーは、令和7年度に新たに8人が受講し、累計で125人となった。 地域防災リーダーの増加や補助金を活用した防災士資格の取得など、地域防災活動のきっかけ作りにはつながったものの、自主防災組織の設置目標には至らなかった。							

事業名	地域防災緊急整備事業費 (繰越明許分)						執行率 (%)	
予算額 (円)	繰越予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対繰越予算額	52.9
	42,095,000	—	—	—	42,095,000	22,281,321		
目 的	災害時における避難所の電力供給の強化や要配慮者の暑さ対策等の環境改善を図るため、移動式電池 (電気自動車) やスポットクーラー等の資機材を整備するとともに、平時からの利活用を通じた防災啓発により、本市の災害対応力及び地域防災力の向上に寄与するもの。							
事業内容及び実績	移動式電池 (電気自動車) 及び可搬型外部給電器の整備 各1台 4,013,960円 自動車損害保険料 22,981円 ポータブル蓄電池の整備 42台 8,408,400円 スポットクーラーの整備 42台 2,859,780円 避難所用LEDライトの整備 42台 4,111,800円 避難所用多目的ルーム 42基 1,455,300円 防災イベントの開催運営費 1,409,100円							
成果等及び達成度	移動式電池 (電気自動車) やスポットクーラー等の資機材を整備し、避難所の電力供給の強化や暑さ対策等の環境改善を図った。 また、主に小学生以下のこどもを持つ家族を対象とした防災イベントを開催し、これら資機材の周知及び市民の防災意識の向上に寄与した。							

事業名	佐賀県内消防通信指令センター等共同運用化事業費						執行率 (%)	
予算額 (円)	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	97.8
	2, 224, 000	0	0	0	2, 224, 000	2, 174, 810	対予算現額	97.8
目 的	県内5消防本部の通信指令センター等の共同運用化へ向けて指令システムの実施設計等を行うもの。							
事業内容及び実績	共同運用先進地視察費 51,810円 視察先 おおいた消防指令センター 大分市消防局南消防署 日田玖珠広域消防組合本部 宗像地区消防本部 粕屋北部消防本部 佐賀県消防通信指令システム共同化実施設計業務負担金 2, 123, 000円							
成果等及び達成度	令和10年度の運用開始に向け、県内5消防本部の通信指令センター等の共同運用化に係る指令システムの実施設計業務を実施するとともに、先進地視察により共同運用体制に関する知見を得ることができた。							

事業名	消防救急デジタル無線中間更新整備事業費						執行率 (%)	
予算額 (円)	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	93.2
	204, 468, 000	0	0	△ 796, 102	203, 671, 898	190, 611, 190	対予算現額	93.6
目 的	初期の整備から10年以上が経過し、更新時期を迎えている消防救急デジタル無線の更新を行うもの。							
事業内容及び実績	消防救急デジタル無線更新整備工事 76, 340, 000円 多重無線装置関連（入野・八幡）更新 車載型移動局、署所端末受令機更新等 101, 722, 500円 携帯型移動局、可搬型移動局更新 12, 548, 690円							
成果等及び達成度	消防救急デジタル無線設備の中間更新整備により、老朽化した構成機器の機能を維持・強化し、消防・救急活動に必要な無線通信体制の安定化を図った。更新時期を迎えた機器を更新することにより、災害時における確実な通信対応が可能となり、市民の安全・安心に寄与した。							

事業名	消防本部本署庁舎長寿命化改修事業費（継続費初年度分）						執行率（％）	
予算額 （円）	当初予算額	6月補正予算額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対6月補正後 予算額	0.9
	0	60,298,000	0	0	60,298,000	550,000	対予算現額	0.9
目 的	建築後44年が経過し、老朽化が著しい消防本部本署庁舎の長寿命化等の改修を行うもの。							
事業内容及び実績	事業年度 令和7年度から令和8年度まで（継続費設定） 総事業費（継続費設定額） 231,250千円 令和7年度実施事業（継続費初年度分） 消防本部本署庁舎改修に係る指令系端末仮設工事 550,000円							
成果等 及び 達成度	令和7、8年度の継続事業として庁舎長寿命化改修工事を実施し、令和7年度は本署庁舎3階の事務室仮設工事及び指令系端末仮設工事が完了し、事業の進捗を図ることができた。							

10 教 育 費

(1) 教育総務費、小・中学校費

「唐津を愛し 未来をひらく 人をはぐくむ」という唐津市教育の基本理念を達成するため、児童生徒の社会の形成者として必要な基本的資質を養うとともに、確かな学力と豊かな心、健やかな体の育成を目指して、各種施策を実施し、学校教育の充実・向上を図った。

まず、児童生徒の学力向上及びその基盤となる心を育成するため、学校・家庭・地域社会が連携し、地域の特色や人材を活かしながら児童生徒を支援する「いきいき学ぶからつ子」育成事業に取り組み、自然環境や伝統文化への体験活動の実施、キャリア教育の推進等を行った。また、「個別最適な学びと協働的な学び」の一体的な充実を目指す授業改善の取組みについて学校間で共有し、公開授業や授業研究会を通して授業力の向上に努めた。

市内全小中学校の全ての通常学級や特別支援学級において、児童生徒一人ひとりの個性や能力に応じた学びを実現するため、電子黒板や学習用パソコン等のＩＣＴ機器を活用した教育を推進し、これからの国際社会で必須となる情報活用能力や表現力向上を目指した取組みを行った。また、１人１台タブレット端末を活用し、インターネットを用いた調べ学習やデジタルドリルによる基礎・基本の定着を進めるとともに、学級閉鎖時や不登校児童生徒へのオンライン授業や健康状態の確認など、授業内外における多様な場面で活用を実践した。

教員が児童生徒への指導や教材研究等に注力できる体制を整備するため、スクール・サポート・スタッフを配置し学校教育活動の充実を図った。

いじめ等問題行動の未然防止や早期発見・早期対策及び被害の最小化、再発防止を図るための支援体制を構築するため、全小中学校でいじめ防止対策委員会を開催するとともに、いじめ等問題対策指導員を４校に配置した。また、市内全小学校にスクールカウンセラーを配置し、教育相談の充実を図るとともに、教育支援室スマイルにおいて、不登校児童生徒の学校復帰へ向けた支援を実施した。

フッ素応用むし歯予防事業では、児童生徒を対象に歯質強化に極めて有効なフッ化物洗口を実施し、歯科保健水準の向上を図った。

次に、外国語によるコミュニケーション能力を高め、国際化時代に対応する人材の育成を図るために外国語指導助手を配置したほか、複式学級を支援するため補助教員を配置した。また、学校生活において食事・排泄などの介助や学習活動上の安全確保を必要とする児童生徒がいる学校に生活支援員８５人及び看護師２人を配置した。中学校においては、学習内容の定着が十分に図れていない生徒のため、１０校に補習等のための指導員を配置し、放課後や長期休業中に補充学習を行うことにより、基礎学力の定着と学ぶ楽しさを味わわせ、学習への意欲づけと学習習慣の確立を図った。人権・同和教育においては、教職員の研修を実施し、指導の充実を図った。

また、経済的理由によって就学困難な児童生徒の保護者に対し、学用品費などの援助を行い、児童生徒の教育の円滑な実施に努めた。

学校施設の整備については、鏡中学校長寿命化改良事業において、長寿命化改良工事、ＥＶ棟及び増築棟の建築工事が完了し、令和７年度２学期から校舎の供用を開始した。

また、同年９月よりグラウンド整備工事に着手し事業の推進を図った。

西唐津中学校長寿命化改良事業においては、次年度の工事实施に向けた実施設計を行った。

小学校特別教室空調設備整備事業においては、小学校２２校（小中併設校を除く）の理科室・音楽室に空調設備設置工事を行うとともに、次年度の空調設備設置工事に向け小中併設校４校（厳木小学校、小川小学校を除く）の図画工作室・家庭科室等の実施設計を行った。中学校特別教室空調設備整備事業では、１７校（西唐津中学校を除く）の技術室・家庭科室等の実施設計を行った。

(2) 社会教育費

各公民館において、生涯学習及び社会教育活動の振興を図るため、家庭教育、青少年教育及び成人教育等の各種講座を実施し、生涯学習の推進に努めた。

青少年の健全育成については、放課後子ども教室推進事業を実施し、主に公民館を拠点として勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等に取り組んだほか、たくましいからつつ子育成事業では、体験学習、郷土学習や野外活動などの教室等を開催した。

青少年支援センターでは、祝日と年末年始を除き毎日開所し、臨床心理士、精神科医などの専門家による専門相談を実施するなど相談・支援の充実を図るとともに、青少年非行防止のための街頭補導を実施し、こども達の健全育成を図った。

さらに、人権・同和教育の推進については、同和教育集会所の円滑な運営をはじめ、人権ふれあいセンターや公民館、企業などを中心に啓発活動を行い、市民の人権意識の向上に努めた。

このほか、社会教育施設整備については、東唐津公民館長寿命化改良工事が完了し、令和8年2月より供用を開始した。その他の社会教育施設については、随時老朽・破損箇所の補修及び設備の改修を行うことで利用環境の充実を図った。

また、公民館類似施設整備補助金として、建替え1館、増改築25館、緊急修繕等6館に対し補助を行った。

近代図書館においては、利用者のニーズに沿った図書等の収集や資料の整備保存、インターネットでの図書の検索・予約サービスを行った。また、ネットワークを利用し、各市民センター管内の公民館図書室等での貸出や返却を実施することで利用者の利便性を図った。ブックスタート、絵本とこんにちは（セカンドブック）では、家庭における読書活動を推進した。将来的な拠点づくりとして出張おはなし会や「絵本マルシェin肥前いろは祭り」等を通じ、ふだん読書になじみのない人達に本を読む環境を提供した。

図書配送センターでは、学校での調べ学習や朝読書用の学習支援セット（Kintoもあブック）の貸出を行い広域的なサービスのさらなる充実につながった。

美術ホールでは、特別展、学校等と連携した展覧会、他課主管の展覧会など11回の展覧会を開催した。1階ロビーでは「ロビーのすみっこ展」を3回開催し、年間を通して美術作品に親しむ機会を提供するとともに、出前講座や多様な展覧会関連イベントなど教育普及事業の充実にも努めた。また、展覧会紹介動画を制作し、1階ロビーでの館内放映等も引き続き行い、周知に努めた。

相知図書館においては、利用者のニーズに沿った図書等の収集やテーマ展示、相知図書館だよりの発行を行い、貸出しの向上及びさらなる利用の促進を図ったほか、ボランティア団体の協力のもと、年4回にわたり季節のおはなし会を行い、こどもの読書活動を推進した。

文化財事業については、2か年事業として唐津くんち10番曳山「上杉謙信の兜」の総塗替え修理に対して曳山保存修理補助金を交付したほか、指定文化財の維持管理業務を35件、清掃等管理業務を13件実施した。

さらに、古文書及び古唐津等の寄贈・寄託資料の整理作業を継続して行った。

埋蔵文化財調査では、宅地開発行為等に伴う市内遺跡の確認調査及び調査報告書の作成を行い、重要遺跡範囲確認調査の一環として、瓢塚古墳及び山瀬窯跡の資料整理を実施した。

国史跡肥前陶器窯跡の保存整備では、令和6年度に建設した飯洞甕下窯跡の覆屋内に、解説パネルや窯の復元ジオラマ、触れるレプリカなどの展示を行い、あわせて窯本体の保存処理を実施した。

加えて、文化財の啓蒙普及活動として、戦後80年にあたる年であることから、唐津に残る戦争遺跡についての展示や洞窟遺跡のパネル展示のほか、13件の歴史講座や文化財の案内・説明を実施した。

重要文化的景観葦野の棚田において、重要な構成要素の一つである南川原の高石積みに来訪者を誘導する案内看板と、南川原の石積みを説明する説明看板を設置した。

歴史民俗資料館保存整備では、耐震補強に関する方針の整理及び基本設計内容の一部見直しを実施したほか、敷地内発掘調査の遺構図作成や、整備用地の現況測量及び防蟻処理業務を実施した。

新市誕生20周年を記念して、市内の窯跡の発掘調査で出土した資料や寄贈資料等の市所蔵資料を通じて多様な唐津焼を紹介する企画展を、近代図書館美術ホールで開催した。

歴史的町並み保存対策事業では、伝統的建造物群保存地区に必要な保存活用計画の素案の一部を作成した。また、住民啓発用パンフレットを作成し、説明会や個別訪問等で活用した。

文化事業においては、市民の芸術文化の振興を図るため、市内各地区の文化団体が市民文化祭を実施し、

演奏会、バレエなど日頃の練習成果の発表や華道、盆栽、書道、絵画、写真等の作品展示を行った。

また、世界最高峰のピアノを誰でも弾ける機会としてみんなでコンサートinサライを実施したほか、広く市民に本市の伝統芸能に触れる機会を創出する目的で唐津市伝統文化芸能祭を開催した。

歴史・文化講座として、旧大島邸で門松づくり教室を開催し、また、市内の小学校で「能楽」のワークショップを開催した。

文化芸術振興計画策定のため、令和6年度の基礎調査、骨子案作成を基に、検討委員会の開催、追加調査を行い、計画を策定した。

補助事業として、公益財団法人唐津市文化事業団が末盧館で稲作発祥祭、相知交流文化センターでサライピアノコンサート、市内小学校において芸術文化ワークショップを実施し、文化の振興及び普及啓発に努めた。

郷土伝統行事補助金では、伝統行事を実施する団体から13件の申請を受け、伝統行事の実施及び継承を支援した。

(3) 保健体育費

令和7年度の主要なスポーツイベントとしては、令和6年度に行われた国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会（SAGA2024）の影響で中止していた市民体育祭を開催したほか、継続している市民種目別スポーツ大会、市民球技大会、10マイルロードレース大会、虹の松原カップ小学生クラブ駅伝競走について予定どおり開催した。

上位大会への出場を目指す選手の意欲向上や技術の強化を図るため、選手を激励することを目的として九州大会規模以上の大会へ出場する選手、監督等に対し奨励金を交付した。

プロスポーツとの交流、連携を強化するために、福岡ソフトバンクホークス、サガン鳥栖及び佐賀バルナーズの観戦応援ツアーを実施した。また、レオブラックスサガにおいては、3x3ユナイテッドリーグ公式試合の唐津市開催を実施した。鳴戸部屋に対しては、2人目の幕内力士に対する祝い花の贈呈や、九州場所開催時には、公開稽古や少年相撲大会などの交流事業を実施した。

生涯スポーツの推進については、スポーツ推進委員連絡協議会によりスポレク祭を実施し、スポーツ推進委員の研修会を開催して軽スポーツやパラスポーツの普及や強化に努めた。

聴覚障がい者のための国際競技大会で、4年に1度開催されるデフリンピックに出場する唐津市出身の金持義和選手へ大会での活躍を祈念し激励するために特別奨励金を交付した。

市民の健康づくりや体力向上、地域交流の場として使用している体育施設環境の充実を図るため、相知天徳の丘運動公園硬式庭球場改修をはじめ、相知天徳の丘運動公園多目的運動広場夜間照明改修や肥前総合運動場多目的運動場夜間照明改修、文化体育館前障がい者駐車場整備工事を行った。

また、文化体育館改修工事調査整備計画策定業務や陸上競技場写真判定装置更新等も行い、利用者が安心してスポーツに親しむ環境の確保に努めた。

学校給食については、子育て世帯の経済的な負担軽減を図るため、市立小中学校を対象に、1学期は第3子以降の児童生徒の学校給食費について支援を行った。2学期以降については、全児童生徒の学校給食費について無償化を行うとともに、食材価格が高騰している中でも給食の質や量を維持していくため、1食当たりの単価を増額した。

また、新市誕生20周年を記念して、市の特産品を取り入れた特別な学校給食を提供した。

事業名	特別支援教育費						執行率 (%)	
	会計年度任用職員給与費 (特別支援教育分)						対当初予算額	77.9
予算額 (円)	当初予算額	12月補正予算額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対予算現額	77.9
	2,581,000	0	0	0	2,581,000	2,009,645	対12月補正後 予算額	98.3
	277,286,000	15,315,000	△ 3,140,000	0	289,461,000	287,599,645	対予算現額	99.4
目 的	特別支援教育を必要とする児童生徒に対し、障がいの状況に即応した支援を行い、適正な教育を実施するもの。							
事業内容及び実績	生活支援員や医療的ケア看護職員の配置による障がいのある児童生徒へのきめ細やかな支援等 障がいのある児童生徒の交流会、学習会を行っている唐津地区特別支援教育研究会への補助 生活支援員の配置に係る費用 (小学校72人、中学校13人) 280,034,699円 医療的ケア看護職員の配置に係る費用 (小学校2人) 7,564,946円 医療的ケア訪問看護業務 1,008,000円 バス旅行引率等 295,708円 特別支援教育事業補助金 332,141円 その他事務費 373,796円							
成果等 及び 達成度	多種多様な問題を抱えている児童生徒765人に対して、生活支援員を85人配置した。また、医療的ケアを行う看護職員を2人配置したほか、前年度に引き続き訪問看護による看護業務の委託を行った。 経験年数の長い生活支援員が増えてきたことに加え、研修会の実施により知識の共有や支援方法の習得が進んだことで、特別支援教育を必要とする児童生徒に対し、より細やかな対応及び適切な支援を実施することができ、児童生徒の安全や教育環境の充実を図ることができた。							

事業名	「いきいき学ぶからつっ子」育成事業費						執行率 (%)	
	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	98.1
予算額 (円)	9,800,000	0	0	0	9,800,000	9,618,284	対予算現額	98.1
目 的	学校、家庭、地域が連携し、地域の特性を活かした体験活動や地域交流、キャリア教育の促進に向けた取り組みを行い、豊かな心で自ら学ぶ成長意欲の向上に資するもの。							
事業内容及び実績	各小中学校区いきいき学ぶからつっ子育成事業実行委員会に補助金を交付 40校 (小学校22校、中学校12校、小中併設校6校) 9,468,284円 あすチャレ! スクール開催費負担金 5校 (肥前小、高峰中、第五中、鏡中、鬼塚中) 150,000円							
成果等 及び 達成度	いきいき学ぶからつっ子育成事業では、学校、家庭、地域が連携し、地域の特色や人材を活かしながら、体験活動やキャリア教育等を展開することができ、多くの人と関わる様々な体験活動を通じて、認められる喜びや自信を持つことの大切さなどを感じ取っている様子が見られた。 あすチャレ! スクールでは、パラアスリートを中心とした講師から、パラスポーツの体験を通して多様性を認め合うことの大切さを学び、障がいのある人との共生について理解を深めることができた。							

事業名	学力向上推進事業費						執行率 (%)	
予算額 (円)	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	91.8
	8,474,000	0	0	0	8,474,000	7,775,380	対予算現額	91.8
目 的	市が示す個別最適な学びと協働的な学びの推進により、全市統一的な授業改善に取り組むことで児童生徒の学力向上を図るもの。							
事業内容及び実績	学力向上研究会の実施（講師謝礼金） 237,080円 外国語教育指導力育成業務 7,538,300円 市内全ての小学5年生及び6年生を対象に外国語4技能（「聞く」「読む」「話す」「書く」）を測るスコア型英語テスト（GTEC Junior）を実施。							
成果等及び達成度	学力・授業力向上6か年計画の4年目である令和7年度も講師を招聘し、授業改善の取組みに対する指導・助言を受け、公開授業や授業研究会を通じて研鑽に努めた。また、外国語教育においては、スコア型英語テストの結果をふまえて課題を見出し、授業改善につなげるための指導方法について、外部講師による研修会を計3回開催し、児童生徒の英語力向上に向けた取組みを学校間で共有することができた。 令和7年度の全国学力・学習状況調査（小6、中3対象）の結果を県の平均正答率と比べると、小学校の算数が0.02ポイント、中学校の国語が0.08ポイント、数学が0.18ポイント下回ったが、小学校の国語は県平均と同率であった。							

事業名	小学校特別教室空調設備整備事業費						執行率 (%)	
予算額 (円)	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	83.2
	401,837,000	0	△ 64,466,000	△ 2,148,963	335,222,037	334,369,297	対予算現額	99.7
目 的	唐津市小中学校特別教室（理科室・音楽室）空調設備整備計画及び唐津市小中学校特別教室（図画工作室・家庭科室等）空調設備整備計画に基づき、空調設備を整備するもの。							
事業内容及び実績	対象校 設置工事 市立小学校22校（併設校を除く） 実施設計業務 高峰小学校、馬渡小学校、加唐小学校、七山小学校（併設の小学校4校） 事業内容 空調設備設置工事 332,675,200円 実施設計業務 1,694,097円							
成果等及び達成度	特別教室への空調設置により、児童の快適な学習環境を提供することができた。また、併設の小学校4校については、実施設計（図画工作室・家庭科室等）業務を行うことで、令和8年度に実施する空調設備設置工事に向けて事業の進捗を図ることができた。							

事業名	中学校特別教室空調設備整備事業費						執行率 (%)	
予算額 (円)	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	92.1
	17,610,000	0	△ 1,396,000	0	16,214,000	16,213,903	対予算現額	100.0
目 的	唐津市小中学校特別教室（図画工作室・家庭科室等）空調設備整備計画に基づき、特別教室のうち技術室・家庭科室等に空調設備を整備するもの。							
事業内容及び実績	対象校 市立の中学校17校（改修中の西唐津中学校を除く） 事業内容 実施設計業務 16,213,903円							
成果等及び達成度	特別教室（技術室・家庭科室等）への空調設備設置に係る実施設計業務を実施することにより、令和8年度に実施する設置工事に向けて事業の進捗を図ることができた。							

事業名	鏡中学校長寿命化改良事業費（継続費3年度分）、同（通次繰越分）						執行率（％）	
予算額 （円）	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	68.5
	1,455,543,000	0	0	0	1,455,543,000	996,704,351	対予算現額	68.5
	繰越予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対繰越予算額	47.3
	227,290,111	—	—	—	227,290,111	107,580,000		
目 的	建築後40年以上が経過し、老朽化が著しく、かつ生徒数の増加による教室数不足に対応するため、校舎の長寿命化改良及び増築工事を行うもの。また、施設のバリアフリー化を進めるため、エレベーター等の整備を行うもの。							
事業内容 及び実績	事業年度 令和5年度から令和8年度まで（継続費設定）							
	総事業費（継続費設定額） 3,737,936千円							
	令和7年度実施事業							
	（継続費3年度分）							
	建築工事	610,500,000円		機械設備工事	90,090,000円			
	電気設備工事	76,560,000円		グラウンド整備工事等	165,638,000円			
	工事監理業務	17,304,210円		本校舎への引越し業務	9,680,000円			
ネットワーク機器移設業務等	26,023,060円		事務費ほか	909,081円				
	（通次繰越分）							
	外構工事	107,580,000円						
成果等 及び 達成度	長寿命化改良工事、EV棟及び増築棟の建築工事が完了し、令和7年度2学期から校舎の供用を開始した。また、グラウンド整備工事に着手し、令和8年度の工事完了に向けて事業の進捗を図ることができた。							

(款) 教育費 (項) 中学校費 (目) 学校建設費

教育施設課

事業名	鏡中学校屋内運動場長寿命化改良事業費						執行率 (%)	
予算額 (円)	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	95.4
	70,258,000	0	△ 3,178,000	0	67,080,000	67,047,900	対予算現額	100.0
目 的	建設後40年以上が経過し、老朽化が著しいことから、長寿命化改良工事を行うもの。							
事業内容及び実績	屋内運動場ほか外壁改修工事 51,510,800円 屋内運動場長寿命化改良実施設計業務 13,685,100円 アスベスト含有分析調査業務 1,848,000円 事務費 4,000円							
成果等及び達成度	アスベスト含有分析調査、実施設計が完了したことにより、令和8年度に実施する屋内運動場長寿命化改良工事に向けて事業の進捗を図ることができた。							

(款) 教育費 (項) 中学校費 (目) 学校建設費

教育施設課

事業名	西唐津中学校長寿命化改良事業費						執行率 (%)	
予算額 (円)	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	80.5
	68,379,000	0	△ 11,612,000	0	56,767,000	55,048,400	対予算現額	97.0
目 的	建築後45年以上が経過し、老朽化が著しいことから、長寿命化改良工事を行うもの。また、施設のバリアフリー化を進めるため、エレベーター等の整備を行うもの。							
事業内容及び実績	実施設計業務 50,111,600円 アスベスト含有分析調査業務 4,936,800円							
成果等及び達成度	アスベスト含有分析調査、実施設計が完了したことにより、令和8年度から実施する長寿命化改良事業に向けて事業の進捗を図ることができた。							

事業名	たくましいからつつ子育成事業費						執行率 (%)	
予算額 (円)	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	54.0
	3,446,000	0	△ 1,000,000	0	2,446,000	1,861,084	対予算現額	76.1
目 的	青少年の体験学習、郷土学習、世代間交流等の活動を支援することにより、次世代を担うこどもたちの郷土愛や社会性、創造性を育み、たくましい心豊かな人格形成を図るもの。							
事業内容及び実績	自然体験学習 479,084円 ポニーふれあい体験教室 700,000円 青少年体験活動推進事業補助金 682,000円							
成果等及び達成度	宿泊体験や工場見学、ポニーふれあい体験教室等の体験学習の実施により、青少年が心身ともに健全に成長し、心豊かな人格形成を図るための機会を提供することができた。 また、通学合宿や宿泊体験活動の実施団体への補助を通して、青少年の体験学習の機会を確保することができた。							

事業名	社会教育コミュニティ事業助成金						執行率 (%)	
予算額 (円)	当初予算額	6月補正予算額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対6月補正後予算額	100.0
	0	21,100,000	0	0	21,100,000	21,100,000	対予算現額	100.0
目 的	地域におけるコミュニティ活動の促進を図るため、一般財団法人自治総合センターの助成事業を活用し、コミュニティ活動に必要な備品や公民館類似施設の整備に対し助成金を交付するもの。							
事業内容及び実績	事業内容 一般コミュニティ助成事業 助成対象 コミュニティ活動に必要な備品の整備 (1,000千円から2,500千円まで) 助成金額 1,100,000円 事業主体 下久里区 事業内容 空調設備の整備 コミュニティセンター助成事業 助成対象 公民館類似施設の新築工事 (補助率 3/5、限度額 20,000千円) 助成金額 20,000,000円 事業主体 菜畑区町内会 事業内容 菜畑公民館の建て替え							
成果等及び達成度	地域の拠点となる公民館類似施設の備品整備や建て替えに対し助成することにより、地域におけるコミュニティ活動の促進に寄与することができた。							

事業名	公民館類似施設整備補助金						執行率 (%)	
予算額 (円)	当初予算額	6月補正予算額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対6月補正後 予算額	96.8
	22,290,000	4,500,000	0	0	26,790,000	25,937,000	対予算現額	96.8
目 的	地域での生涯学習活動の振興を図るため、地元で管理運営を行っている公民館類似施設の改修等に対し、一部を補助するもの。							
事業内容及び実績	公民館類似施設の新築、増改築並びに緊急を要した施設修繕及び備品の購入に対する補助を実施 新築 1件 4,500,000円 (補助率 3/5、限度額 4,500千円) 菜畑公民館 増改築 25件 20,987,000円 (補助率 3/5、限度額 2,100千円) 上久里公民館、原公民館、宇木中公民館、宇木下公民館、石志公民館、長谷公民館、東山公民館、中尾公民館、横野公民館、中里公民館、本村公民館、後ノ坂公民館、戸房公民館、広川公民館、牧瀬公民館、町切公民館、中山公民館、行合野公民館、中組集会所、寺浦公民館、湯野浦公民館、馬川公民館、大屋敷公民館、茜屋町公民館、潟公民館 緊急を要した施設修繕・備品の購入 6件 450,000円 (補助率 1/3、限度額 200千円) 今組公民館、水主町集会所、京町公民館、田代公民館、瀬戸公民館、岸山公民館							
成果等及び達成度	地区が所有する公民館類似施設の改修等への補助により、地域における生涯学習活動の活性化に寄与することができた。 また、緊急を要する雨漏り修繕や、空調設備等の備品購入に対し補助することで、地域活動の円滑な推進に寄与することができた。							

事業名	東唐津公民館長寿命化改良事業費						執行率 (%)	
予算額 (円)	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	99.3
	183,970,000	0	0	0	183,970,000	182,665,419	対予算現額	99.3
目 的	建築後40年以上が経過し、老朽化が著しい東唐津公民館の長寿命化改良工事を行うもの。また、施設のバリアフリー化を進めるため、エレベーターの設置等を行うもの。							
事業内容及び実績	事業内容 長寿命化改修建築工事 141,654,700円 長寿命化改修電気設備工事 16,690,300円 長寿命化改修機械設備工事 18,854,000円 施設整備工事ほか 5,466,419円							
成果等及び達成度	バリアフリー化の重点設備として、新たにエレベーターを設置したほか、車椅子利用者や介助者に配慮した多機能トイレを新設した。 また、施設の維持管理機能向上のため、外壁の塗り替え、屋根の防水及び葺き替え、建具の改修を行うとともに、照明器具のLED化や空調設備の更新を実施したことにより、施設の長寿命化を図ることができた。							

事業名	外町公民館移転改築事業費						執行率 (%)	
予算額 (円)	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	97.0
	79,863,000	0	0	0	79,863,000	77,493,900	対予算現額	97.0
目 的	建築後50年が経過し、老朽化が著しい外町公民館の移転改築を行うもの。							
事業内容及び実績	事業内容 実施設計業務 56,948,100円 敷地造成工事 20,545,800円							
成果等及び達成度	移転改築に向けた実施設計業務等を行うことで、令和8年度からの建築工事等に向けて事業の進捗を図ることができた。							

事業名		都市コミュニティセンター社会体育館解体事業費（継続費２年度分）、同（通次繰越分）					執行率（％）	
予算額 （円）	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	89. 8
	63, 131, 000	0	0	0	63, 131, 000	56, 721, 700	対予算現額	89. 8
	繰越予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対繰越予算額	79. 6
	36, 338, 115	—	—	—	36, 338, 115	28, 911, 650		
目 的		建築後50年が経過し、老朽化が著しい外町公民館の移転改築を行うにあたり、社会体育館敷地に新公民館を建設するため、社会体育館を解体するもの。						
事業内容及び実績		事業年度 令和6年度から令和7年度まで（継続費設定） 総事業費 146, 403, 235円（継続費設定額 160, 239千円、執行率91. 4%） 令和7年度実施事業（継続費２年度分及び通次繰越分） 解体工事 84, 285, 850円 解体工事監理業務 1, 347, 500円						
成果等及び達成度		令和6、7年度の継続事業として社会体育館の解体事業を実施し、令和7年8月末に解体工事が完了したことにより、跡地への外町公民館移転改築に向けて事業の進捗を図ることができた。						

事業名	相知図書館移転改修事業費						執行率 (%)	
予算額 (円)	当初予算額	6月補正予算額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対6月補正後 予算額	95.3
	0	3,237,000	0	0	3,237,000	3,086,400	対予算現額	95.3
目 的	建築後45年が経過し、老朽化した相知図書館の機能を、旧相知町保健センターへ移転するもの。							
事業内容及び実績	移転先 旧相知町保健センター（唐津市相知町中山3600番地8） 事業内容 実施設計業務 3,040,400円 実施設計業務に伴う確認申請手数料 46,000円							
成果等 及び 達成度	実施設計業務を行うことで、令和8年度の移転改修工事及び令和9年度の開館に向けて事業の進捗を図ることができた。							

事業名	文化振興計画策定費						執行率 (%)	
予算額 (円)	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	99.5
	2,420,000	0	0	0	2,420,000	2,407,170	対予算現額	99.5
目 的	文化施策を総合的に展開していくための指針として、唐津市文化振興計画を策定するもの。							
事業内容及び実績	唐津市文化芸術振興計画策定（令和6年度及び7年度の2か年で策定） 事業内容 検討委員会の開催 86,170円 計画策定支援業務 2,321,000円							
成果等 及び 達成度	唐津市文化芸術振興計画の策定にあたり、令和6年度に作成した計画骨子案を基に、令和7年度は3回の検討委員会を開催した。あわせて追加調査として中高生ヒアリングを9校で実施し、計画案を作成し、パブリックコメントの手続きを経て、令和8年3月末に計画を策定した。 第3次唐津市総合計画で掲げた基本施策の一つである「文化芸術活動の振興」を達成するため、現在の課題を整理し基本目標を設定、今後の施策を展開していく上での令和8年度から9年間の方向性を示した。							

事業名	郷土伝統行事補助金						執行率 (%)	
予算額 (円)	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	51.8
	5,440,000	0	△ 2,000,000	0	3,440,000	2,817,000	対予算現額	81.9
目 的	地域固有の伝統行事を継承するための取組みを支援し、文化振興を図るもの。							
事業内容及び実績	対象行事 古くから継承されている地域固有の伝統行事 補 助 率 1/2以内(限度額500千円) 令和7年度実績 13件 2,817,000円 山笠 7件 2,205,000円 鏡くんち、湊祇園山笠、中島山笠、徳須恵祇園山笠、納所くんち、増田神社夏まつり、小友祇園山笠 浮立 3件 54,000円 見借浮立、後川内子ども浮立、中山浮立 綱引き 1件 137,000円 猪ノ子綱引き その他 2件 421,000円 鬼じゃ鬼じゃ行事、神田カブカブ獅子							
成果等及び達成度	地域の伝統行事を実施する団体の活動に補助することにより、地域固有の伝統行事の継承を支援することができた。							

事業名	歴史遺産保存整備事業費						執行率 (%)	
予算額 (円)	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	99.4
	33,547,000	0	0	0	33,547,000	33,329,388	対予算現額	99.4
目 的	史跡・建築物等、重要な歴史遺産に関して、調査・保存・整備を行い、歴史・文化の香る唐津を創出し、郷土愛の育成、文化的生活の向上に寄与するもの。							
事業内容及び実績	事業内容 飯洞甕上・下窯跡展示物等製作設置業務 29,608,333円 飯洞甕下窯跡保存処理業務 2,970,000円 飯洞甕上窯跡樹木伐採等業務 499,400円 事務費ほか 251,655円							
成果等及び達成度	飯洞甕下窯跡覆屋内に、窯本体の復元ジオラマや唐津焼の制作工程を表すミニチュア模型、実際に触れることができる唐津焼のレプリカのほか、解説パネルやシート等の展示物の作成、設置を行った。 今回の展示では「本物(窯跡本体)を展示する」「こどもたちにわかりやすい展示とする」の2つのテーマを軸に整備を行ったことにより、往時の姿が想像し難い登窯の作業時の形態や、唐津焼ができるまでの工程を、実際に目で見て、手で触れて理解しやすい展示とすることができた。							

事業名	歴史民俗資料館保存整備事業費						執行率 (%)	
予算額 (円)	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	85.9
	11,274,000	0	0	0	11,274,000	9,687,055	対予算現額	85.9
目 的	老朽化により休館中の歴史民俗資料館（佐賀県重要文化財旧三菱合資会社唐津支店本館）の修理を行い、保存及び活用を図るもの。							
事業内容及び実績	保存整備委員会の開催 301,640円 耐震構造計画等業務 3,531,000円 用地現況測量業務 4,290,000円 防蟻処理業務 921,795円 敷地内発掘調査遺構図作成等業務ほか 642,620円							
成果等及び達成度	保存修理工事に係る耐震構造計画等業務を実施し、耐震補強に関する方針の整理及び設計の条件変更に伴う活用計画と基本設計の一部見直しを行った。また、保存整備委員会を開催し、新築付属棟の基本設計の見直しに伴う非常階段の設置計画及び条件変更に伴う活用計画の変更について、協議・検討を行った。 このほか、敷地内発掘調査の遺構図作成、整備用地の現況測量及び防蟻処理業務を実施し、次段階の実施設計に向けて事業の進捗を図ることができた。							

事業名	歴史的町並み保存対策事業費						執行率 (%)	
予算額 (円)	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	82.6
	2,737,000	0	0	0	2,737,000	2,262,010	対予算現額	82.6
目 的	中世以来の港町として栄え、中世に遡るとみられる地割、江戸期から近代にわたる伝統的な町家建築が数多く残されている唐津市呼子町呼子の歴史的景観を保存活用していくもの。							
事業内容及び実績	保存活用計画素案の一部作成 984,500円 先進地視察費 112,070円 保存対策調査結果報告会の開催 77,880円 事業啓発用パンフレットの作成 946,000円 事務費 141,560円							
成果等及び達成度	令和7年度は保存対策調査結果報告会を開催したほか、歴史的な町並みを保存・活用するためのルールとなる「保存活用計画」の素案の一部作成を行うなど、事業の進捗を図ることができた。 引き続き多くの地元住民の理解が得られるよう、作成した啓発用パンフレットを用いて説明会や個別訪問を進めている。							

事業名	新市誕生20周年記念「からつやきの軌跡展」開催費						執行率(%)	
予算額 (円)	当初予算額	9月補正予算額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対9月補正後 予算額	90.1
	0	1,858,000	0	0	1,858,000	1,674,300	対予算現額	90.1
目 的	新市誕生20周年を記念し、令和7年度から8年度にかけて、市が所蔵する唐津焼の紹介と「唐津焼」の歴史をたどる企画展を開催することにより、市民の郷土への理解を深め、地域文化の振興を図るもの。							
事業内容及び実績	事業内容 唐津焼草創期の窯跡の発掘調査で出土した資料や中里家コレクションなど、唐津市が所蔵する唐津焼を展示し、唐津焼が辿ってきた道のりを紹介する企画展を開催。 企画展名 「唐津焼のたすきー400年の時を超えてー」 場 所 近代図書館美術ホール 会 期 令和8年3月7日(土)～29日(日)(19日間) 入館者数 1,217人 事業費 パネル等作成委託料 1,631,300円 ポスター等郵送料 43,000円							
成果等及び達成度	展示内容については来館者から高い評価を得ており、アンケート結果からは地域文化の魅力を再発見する契機となったことがうかがえた。 所蔵資料の公開により、唐津焼の技法や歴史的価値の重要性を市民と共有し、郷土の宝としての理解を深める機会となり、郷土愛の醸成と、次世代へ文化を継承する機運の向上に一定の成果が得られた。							

事業名	各種競技大会等出場奨励費						執行率 (%)	
予算額 (円)	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	59.7
	11,500,000	0	△ 5,000,000	365,000	6,865,000	6,865,000	対予算現額	100.0
目 的	市民のスポーツ及び文化における向上心を育み、スポーツと文化の振興を図るため、スポーツ及び文化芸術大会に出場する者等に対して奨励金を交付するもの。							
事業内容及び実績	奨励金単価 (1人当たり) 九州大会 5,000円、西日本大会 8,000円、全国大会 10,000円、国際大会 30,000円 交付実績 1,065人 6,865,000円 (令和6年度 870人 5,697,000円) 内訳 九州大会 735人 3,675,000円、西日本大会 75人 600,000円 全国大会 253人 2,530,000円、国際大会 2人 60,000円							
成果等及び達成度	奨励金を交付することで、上位大会への出場を目指す選手の意欲や競技力の向上に貢献した。 交付実績としては、前年より195人 (1,168千円) 増加した。 コロナ禍の影響で激減した交付実績は年々増加しており、令和7年度においても各項目で前年度を上回った。 総交付人数 R5 830人、R6 870人、R7 1,065人 制度の認知度が向上し、大会参加種目数や成績上位者の増加により唐津市のスポーツ・文化芸術の振興に寄与している。							

事業名	プロスポーツ交流事業費						執行率 (%)	
予算額 (円)	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	94.4
	1,620,000	0	0	10,000	1,630,000	1,530,000	対予算現額	93.9
目 的	総合交流宣言を締結しているプロスポーツ5団体と連携し、スポーツ振興、相互発展、地域活性化及び青少年の健全育成を目的としたスポーツ交流事業を実施するもの。							
事業内容及び実績	福岡ソフトバンクホークス総合交流事業実行委員会負担金 (観戦応援バスツアー) 100,000円 サガン鳥栖総合交流事業実行委員会負担金 (観戦応援バスツアー) 100,000円 レオブラックスサガ3x3公式戦開催 900,000円 鳴戸部屋応援事業 (激励品贈呈) 110,000円 佐賀県プロバスケットボール振興協議会負担金 220,000円 佐賀バルーンズ総合交流事業実行委員会負担金 (観戦応援バスツアー) 100,000円							
成果等及び達成度	観戦応援バスツアーでは、福岡ソフトバンクホークス351人、サガン鳥栖108人、佐賀バルーンズ121人の参加があり、実際にプロスポーツに触れ合う機会を提供することでスポーツ振興に寄与した。 鳴戸部屋に2人目の幕内力士が誕生したことを祝し、新入幕祝い花を贈呈した。また九州場所時には、公開稽古や少年相撲大会などの交流事業を実施し、継続的に地域活性化や青少年の健全育成に貢献した。 レオブラックスサガにおいては3x3ユナイテッドリーグ公式試合を唐津市文化体育館分館で実施することで、競技を通じた市民との交流や試合観戦の機会を創出するとともに、チームの認知度向上を図った。							

事業名	東京デフリンピック出場特別奨励費						執行率 (%)	
予算額 (円)	当初予算額	9月補正予算額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対9月補正後 予算額	100.0
	0	300,000	0	0	300,000	300,000	対予算現額	100.0
目 的	聴覚障がい者のための国際競技大会であるデフリンピック（4年に1回開催）に出場する唐津市出身者へ特別奨励金を交付するもの。							
事業内容及び実績	交付対象者 金持義和（かなじ よしかず）選手（町田出身） 経歴：成和小学校－第五中学校－唐津商業高校 卒業 特別奨励金 300,000円 東京デフリンピック2025大会（令和7年11月開催）成績 50メートル背泳ぎ 3位（銅メダル） 4×100メートルメドレーリレー（男子） 3位（銅メダル） 過去の出場大会と記録 前回（R4） カシアス・ド・スル（ブラジル） 銀2個 前々回（H29） サムスン（トルコ） 銀6個、銅1個 前々々回（H25） ソフィア（ブルガリア） 金1個、銀2個							
成果等及び達成度	国際大会に出場する金持選手を激励することによって、障がい者スポーツの認知度向上につなげることができた。また、その活躍が、青少年の健全育成に寄与するとともに、障がいのある方にスポーツの楽しさを広め、目標としてもらうことにつながった。							

事業名	体育施設整備費、同（繰越明許分）						執行率（％）	
予算額 （円）	当初予算額	6月補正予算額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対6月補正後 予算額	85.1
	232, 508, 000	144, 579, 000	△ 49, 369, 000	0	327, 718, 000	320, 872, 539	対予算現額	97.9
	繰越予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対繰越予算額	100.0
	10, 901, 000	—	—	—	10, 901, 000	10, 901, 000		
目 的	体育施設の整備改修を行い、利用者の利便性の向上とより良いスポーツ環境づくりを進め、市民の健康増進、生涯スポーツの振興及び競技力向上を図るもの。							
事業内容及び実績	東部少年武道館トイレ改修工事 21, 340, 000円 相知天徳の丘運動公園多目的運動広場夜間照明改修工事 52, 690, 000円 相知天徳の丘運動公園硬式庭球場改修工事 124, 669, 600円 肥前総合運動場多目的運動場夜間照明改修工事 56, 008, 700円 陸上競技場写真判定装置更新 11, 871, 420円 その他施設改修工事ほか 54, 292, 819円 松浦河畔公園ラグビー・サッカー場改修測量設計業務ほか 10, 901, 000円（繰越明許分）							
成果等及び達成度	社会体育施設の維持補修及び改修を行ったことにより、市民がスポーツに親しむ環境が整備され、スポーツの振興並びに施設利用者の利便性が向上した。また、夜間照明施設のLED化に積極的に取り組むことにより、競技環境の改善を図るとともに脱炭素化及び省エネルギー化を進めることができた。							

事業名	唐津市文化体育館整備費						執行率 (%)	
予算額 (円)	当初予算額	増額補正額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対当初予算額	29.9
	52,126,000	0	0	0	52,126,000	15,573,640	対予算現額	29.9
目 的	唐津市文化体育館の老朽化が進んでいることから、利用者の利便性及び安全性の向上のために改修整備を行うもの。							
事業内容及び実績	改修工事調査整備計画策定業務 14,700,000円 (前金払い分) 障がい者駐車場整備工事 220,000円 防犯カメラ設置工事 404,800円 その他施設修繕工事ほか 248,840円							
成果等及び達成度	本市の主要な体育・文化施設である唐津市文化体育館に防犯カメラを設置するなど改修整備を行ったことにより、市民がスポーツに親しむ環境が整備され、スポーツの振興並びに施設利用者の利便性、安全性が向上した。 また、老朽化した唐津市文化体育館の長寿命化を行うため調査整備計画策定業務に着手したが、年度当初の公募において応募事業者がなく、再公募を行ったことにより業務着手が遅れ、年度内の完了が困難となったため、35,206,000円を令和8年度に繰り越した。							

事業名	新市誕生20周年記念ふるさと自慢学校給食費						執行率 (%)	
予算額 (円)	当初予算額	9月補正予算額	減額補正額	流充用額	予算現額	決算額	対9月補正後予算額	66.2
	0	6,989,000	△ 2,359,000	0	4,630,000	4,630,000	対予算現額	100.0
目 的	新市誕生から20年の節目の年を記念し、市立小中学校において唐津市の特産品を取り入れた特別な学校給食を提供することにより、児童生徒のふるさと唐津に対する郷土愛を育むもの。							
事業内容及び実績	提供日 令和7年12月19日 (金) 献 立 主菜 佐賀牛すき焼き (JAからつ肥育牛部会より食材の一部 (佐賀牛100kg) を寄贈) デザート 唐津産みかん (JAからつ果樹部会より寄贈) その他 ご飯、五目厚焼き玉子、梅おかか和え、牛乳 ※佐賀牛以外の食材は、学校給食食材購入費から支出 提供人数 10,150人 (教職員等を含めた全体数)							
成果等及び達成度	記念給食の提供にあわせて、校内放送で記念給食の献立や食材などについて紹介するとともに、各教室等の電子黒板で市町村合併や佐賀牛の育成過程等の動画を放映するなどして、新市誕生20周年の周知と、ふるさと唐津に対する郷土愛の醸成を図った。							

11 災害復旧費

令和5年から令和7年にかけての豪雨等により被災した農地・農業用施設、林業施設及び土木施設等の復旧事業を実施し、その機能回復に努めた。

災害復旧費の主な事業内容

事業名	決算額	事業内容
令和7年災害農地・農業用施設復旧費	12,176,960 ^円	ため池1箇所
令和7年災害農地・農業用施設復旧費 (令和6年発生災)	35,988,600	農地3箇所、農道1箇所
令和7年災害農地・農業用施設復旧費 (令和5年発生災)	409,575,211	農地43箇所、農道19箇所、水路12箇所
令和6年災害農地・農業用施設復旧費 (繰越明許分)	12,975,820	水路1箇所
令和6年災害農地・農業用施設復旧費 (令和5年発生災)(繰越明許分)	212,002,300	農地46箇所、農道22箇所、水路22箇所、 ため池1箇所
令和7年災害林業施設復旧費	23,146,711	林道20箇所
令和5年災害林業施設復旧費 (事故繰越分)	30,421,000	林道4箇所
令和6年災害漁港施設復旧費 (繰越明許分)	1,496,920	漁港道路1箇所
令和7年災害土木施設復旧費	42,603,743	河川1箇所、道路53箇所
令和7年災害土木施設復旧費 (令和5年発生災)	270,313,354	河川4箇所、道路2箇所
令和7年災害土木施設復旧費 (令和3年発生災)	26,700,000	道路1箇所
令和6年災害土木施設復旧費 (繰越明許分)	15,689,300	河川1箇所、道路4箇所
令和6年災害土木施設復旧費 (令和5年発生災)(繰越明許分)	1,572,180,648	河川30箇所、道路184箇所
令和5年災害土木施設復旧費 (事故繰越分)	26,913,900	河川2箇所、道路5箇所
令和5年災害観光施設復旧費 (事故繰越分)	12,562,000	猪堀の滝遊歩道1箇所

12 公債費

公債費では、通常の市債償還のほか、円滑な資金調達のため一時借入を実施した。

公債費の主な事業内容

事業名	決算額	事業内容
公債費	8,319,931,597 ^円	定期市債償還元金・利子 8,306,037,082円 一時借入金利子 13,894,515円

Ⅳ 特 別 会 計

1 国民健康保険

令和 7 年度国民健康保険特別会計の決算状況は、歳入14,874,035,035円、歳出14,607,490,925円で、歳入歳出差引額は、266,544,110円となり、同額を翌年度へ繰り越した。

歳 入

総収入額のうち、国保税が2,541,019,278円で17.1%、国県支出金が総額10,405,714,539円で70.0%、繰入金が1,424,500,618円で9.6%、令和 6 年度からの繰越金が473,411,212円で3.2%であった。

歳 出

総支出額のうち、保険給付費が9,918,309,187円で67.9%を占め、事業費納付金が3,768,640,555円で25.8%、保健事業に係る費用が113,292,786円で0.8%であった。

国民健康保険特別会計決算状況

事 業 名	決 算 額	財 源	
		費 目	金 額
国 民 健 康 保 険	円 14,607,490,925	国民健康保険税	2,541,019,278 円
		一部負担金	0
		使用料及び手数料	1,158,500
		国庫支出金	13,183,539
		県支出金	10,392,531,000
		財産収入	3,401,106
		繰入金	1,424,500,618
		繰越金	473,411,212
		諸収入	24,829,782
		合 計	14,874,035,035

翌年度繰越額 266,544,110 円

国民健康保険税の収入状況

区 分		調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収納率
現 年 課 税	医療給付	1,796,580,877 円	1,720,610,790 円	0 円	75,970,087 円	95.8 %
	後期高齢	572,608,623	548,691,688	0	23,916,935	95.8
	介護納付	208,545,900	197,170,983	0	11,374,917	94.5
	小計	2,577,735,400	2,466,473,461	0	111,261,939	95.7
滞 納 繰 越	医療給付	176,441,874	51,513,747	14,300,998	110,627,129	29.2
	後期高齢	52,299,254	15,584,776	3,927,123	32,787,355	29.8
	介護納付	25,678,521	7,447,294	2,040,884	16,190,343	29.0
	小計	254,419,649	74,545,817	20,269,005	159,604,827	29.3
合計		2,832,155,049	2,541,019,278	20,269,005	270,866,766	89.7

※上表「収入済額」には、還付未済額を含む。

保健事業の状況

特定健康診査

受診勧奨対象者の抽出、勧奨通知の発送、電話や訪問による受診勧奨を行い、健診実施率の向上に努めた。また、個別健診の実施率向上を図るため、医療機関と連携した受診勧奨を実施した。

年 度	対象者（A）	受診者（B）	実施率（B/A）	目標値 （市）
令和 6 年度	16,153 人	6,319 人	39.1 %	40.0 %
令和 7 年度	15,535	6,060	39.0	44.0

特定保健指導

メタボリックシンドローム該当者等を対象とした特定保健指導を効果的に実施するため、対象者の台帳を作成し、保健指導の進捗管理を行った。また、健診結果のさらなる改善につながるよう、保健指導技術研修会を実施した。

年 度	対象者（A）	終了者（B）	実施率（B/A）	目標値 （市）
令和 6 年度	598 人	366 人	61.2 %	65.0 %
令和 7 年度	543	296	54.5	66.0

※令和 7 年度の数値は令和 8 年 8 月末現在の速報値

※目標値は第 3 期唐津市保健事業実施計画に掲載

（参考）

国民健康保険の状況

区分 \ 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
国保世帯数	世帯 15,022	世帯 14,636
被保険者数	人 23,836	人 22,875
一人当たり保険給付費	円 415,235	円 430,065
一人当たり医療費	円 485,135	円 500,767

※上表は、保険年金課国民健康保険事業状況報告書（事業年報）の数値による。

2 後期高齢者医療

令和7年度後期高齢者医療特別会計の決算状況は、歳入2,201,349,099円、歳出2,191,496,556円で、歳入歳出差引額は9,852,543円となり、同額を翌年度へ繰り越した。

歳 入

総収入額のうち、後期高齢者医療保険料が1,576,448,959円で71.6%、使用料及び手数料が194,000円で0.01%、国庫支出金が6,110,000円で0.3%、一般会計からの繰入金が610,089,786円で27.7%、令和6年度からの繰越金が3,675,461円で0.2%、諸収入が4,830,893円で0.2%であった。

歳 出

総支出額のうち、後期高齢者医療事務費が14,079,102円で0.6%、徴収事務費等が11,960,953円で0.6%、広域連合納付金が2,160,248,586円で98.6%、保健事業費が3,059,815円で0.1%、諸支出金が2,148,100円で0.1%であった。

後期高齢者医療特別会計決算状況

事業名	決算額	財 源	
		費 目	金 額
後 期 高 齢 者 医 療	2,191,496,556 円	後期高齢者医療保険料	1,576,448,959 円
		使用料及び手数料	194,000
		国庫支出金	6,110,000
		繰入金	610,089,786
		繰越金	3,675,461
		諸収入	4,830,893
		合 計	2,201,349,099

翌年度繰越額 9,852,543 円

※令和7年度の出納整理期間に収納した令和7年度の保険料（8,007,543円）は、令和8年度に繰り越し、令和8年度保険料負担金（過年度分）として、広域連合へ納付する。

後期高齢者医療保険料の収入状況

	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収納率
特別徴収 現年度分保険料	921,180,900 円	922,224,700 円	0 円	△ 1,043,800 円	100.1 %
普通徴収 現年度分保険料	654,460,100	649,170,032	0	5,290,068	99.2
現年度分合計	1,575,641,000	1,571,394,732	0	4,246,268	99.7
普通徴収 過年度分保険料	11,660,628	5,054,227	605,600	6,000,801	43.3

※上表「収入済額」には、還付未済額を含む。

保健事業の状況

健康診査

健診受診率向上を図るため、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業の一環として、市内の公民館等における通いの場での健康教育や家庭訪問を通じて、健診の受診勧奨及び保健指導を実施した。

年 度	対象者（A）	受診者（B）	受診率（B/A）	目標値 （広域連合）
令和6年度	18,459 人	3,277 人	17.8 %	21.3 %
令和7年度	19,027	3,181	16.7	22.4

※目標値は、佐賀県後期高齢者医療広域連合第3期長寿健康づくり事業実施計画に掲載

3 介護保険

令和7年度介護保険特別会計の決算状況は、歳入13,971,754,985円、歳出13,775,878,808円で、歳入歳出差引額は195,876,177円となり、同額を翌年度に繰り越した。

総務費では、居宅要支援者の介護予防サービス計画の作成、介護保険料の賦課徴収、介護認定の調査及び審査等を行った。

保険給付費は、12,393,965,742円となった。

介護予防・日常生活支援総合事業費では、地域の実情に応じて住民等の多様な主体が参画し、多様なサービスを充実させることで、高齢者を地域で支え合う体制づくりを推進した。

包括的支援事業・任意事業費では、総合相談事業、要介護高齢者配食サービス事業等により、高齢者が住み慣れた地域で心身の健康を保持しながら安心して暮らすことができるよう必要な援助を行った。

介護保険特別会計決算状況

事業名	決算額	財 源	
		費 目	金 額
介護保険	13,775,878,808円	保険料	2,719,133,794円
		使用料及び手数料	716,100
		国庫支出金	3,238,941,226
		支払基金交付金	3,496,699,000
		県支出金	1,886,395,016
		財産収入	6,075,941
		繰入金	2,357,046,329
		繰越金	178,664,595
		諸収入	88,082,984
		合 計	13,971,754,985

翌年度繰越額 195,876,177 円

介護保険事業の主な事業内容

事業名	決算額	事業内容
居宅介護サービス費	4,066,888,540円	要介護認定を受けた被保険者に対し、在宅での自立した日常生活を営むことができるよう支援したもの。
施設介護サービス費	3,553,371,213	要介護認定を受けた被保険者に対し、介護保険施設での日常生活を営むことができるよう支援したもの。
地域密着型介護サービス費	3,148,343,634	要介護認定を受けた被保険者に対し、できる限り住み慣れた地域で生活を継続できるよう支援したもの。

事業名	決算額	事業内容
訪問型サービス費	円 106,821,017	要支援者及び事業対象者に対して、訪問介護員等による身体介護、生活援助等の訪問型サービスを提供したもの。 また、日常生活の困りごとの生活支援や通院・買い物の送迎など、地域住民主体による訪問型サービスを提供したもの。
通所型サービス費	207,612,827	要支援者及び事業対象者に対して、通所施設において、入浴、排せつ、食事等の日常生活上の支援及び機能訓練のサービスを提供したもの。
高齢者成年後見制度利用支援事業費	10,454,080	成年後見サポートセンターの普及啓発に努め、利用促進を図るため、新たに医療や介護、金融機関の団体を加え、地域連携ネットワークの強化に努めた。また、後見開始等のための市長申立てや後見人等への報酬助成を行い、成年後見制度の継続的利用を支援したもの。
地域ケア会議推進事業費	1,186,090	高齢者が住み慣れた地域で生活を継続できるよう、医療・介護・福祉の多職種及び関係者が多角的な視点による検討を行うとともに、関係機関のネットワークを強化したもの。また、推進会議において、地域課題を整理し、さらなる地域包括ケアシステムの推進に努めたもの。
在宅医療・介護連携推進事業費	5,787,000	医療と介護の両方を必要とする高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けられるよう、関係機関からの相談の受け付け、情報共有の支援、研修会の開催及び住民公開講座による普及啓発等を行い、多職種が連携して在宅医療と介護を一体的に提供できる体制づくりを推進したもの。
生活支援体制整備事業費	39,706,043	高齢者が住み慣れた地域で生きがいを持ちながら暮らし続けられるよう、民間企業、NPO、ボランティア、地域住民等の多様な主体の連携を促進し、生活支援活動や通いの場など、地域における支え合いの活動の充実を図ったもの。
認知症総合費 支援事業費	15,722,292	認知症の人の意思が尊重され、住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けるよう、認知症サポーター養成講座を実施するとともに、ステップアップ研修に認知症の本人からの発信を取り入れるなど、認知症に関する正しい知識と理解の普及に努め、共生社会の実現に向けて取り組んだもの。

4 国民宿舎

令和7年度国民宿舎特別会計の決算状況は、歳入10,801,240円、歳出10,801,240円で、歳入歳出額は、同額であった。

本特別会計では、本市観光事業の発展に寄与するため、国民宿舎虹の松原ホテルの運営を行った。

当ホテルは建築後31年を経過しており、施設設備の老朽化が著しいことから、設備の維持補修を行い、宿泊者の利用環境を整えた。

国民宿舎特別会計決算状況

事業名	決算額	財源	
		費目	金額
国民宿舎	10,801,240円	繰入金	4,772,531円
		諸収入	5,716,700
		使用料及び手数料	312,009
		合計	10,801,240

国民宿舎特別会計の主な事業内容

事業名	決算額	事業内容
虹の松原ホテル 管理費	10,801,240円	指定管理により施設の運営を行った。 指定管理者(R7.4～R8.3)(株)VILLAGE INC 施設使用料収入 5,716,700円 宿泊者数 14,629人 また、施設の維持補修等を行った。 昇降機部品交換工事(2件) 1,936,000円 空調機整備等工事(5件) 1,571,900円 国有林野借地料 3,408,800円 維持管理業務委託料、施設修繕料ほか 3,884,540円

5 有線テレビ事業

有線テレビ施設等の維持管理及びケーブル移転要請に伴う移転工事等のほか、テレビ使用料の賦課徴収事務を行った。

また、令和4年度から実施した情報化基盤光ケーブル推進事業により、民間事業者への移行件数は19,291件となり、有線テレビ事業の民設民営化が完了したことから、特別会計の廃止に伴う剰余金97,114,597円を一般会計へ繰り出した。

令和7年度有線テレビ事業特別会計の決算状況は、歳入及び歳出ともに599,341,125円で、歳入歳出差引額は0円となり、令和7年度末に有線テレビ事業特別会計を廃止した。

有線テレビ事業特別会計決算状況

事業名	決算額	財源	
		費目	金額
有線テレビ事業	599,341,125円	分担金及び負担金	298,420円
		使用料及び手数料	103,549,962
		財産収入	11,058,625
		繰入金	336,698,000
		繰越金	146,700,483
		諸収入	1,035,635
		合計	599,341,125

翌年度繰越額 0円

有線テレビ事業の主な事業内容

事業名	決算額	事業内容
有線テレビジョン運営費	599,341,125円	会計年度任用職員給与費 6,737,325円
		有線テレビジョン運営費 434,919,692
		(施設保守、施設修繕、電柱移設工事、一般会計への繰出金ほか)
		有線テレビジョン運営費(繰越明許分) 4,851,000
		(幹線等移設工事)
		有線テレビ運営基金積立金 152,833,108